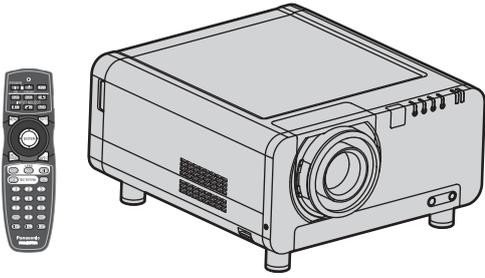


Panasonic®

取扱説明書



3チップDLP®方式プロジェクター 業務用

品番 **PT-DW100**



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ごぞいます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(4～9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

お客様からのお問い合わせが多い事項をまとめました！

77 ページへ

4 灯光学システムって？

4 灯の内蔵ランプを使用し、高輝度で美しい映像投写が可能

80 ページへ

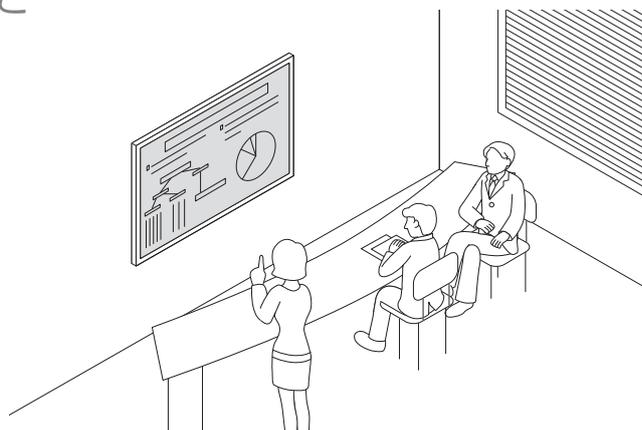
自動エアークリーナーって？

お掃除ロボットがエアークリーナーを自動的に清掃し、クリーンな状態を保つことが可能

116 ページへ

自己診断表示って？

内部ステータスやエラーを本機側面の LED に表示可能



安全上のご注意.....	4
--------------	---

必ず
お読みください!

ご使用になる前に.....	10
各部の名称とはたらき	12
リモコンの使いかた	17
設置する	19
接続する	25
入力モジュール（別売品）の取り付け	28
投写レンズ（別売品）の取り付け／取り外しかた.....	34

まず
ご確認ください!

投写する	35
レンズ調整のしかた	38
入力信号データの登録	43
リモコンでの簡単操作	46
オンスクリーンメニューについて.....	49
映像の調整.....	52
位置調整	58
アドバンスドメニューの使いかた.....	62
表示言語（LANGUAGE）の設定	67

すぐ
使うとき

表示オプションの設定	68
プロジェクターセットアップ.....	75
P I N P	83
内蔵テストパターンを表示	85
セキュリティの設定	86
ネットワーク機能の使いかた	89
PJLink™プロトコルを使用する.....	103
シリアル端子を使う	104
リモート2端子を使う	108

もっと
便利に
使いたいとき

モニターランプの表示について	109
エアフィルター清掃と交換.....	110
ランプユニットの交換	112
天つり金具取り付け時の注意事項.....	114
修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。	115
自己診断表示について	116
仕様	118
付録	120
保証とアフターサービス（よくお読みください）	123
寸法図	124
さくいん	125

もし
必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下表は絵表示の一例です)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

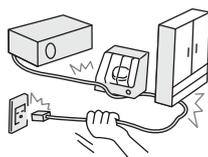
警告

- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



禁止

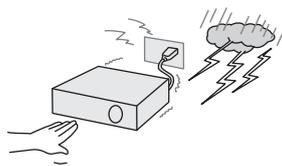


- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

- 雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない

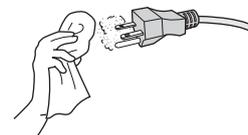


接触禁止



感電の原因となります。

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

警告

■ 付属の電源コード以外は使用しない



禁止

付属の3端子付コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因となります。

■ 定格 15A・交流 200V のコンセントを単独で使う

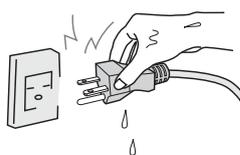


他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止



感電の原因になります。

■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない



禁止



ショートや発熱により火災・感電の原因となります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ 異物を入れない



禁止



ショートにより火災・感電の原因となります。

- 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音がでたとき

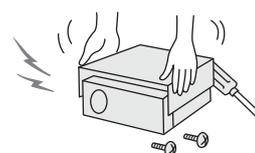
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご依頼ください。

■ 分解したり、改造したりしない



分解禁止



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

	警告
	高圧注意
サービスマン以外の方はケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が多くあり万一さわると危険です。	

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

 **警告**

■ ランプユニットを分解しない



禁止

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から 50 cm 以上離して設置してください。

■ 使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

■ 当社で指定した天つり金具を使用する



天つり金具に不備があると事故の原因になります。

- 付属のワイヤーで落下防止の処理を行ってください。

■ 天つり設置時に必ず付属のワイヤー（天つり金具と別の場所に取り付ける）とアイボルトで落下防止措置を行う

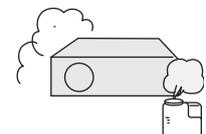


工事の不備があると事故の原因となります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止



火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下する恐れがあります。

■ カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない



禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■ ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

電源プラグを抜かないで交換作業を行うと、感電や破裂の原因となります。

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待つ）行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

警告

■ 電池は誤った使い方をしない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- +と-を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- +と-を逆に入れない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。
電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

■ 投写レンズ (別売品) のレンズカバーを取り付けたまま投写しない



禁止

火災の原因となることがあります。

■ 電池の液がもれたときは、素手で液をさわらない



禁止

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

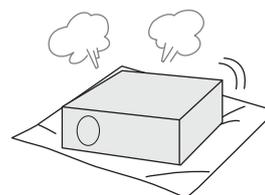


- そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

■ 放熱を妨げない



禁止



内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

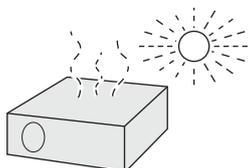
- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。

⚠ 注意

- 異常に温度が高くなるところに置かない



禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

- 移動させる場合は、必ず接続線を外す

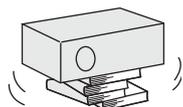


接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止



強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

- 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



禁止

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。また本機の破損や変形の原因になることがあります。

- レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



指に注意

レンズシフト動作中にレンズ周辺の開口部に手を入れないでください。手をはさみけがの原因となることがあります。

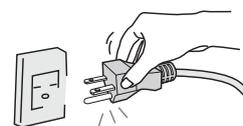
- アジャスター脚や投写レンズカバーをはずしたまま使用しない



禁止

セットが正常に動作せず故障の原因となります。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く

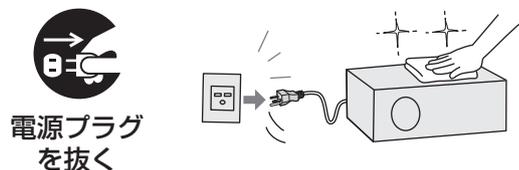


電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約 15 W の電力を消費しています。

⚠️ 注意

■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

■ 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■ 古いランプユニットは使用しない



禁止

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を越えたランプユニットは使用しないでください。破裂する場合があります。

■ ランプが破裂したときは、触ったり、顔を近づけたりしない



禁止

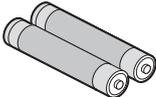
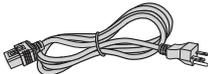
散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまったりする恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 直ちに換気を行ってください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

ご使用になる前に

付属品の確認

以下の付属品が入っていることをご確認ください。

リモコン 1 個 [N2QAYB000076]	リモコン用単 3 形 乾電池 2 個	電源コード AC 200 V 15 A 用 1 本： [K2CG3YY00034]	落下防止用金具	
			アイボルト 4 個 [TPAHE86]	ワイヤーロープ 4 本 [TTRA0143]
				

運搬上の留意点

投写レンズは振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時は必ずレンズを取り外してください。

設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

- **投写レンズを取り付けた後、必ず投写レンズカバーを取り付けてください**
内部にほこりがたまって、故障の原因となります。
- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください**
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください**
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- **ビニールシートやじゅうたんの上には設置しないでください**
エアフィルター部にビニールシートなどがはり付き、本機内部温度が上昇するため保護回路が働き、電源が切れる場合があります。
- **本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください**
天井からつり下げて設置される場合は、別売の天つり金具（高天井用品番：ET-PKD100H）（低天井用品番：ET-PKD100S）をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。
- **海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください**
また海拔 1 400 m 以上でご使用になるときは、76 ページの「高地モード」を「オン」に設定してください
そのまま使用すると、製品の寿命に影響する恐れがあります。
- **垂直方向に水平から 30° を超える角度で傾けて本機を設置して使用する場合は、76 ページの「設置角度」を「垂直」に設定してください**

使用上の留意点

■ 美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気が回り込むような設置がないように注意してください。

■ 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用しないときは、付属のレンズカバーを被せておいてください。

■ DLP チップについて

DLP チップは非常に精度の高い技術で作られています。まれに画素の欠けや常時点灯する画素が発生することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■ ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプには次のような特性があります。

- 衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に頻繁な電源オン/オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。
- 破裂したときは内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

■ お手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● 外装ケースはやわらかい乾いた布で

油污れはぬるま湯を用い、やわらかい布でふき取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用されると外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。

● レンズ面は毛羽立った布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着するとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

注意

パソコンや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のインターフェースケーブルを使用してください。

廃棄について

製品を廃棄する場合には、最寄の市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

セキュリティに関するお願い

本製品のネットワーク機能をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。(86～92 ページ)

- パスワードは出来るだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- 弊社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。

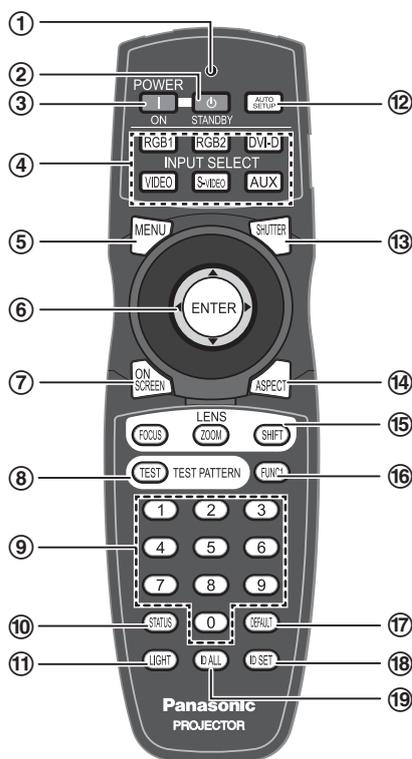
直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

- ファイヤーウォールなどで、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

各部の名称とはたらき

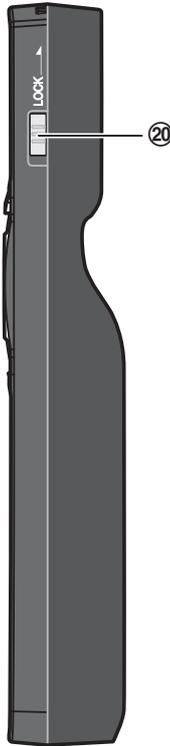
リモコン

■ 前面

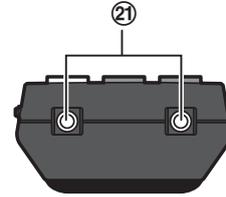


- ① **リモコン操作表示ランプ**
リモコンボタンを押すと点滅します。
- ② **電源スタンバイ (⏻) ボタン (35、37 ページ)**
本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側で投写状態のときに、本機をスタンバイ状態にします。
- ③ **電源入 (⏻) ボタン (36 ページ)**
本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側でスタンバイ状態のときに、本機を投写状態にします。
- ④ **入力切り換え (RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、AUX) ボタン (46 ページ)**
RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、AUX (オプション入力モジュール) の入力切り換えができます。
- ⑤ **メニュー (MENU) ボタン (49、51 ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。サブメニューが表示されているときは1つ前の画面に戻ります。オンスクリーン表示が「切」の状態でもメニューボタンを3秒以上長押しすると、オンスクリーン表示「切」を解除できます。
- ⑥ **▲▼◀▶ボタン (51、86 ページ)**
メニュー画面の項目の選択や、設定の切り換え、およびレベルの調整ができます。また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。
エンター (ENTER) ボタン (51 ページ)
メニュー画面の項目の決定や実行ができます。
- ⑦ **オンスクリーン (ON SCREEN) ボタン (46 ページ)**
オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。
- ⑧ **テストパターン (TEST PATTERN) ボタン (47 ページ)**
テストパターンを表示します。
- ⑨ **数字 (0～9) ボタン (18、82 ページ)**
本機を複数台使用するシステムで使用するボタンです。ID 選択時には ID 番号の入力、サービスマン用のパスワード入力時にはパスワードの入力に使用します。
- ⑩ **ステータス (STATUS) ボタン (46 ページ)**
本体の情報を表示します。また、あらかじめネットワーク機能を設定しておくことで本体の状態を Eメールで送信することができます。
- ⑪ **ライト (LIGHT) ボタン (47 ページ)**
ボタンを押すと、リモコンボタンに照明がつきます。リモコン操作をやめると約 10 秒後に消灯します。
- ⑫ **オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタン (47 ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます。自動調整中は画面に「実行中」と表示されます。

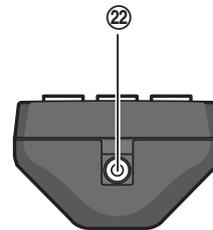
■ 横面



■ 天面



■ 後面



- ⑬ シャッター (SHUTTER) ボタン (46 ページ)
映像を一時的に消したいときに押します。
- ⑭ アスペクト (ASPECT) ボタン (48 ページ)
映像のアスペクト比率を切り換えます。
- ⑮ レンズ (FOCUS、ZOOM、SHIFT) ボタン (38 ページ)
投写レンズを調整します。
- ⑯ ファンクション 1 (FUNC1) ボタン (47 ページ)
メインメニュー内から「プロジェクターセットアップ」画面の「FUNC1」で設定した機能はこのボタンで操作できます。
- ⑰ デフォルト (DEFAULT) ボタン (51 ページ)
メニュー内で選択されている項目の設定を工場出荷時に戻したいときに押します。
- ⑱ ID セット (ID SET) ボタン (18、75 ページ)
本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID を設定します。
- ⑲ ID オール (ID ALL) ボタン (18、75 ページ)
本体を複数台使用するシステム時、1つのリモコンで同時制御するモードに設定します。

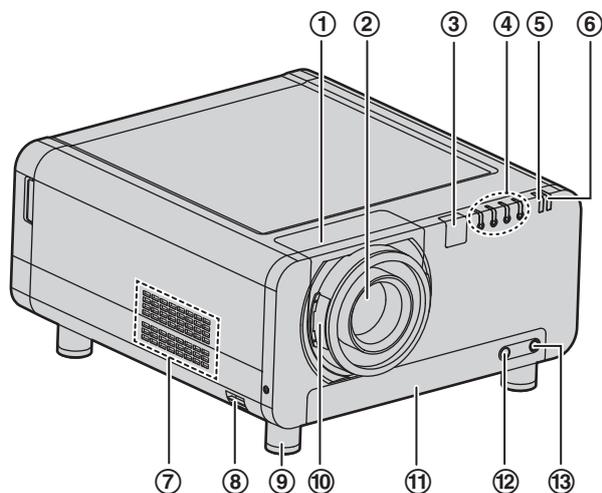
- ⑳ ロック (LOCK) ボタン
不用意にボタンを押して意図しない動作を防止したり、リモコンの電池の消耗を防止するために使用します。
- ㉑ リモコン発信部
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ㉒ リモコンワイヤード端子 (18 ページ)
ワイヤード出力端子を使用する場合はケーブル (市販品) でリモコンと本体を接続します。

お知らせ

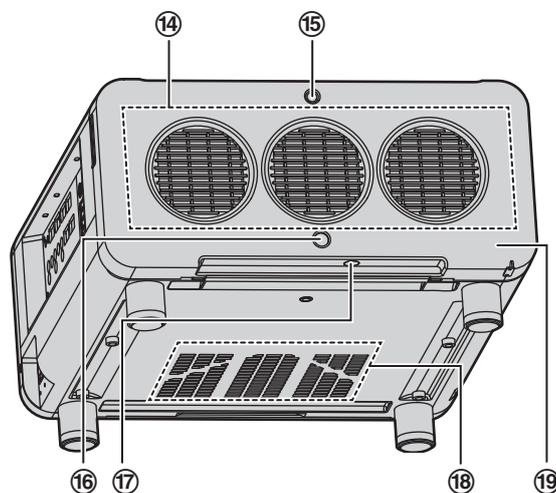
- 入力切り換えの AUX ボタンは、オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です。

本体

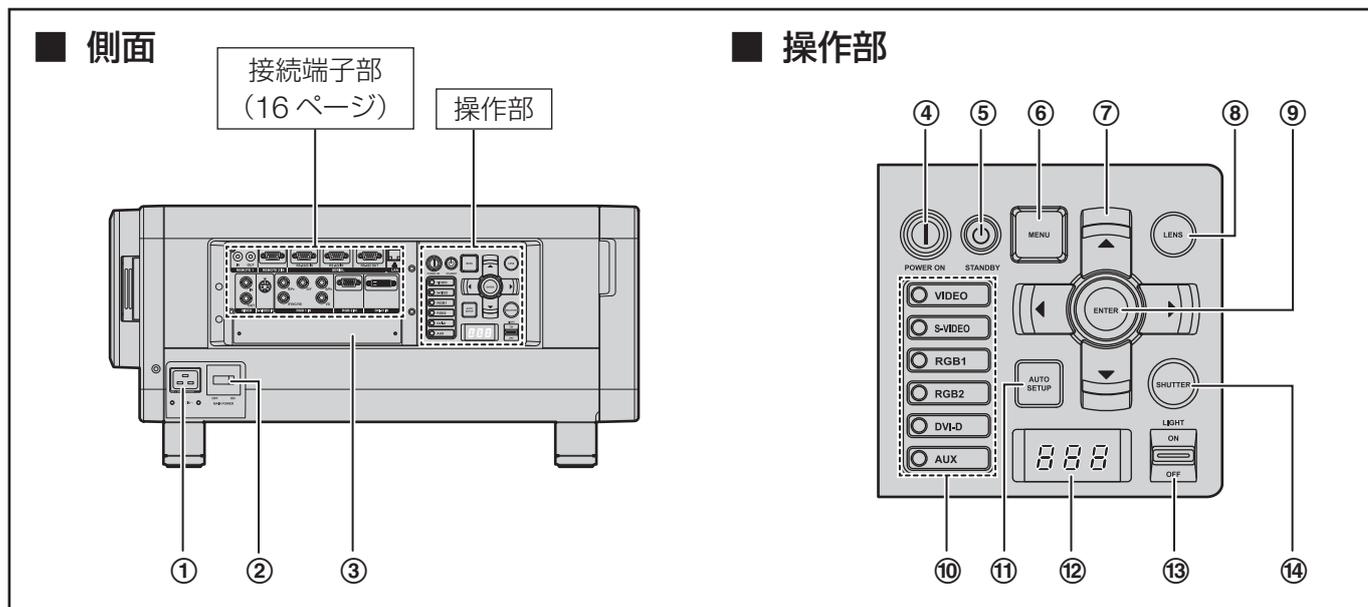
■ 前面



■ 後面



- ① 投写レンズカバー (34 ページ)
- ② 投写レンズ (別売品)
スクリーンに映像を投写するレンズです。
- ③ リモコン受光部 (前) (17 ページ)
リモコン信号の受光部です。
- ④ ランプモニター (LAMP1、LAMP2、LAMP3、LAMP4) (109 ページ)
それぞれのランプユニットの交換時期になると点灯します。またランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ⑤ 温度モニター (TEMP) (109 ページ)
本体内の内部温度の異常を点灯や点滅で表示します。
- ⑥ 電源表示ランプ (35 ページ)
主電源 (MAIN POWER) スイッチを「|」(入)側にしたとき赤色に点灯します。このとき本体またはリモコンの電源入 (|) ボタンを押すと緑色に点灯します。
- ⑦ 吸気孔
吸気孔はふさがらないでください。
- ⑧ 盗難防止用フック
市販の盗難防止用ケーブルなどを接続します。
- ⑨ アジャスター脚 (20 ページ)
本体の傾き調整に使用します。(アジャスター脚は前後左右にあります)
- ⑩ 投写レンズカバーロックボタン (34 ページ)
投写レンズ (別売品) 用着脱式カバーをロック/ロック解除します。
- ⑪ エアフィルター部 (110 ページ)
- ⑫ エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) (80、110 ページ)
エアフィルター清掃中は青色で点滅します。エアフィルター異常時は赤色で点灯します。
- ⑬ フィルタークリーニングユニット固定ねじ (OPEN/CLOSE) (110 ページ)
- ⑭ 排気孔
排気孔からは熱い空気が出ます。
- ⑮ ランプユニット収納カバー固定ねじ (OPEN/CLOSE) (113 ページ)
ランプユニット収納カバーの開閉に使用します。
- ⑯ リモコン受光部 (後) (17 ページ)
リモコン信号の受光部です。
- ⑰ リモコン受光部 (底) (17 ページ)
リモコン信号の受光部です。
- ⑱ 吸気孔
吸気孔はふさがらないでください。
- ⑲ ランプユニット収納カバー (113 ページ)
ランプユニットが収納されています。



① AC入力 (AC IN) 端子 (35 ページ)

付属の電源コードを接続する端子です。
付属のもの以外は接続しないでください。

② 主電源 (MAIN POWER) スイッチ (35 ~ 37 ページ)

主電源を「|」(入)、「○」(切) ができます。

③ スロットカバー (29 ページ)

入力モジュールを取り付けます。

④ 電源入 (|) ボタン (35、36 ページ)

本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側でスタンバイ状態のときに、本機を投写状態にします。

⑤ 電源スタンバイ (Ⓞ) ボタン (35、37 ページ)

本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側で投写状態のときに、本機をスタンバイ状態にします。

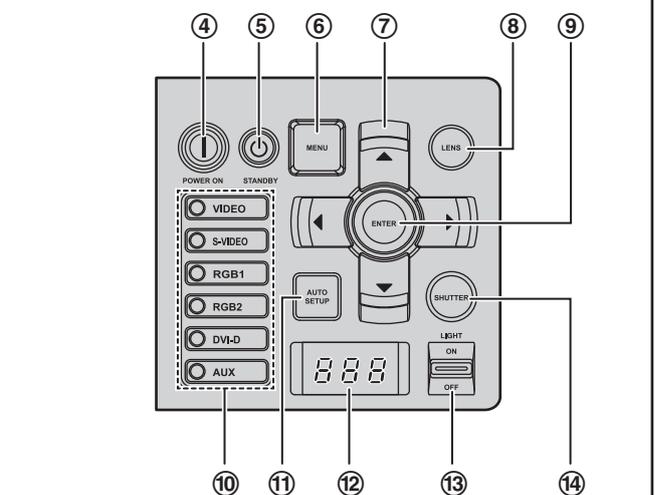
⑥ メニュー (MENU) ボタン (49、51 ページ)

メインメニューを表示したり、消したりします。
サブメニューが表示されているときは1つ前の画面に戻ります。オンスクリーン表示が「切」の状態ではメニューボタンを3秒以上長押しすると、オンスクリーン表示「切」を解除できます。

⑦ ▲▼◀▶ 選択ボタン (51、86 ページ)

メニュー画面の項目を選択したり、設定の切り換えおよびレベルの調整ができます。
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。

■ 操作部



⑧ レンズ (LENS) ボタン (38 ページ)

レンズのフォーカス、ズーム、シフト (位置) の調整をします。

⑨ エンター (ENTER) ボタン (51 ページ)

メニュー画面の項目の決定や実行ができます。

⑩ 入力切り換え (VIDEO、S-VIDEO、RGB1、RGB2、DVI-D、AUX) ボタン (46 ページ)

VIDEO、S-VIDEO、RGB1、RGB2、DVI-D、AUX (オプション入力モジュール) の入力切り換えができます。

⑪ オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタン (47 ページ)

映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置の自動調整がされます。自動調整中は画面に「実行中」と表示されます。

⑫ 自己診断表示 (116 ~ 117 ページ)

⑬ ライト入 / 切 (LIGHT ON/OFF) ボタン

接続端子部および操作部の照明スイッチです。

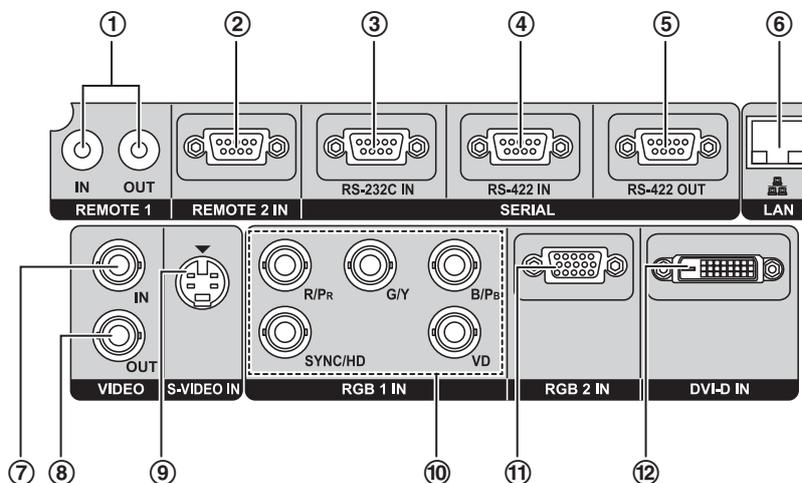
⑭ シャッター (SHUTTER) ボタン (46 ページ)

映像を一時的に消すことができます。

お知らせ

- 入力切り換えのAUXボタンは、オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です。

■ 接続端子部



① リモート 1 入力／出力 (REMOTE1 IN/OUT) 端子 (18 ページ)

本体を複数台使用するシステム時にワイヤードリモコンケーブルで連結制御することができます。(M3 ジャック)

② リモート 2 入力 (REMOTE2 IN) 端子 (108 ページ)

本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。(D-SUB 9 ピン メス型)

③ シリアル入力 (SERIAL IN) 端子 (26 ~ 27、78、104 ~ 107 ページ)

パソコンを接続して本体を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。(D-SUB 9 ピン メス型)

④ シリアル入力 (SERIAL IN) 端子 (26 ~ 27、78、104 ~ 107 ページ)

パソコンを接続して本体を外部制御するための RS-422 準拠の入力端子です。(D-SUB 9 ピン メス型)

⑤ シリアル出力 (SERIAL OUT) 端子 (27、104 ~ 107 ページ)

シリアル入力端子に接続されている信号を出力する RS-422 準拠の出力端子です。(D-SUB 9 ピン オス型)

⑥ LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX) (26、27、91 ページ)

LAN ケーブルを接続します。

⑦ ビデオ入力 (VIDEO IN) 端子 (26 ページ)

ビデオ信号の入力端子です。(BNC)

⑧ ビデオ出力 (VIDEO OUT) 端子 (26 ページ)

ビデオ信号の出力端子 (アクティブスルー) です。(BNC)

⑨ S ビデオ入力 (S-VIDEO IN) 端子 (26 ページ)

S ビデオ信号の入力端子です。(Mini DIN 4 ピン) S1 信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて 16:9 と 4:3 の自動切り換えを行います。

⑩ RGB (YP_BPr) 1 入力端子 (26、27 ページ)

RGB 信号または YP_BPr 信号を入力する端子です。(BNC)

⑪ RGB2 入力端子 (27 ページ)

RGB 信号または YP_BPr 信号を入力する端子です。(D-SUB 15 ピン メス型)

⑫ DVI-D 入力端子 (26、27 ページ)

DVI-D 信号の入力端子です。

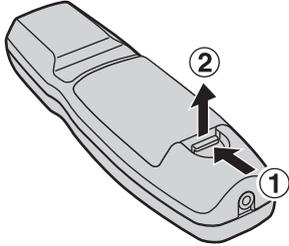
リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

付属の単 3 形乾電池を極性に注意して入れてください。

1. 電池ふたを開ける

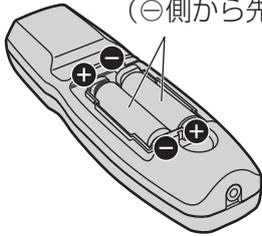
① ②の順でふたを開けます。



2. 乾電池を入れる

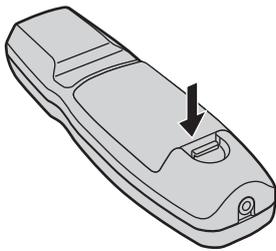
極性表示 (⊕、⊖) に合わせて乾電池を入れます。

付属の単 3 形乾電池
(⊖側から先に入れます)



3. 電池ふたを閉める

ふたを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。



お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- ニカド電池は使用しないでください。
- リモコンを使用する際は、ロック (LOCK) ボタンを解除してから操作を行ってください。(13 ページ)

リモコンの有効操作範囲

リモコンの操作は、直接本体の前面・後面のリモコン受光部に向けて操作します。(図 1)

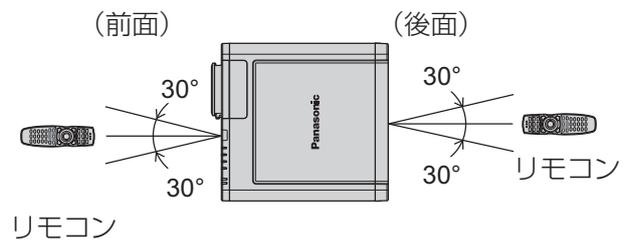
操作可能距離は前面または後面受光部の正面より約 30 m 以内です。

また、図 2 のようにスクリーンの反射を利用して操作することもできます。

- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限が出る場合があります。

図 1

- 上から見た図



- 横からみた図

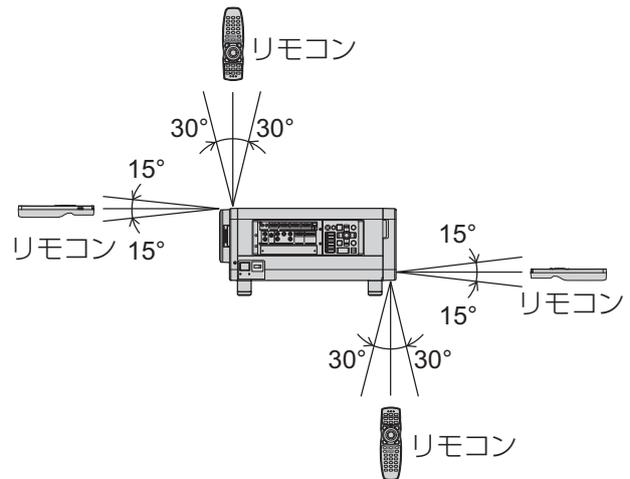
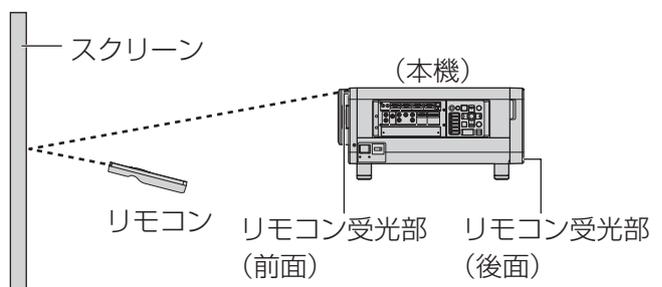


図 2



お知らせ

- リモコンと受光部の間に障害物があると正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たるとリモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機には ID ナンバーが設定されており、リモコンを使用するためには、事前に制御する本機の ID ナンバーをリモコンに指定しないと操作できません。（75 ページ）なお、本機の ID ナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけご使用の場合は、リモコンは ID オール（ID ALL）ボタンをご使用ください。

1. ID セット（ID SET）ボタンを押した後、5 秒以内に、本機側で設定されている ID ナンバー 2 桁を、数字（0～9）ボタンで設定する

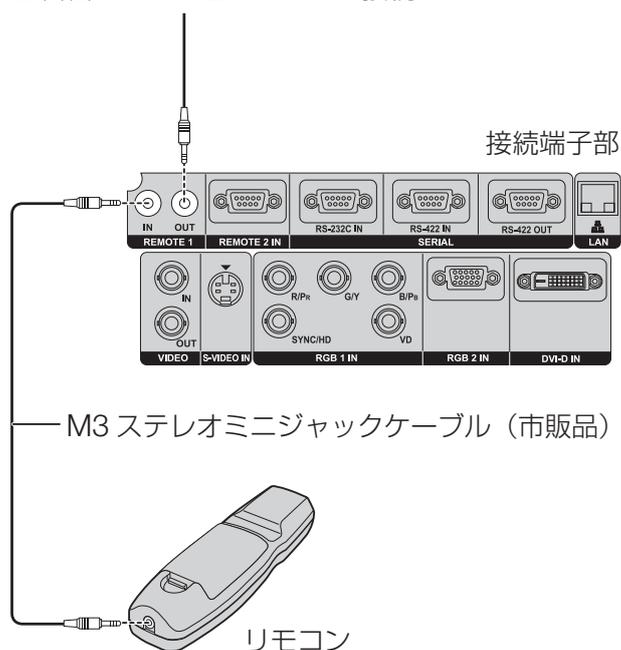
お願い

- リモコンの ID ナンバー指定は、本機がなくても可能なため、ID セット（ID SET）ボタンは不用意に押さないでください。
- ID セット（ID SET）ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字ボタンを押さないと ID セット（ID SET）ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。
- ID ナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。

ワイヤードリモコンで使う

本体を複数台接続するシステムでリモート 1 入出力（REMOTE1 IN/OUT）端子を利用して複数台を 1 つのリモコンで同時制御したい場合は、市販の M3 ステレオミニジャックケーブルを接続して制御します。また本機の設置環境によっては、本機とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合などにも効果的です。

2 台目のプロジェクターへの接続



お願い

- ケーブルは長さが 15 m 以下、線種は 2 芯シールドケーブルを使用してください。ケーブルの長さが 15 m を超える場合やケーブルのシールドが不十分な場合は動作しない場合があります。

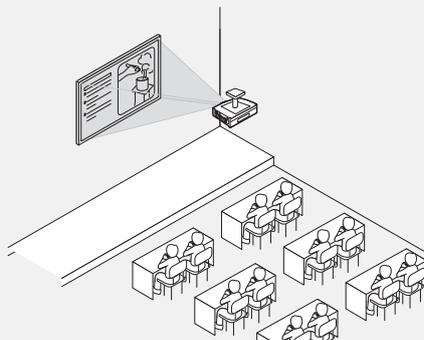
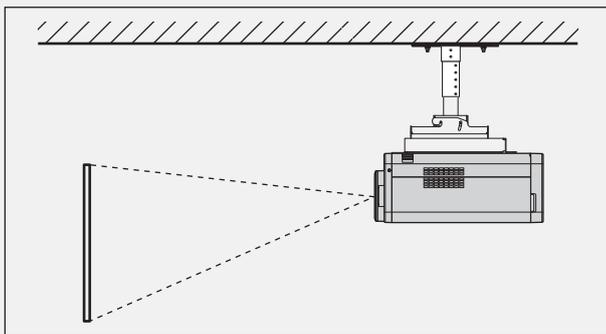
設置する

システムアップ例

本機には、豊富な端子群とオプション（別売品）が準備されており、様々なシステムアップに対応しています。下図にその一例を示しています。

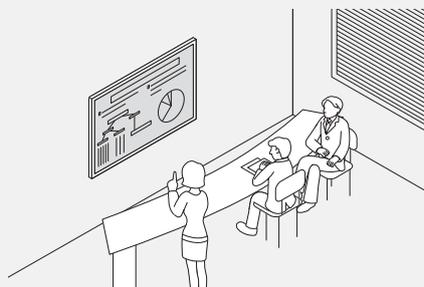
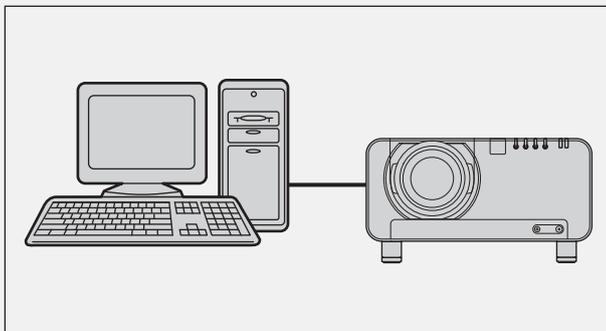
システム 1

天つり金具（別売品）を使用し、スペースを有効活用



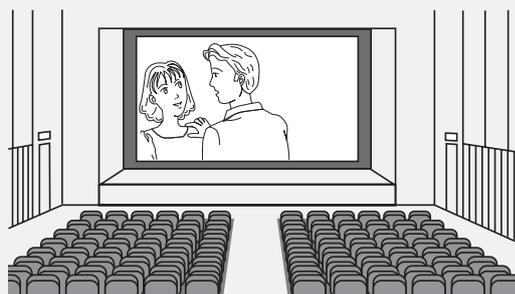
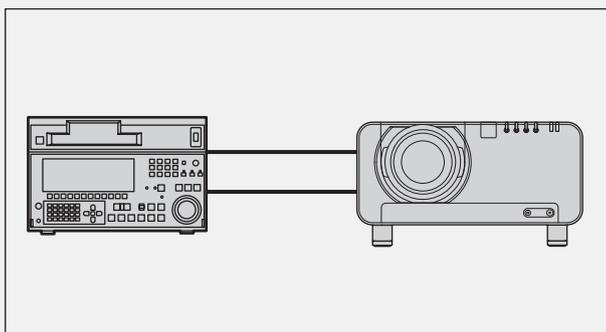
システム 2

DVI-D 入力端子または DVI-D 入力モジュール（別売品）を使ったデジタル対応パソコンとの接続（高画質の実現）



システム 3

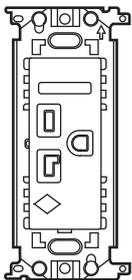
HD/SD-SDI 入力モジュール（別売品）を使った業務用 HD VTR などとの接続（高度なシステムに対応）



設置する (つづき)

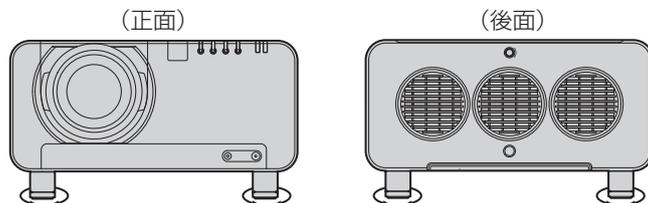
使用可能なコンセント

本機は、AC 200 V 15 A のコンセントが必要です。



アジャスター脚の調整

本機底面に取り付けられた4個のアジャスター脚(14ページ)には高さ調整機能(0 mm ~ 15 mm)があり、床置き設置面が水平でない場合の調整用に使用できます。



投写方式

本機は、4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。投写方式の設定方法については、「設置設定」メニューで行うことができます。(76ページ)

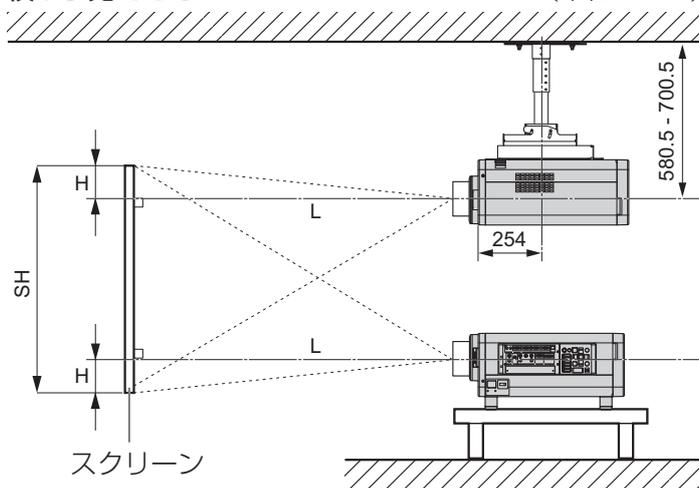
投写関係

本機の設置は、下図や次ページを参考にして設置してください。なお、電動ズームレンズの採用により画面サイズの調整と、レンズ位置移動機能による画面位置の高さ調整が可能です。

● 別売品の天つり金具 (ET-PKD100H) 装着時

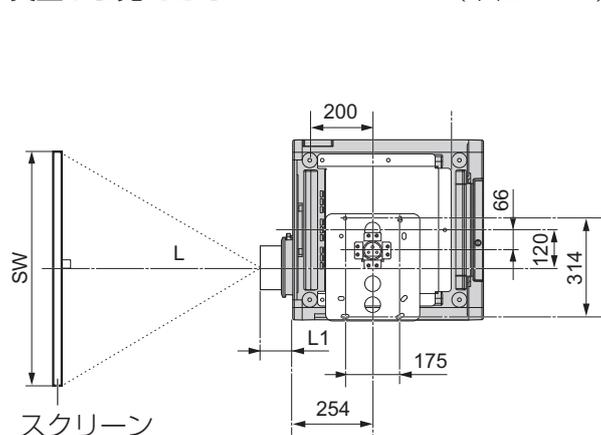
横から見たとき

(単位 : mm)



真上から見たとき

(単位 : mm)



L	投写距離
SH	画像高さ
SW	画像幅
H	レンズセンターと画像下端の距離

※ $H = -0.2 \times SH \sim 1.2 \times SH$

※ ただし、ET-D75LE5 装着時は、 $H = SH/2$ 固定となります。

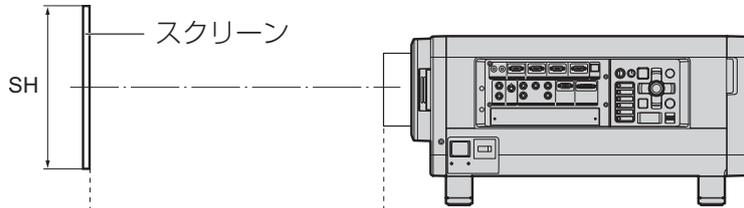
ET-D75LE6 装着時は、 $H = -0.1 \times SH \sim 1.1 \times SH$

レンズ	L1 の寸法 (概略値)
ET-D75LE1	62.5
ET-D75LE2	47
ET-D75LE3	50.5
ET-D75LE4	74.4
ET-D75LE5	150.5
ET-D75LE6	160
ET-D75LE8	202.5

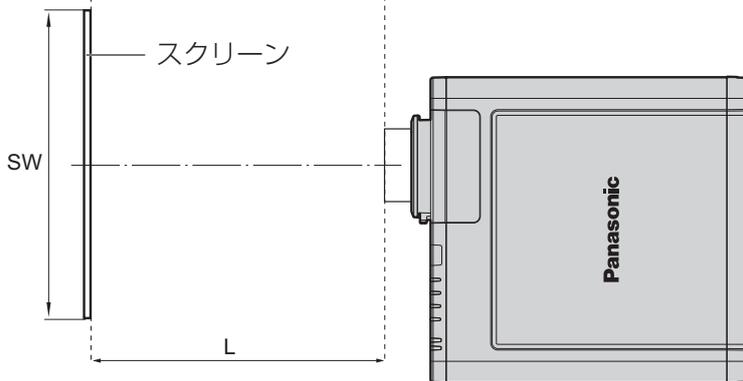
投写レンズ（別売品）ごとの投写距離

別売品の投写レンズは同じ画面サイズを得るにも、種類によりそれぞれ投写距離が異なります。下表や次ページの各投写レンズごとの投写距離をご参照のうえ、設置場所の広さに合った投写レンズをお買い求めください。

横から見たとき



真上から見たとき



L : 投写距離
SH : スクリーン有効高さ
SW : スクリーン有効幅

お知らせ

- 記載の投写距離は±5%の誤差が発生します。
- キーストン（台形歪）補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

設置する (つづき)

■ 投写レンズごとの投写距離

● 画面アスペクト比が 4:3 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ												固定焦点 レンズ
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8	ET-D75LE6	ET-D75LE5						
スローレシオ ^{*1}			2.0-2.7 : 1	2.7-4.1 : 1	4.1-6.9 : 1	6.9-11.0 : 1	10.9-20.6 : 1	1.4-1.6 : 1	1.0 : 1						
画面サイズ			投写距離 (L)												固定
画面 サイズ (型)	有効 高さ (SH)	有効 幅 (SW)	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	
70	1.067	1.422	2.86	3.82	3.86	5.80	5.81	9.74	9.75	15.59	15.30	29.04	1.92	2.30	1.43
80	1.219	1.626	3.28	4.38	4.42	6.65	6.66	11.15	11.16	17.83	17.55	33.24	2.21	2.64	1.64
90	1.372	1.829	3.70	4.94	4.98	7.49	7.50	12.56	12.57	20.07	19.79	37.44	2.49	2.98	1.86
100	1.524	2.032	4.12	5.50	5.55	8.33	8.34	13.97	13.98	22.31	22.03	41.64	2.77	3.32	2.08
120	1.829	2.438	4.96	6.62	6.67	10.02	10.03	16.79	16.80	26.79	26.51	50.04	3.34	4.00	2.51
150	2.286	3.048	6.21	8.30	8.36	12.55	12.56	21.02	21.03	33.52	33.24	62.64	4.19	5.01	3.16
200	3.048	4.064	8.31	11.11	11.17	16.77	16.78	28.07	28.07	44.72	44.44	83.63	5.60	6.71	4.24
250	3.810	5.080	10.41	13.91	13.99	20.99	21.00	35.12	35.12	55.93	55.65	104.63	7.01	8.40	5.32
300	4.572	6.096	12.51	16.71	16.80	25.21	25.22	42.16	42.17	67.14	66.86	125.63	8.43	10.10	6.40
350	5.334	7.112	14.60	19.51	19.61	29.43	29.44	49.21	49.22	78.34	78.07	146.63	9.84	11.80	
400	6.096	8.128	16.70	22.31	22.43	33.65	33.66	56.26	56.26	89.55	89.28	167.63	11.26	13.49	
500	7.620	10.160	20.89	27.92	28.05	42.09	42.10	70.35	70.36	111.96	111.69	209.62	14.08	16.88	
600	9.144	12.192	25.09	33.52	33.68	50.53	50.54	84.45	84.45	134.38	134.11	251.62	16.91	20.27	

● 画面アスペクト比が 16:9 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ												固定焦点 レンズ
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8	ET-D75LE6	ET-D75LE5						
スローレシオ ^{*1}			1.5-2.0 : 1	2.1-3.1 : 1	3.1-5.2 : 1	5.2-8.2 : 1	8.2-15.4 : 1	1.0-1.2 : 1	0.8 : 1						
画面サイズ			投写距離 (L)												固定
画面 サイズ (型)	有効 高さ (SH)	有効 幅 (SW)	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	
70	0.872	1.550	2.32	3.10	3.14	4.72	4.73	7.94	7.94	12.71	12.43	23.65	1.56	1.87	1.15
80	0.996	1.771	2.66	3.56	3.60	5.41	5.42	9.09	9.09	14.54	14.26	27.08	1.79	2.14	1.33
90	1.121	1.992	3.01	4.02	4.06	6.10	6.11	10.24	10.25	16.37	16.09	30.51	2.02	2.42	1.50
100	1.245	2.214	3.35	4.48	4.52	6.79	6.80	11.39	11.40	18.21	17.92	33.94	2.25	2.70	1.68
120	1.494	2.657	4.03	5.39	5.44	8.17	8.18	13.69	13.70	21.87	21.58	40.80	2.72	3.25	2.03
150	1.868	3.321	5.06	6.76	6.81	10.23	10.24	17.15	17.15	27.36	27.08	51.09	3.41	4.08	2.56
200	2.491	4.428	6.77	9.05	9.11	13.68	13.69	22.90	22.91	36.51	36.23	68.25	4.56	5.47	3.44
250	3.113	5.535	8.49	11.34	11.41	17.13	17.14	28.66	28.67	45.67	45.39	85.40	5.72	6.85	4.33
300	3.736	6.641	10.20	13.63	13.71	20.57	20.58	34.42	34.42	54.82	54.54	102.55	6.87	8.24	5.21
350	4.358	7.748	11.91	15.92	16.00	24.02	24.03	40.17	40.18	63.97	63.70	119.70	8.03	9.62	
400	4.981	8.855	13.63	18.21	18.30	27.47	27.48	45.93	45.93	73.13	72.85	136.85	9.18	11.01	
500	6.226	11.069	17.05	22.78	22.90	34.36	34.37	57.44	57.45	91.43	91.16	171.16	11.49	13.78	
600	7.472	13.283	20.48	27.36	27.49	41.25	41.26	68.95	68.96	109.74	109.47	205.46	13.80	16.55	

※ 1: スローレシオは、スクリーン横サイズ / 投写距離を表したおよその値です。

本書に記載のない画面サイズで、ご使用の場合は、使用されるスクリーンの対角寸法（型）をご確認のうえ、下記計算式で投写距離を求めてください。

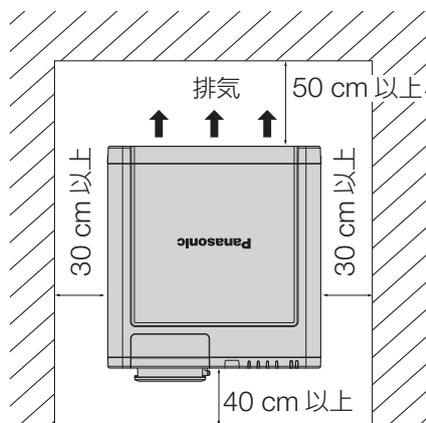
■ 投写レンズ別投写距離計算式

投写レンズ品番	スローレシオ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	単位：m	
ズームレンズ	ET-D75LE1	2.0-2.7 : 1	4:3	最短 : L = 0.0419 × スクリーン対角 (型) - 0.0760 最長 : L = 0.0560 × スクリーン対角 (型) - 0.1004	
		1.5-2.0 : 1	16:9	最短 : L = 0.0343 × スクリーン対角 (型) - 0.0760 最長 : L = 0.0458 × スクリーン対角 (型) - 0.1004	
	ET-D75LE2	2.7-4.1 : 1	4:3	最短 : L = 0.0563 × スクリーン対角 (型) - 0.0795 最長 : L = 0.0844 × スクリーン対角 (型) - 0.1064	
		2.1-3.1 : 1	16:9	最短 : L = 0.0460 × スクリーン対角 (型) - 0.0795 最長 : L = 0.0689 × スクリーン対角 (型) - 0.1064	
	ET-D75LE3	4.1-6.9 : 1	4:3	最短 : L = 0.0844 × スクリーン対角 (型) - 0.0958 最長 : L = 0.1409 × スクリーン対角 (型) - 0.1216	
		3.1-5.2 : 1	16:9	最短 : L = 0.0689 × スクリーン対角 (型) - 0.0958 最長 : L = 0.1151 × スクリーン対角 (型) - 0.1216	
	ET-D75LE4	6.9-11.0 : 1	4:3	最短 : L = 0.1409 × スクリーン対角 (型) - 0.1158 最長 : L = 0.2241 × スクリーン対角 (型) - 0.1013	
		5.2-8.2 : 1	16:9	最短 : L = 0.1151 × スクリーン対角 (型) - 0.1158 最長 : L = 0.1831 × スクリーン対角 (型) - 0.1013	
	ET-D75LE8	10.9-20.6 : 1	4:3	最短 : L = 0.2241 × スクリーン対角 (型) - 0.3862 最長 : L = 0.4200 × スクリーン対角 (型) - 0.3598	
		8.2-15.4 : 1	16:9	最短 : L = 0.1831 × スクリーン対角 (型) - 0.3862 最長 : L = 0.3430 × スクリーン対角 (型) - 0.3598	
	ET-D75LE6	1.4-1.6 : 1	4:3	最短 : L = 0.0283 × スクリーン対角 (型) - 0.0566 最長 : L = 0.0339 × スクリーン対角 (型) - 0.0736	
		1.0-1.2 : 1	16:9	最短 : L = 0.0231 × スクリーン対角 (型) - 0.0566 最長 : L = 0.0277 × スクリーン対角 (型) - 0.0736	
	固定焦点レンズ	ET-D75LE5	1.0 : 1	4:3	L = 0.0216 × スクリーン対角 (型) - 0.0835
			0.8 : 1	16:9	L = 0.0176 × スクリーン対角 (型) - 0.0835

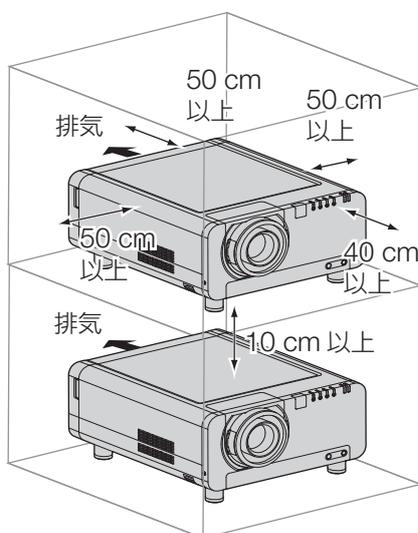
設置する (つづき)

設置寸法図

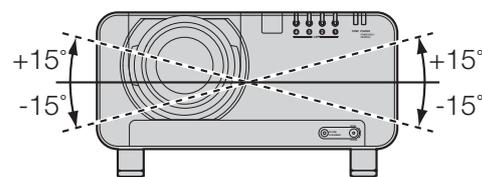
● 図 1 : 1 台で使用する場合



● 図 2 : 2 台で使用する場合



● 図 3 : セット回転方向



お願い

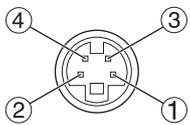
- ランプ交換を行うために、また排気孔をふさがないようにするために後面のすき間を 50 cm 以上あけて設置してください。
- 本体の後側は空気の滞留が生じないようにしてください。また、排気孔から出た熱が吸気孔に回り込まないように、側面のすき間を 30 cm 以上あけて設置してください。
- エアフィルター交換のために前面のすき間を 40 cm 以上あけて設置してください。
- プロジェクターをボックスに入れて使用する場合、ダクトなどで排気がボックスの外に排出するような構造で図 2 のスペースを確保し、使用中の温度が 0 °C ~ 35 °C になるようにしてください。

接続する

接続する前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号、DVI-D信号、およびオプション入力モジュール対応信号（28ページ）です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

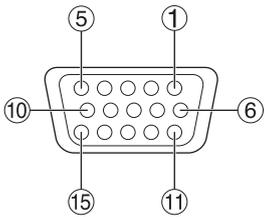
● Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピン No.	信号
①	アース（輝度信号）
②	アース（色信号）
③	輝度信号
④	色信号

● RGB2 入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



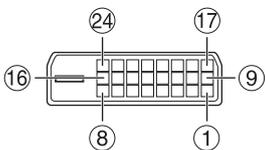
外側から見た図

ピン No.	信号
①	R/P _R
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P _B
⑬	HD/SYNC
⑭	VD

④、⑨、⑫、⑮ は未使用です。

⑤～⑧、⑩、⑪ は GND 端子です。

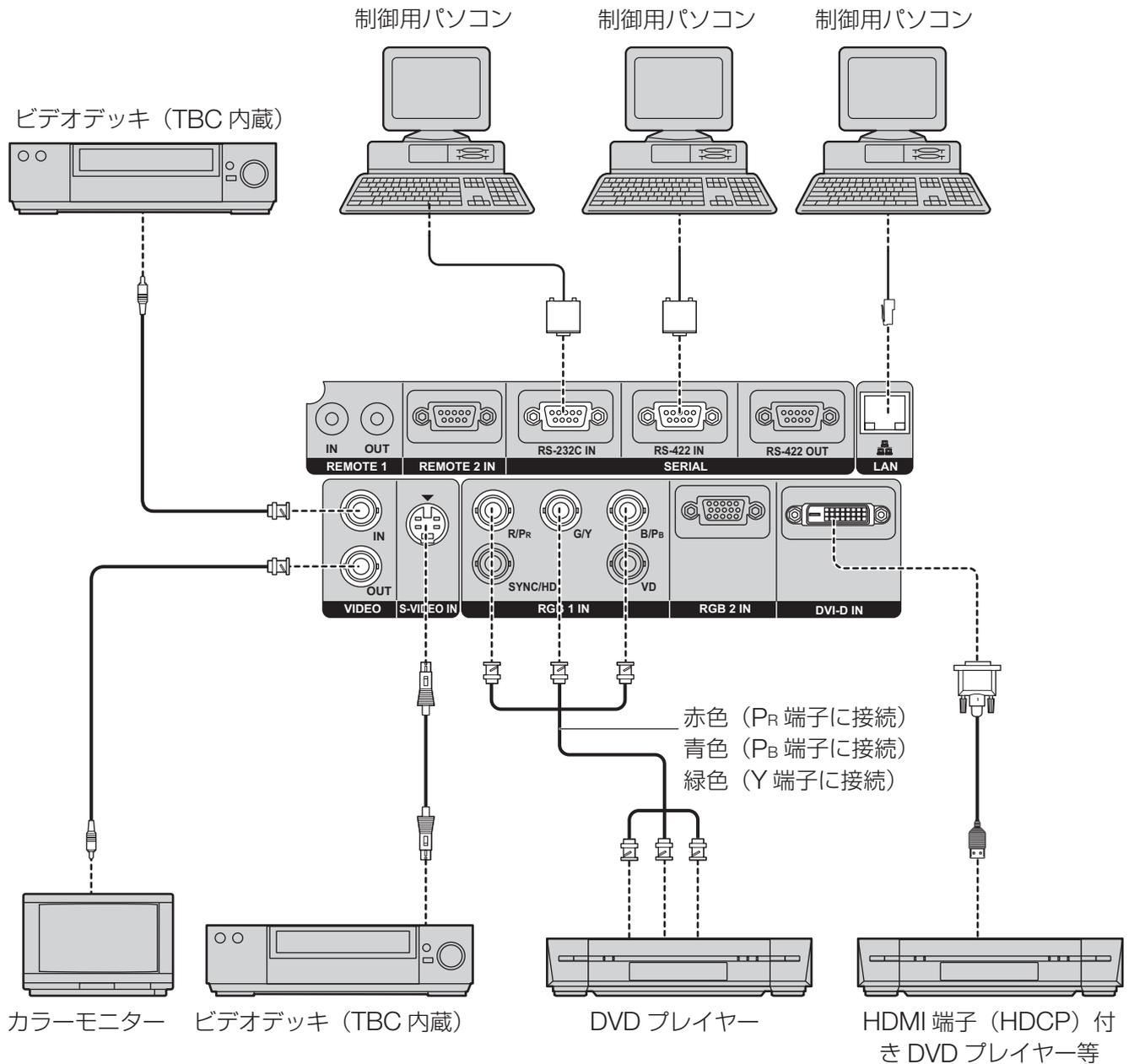
● DVI-D 入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピン No.	信号	ピン No.	信号
①	T.M.D.S データ 2-	⑬	
②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
③	T.M.D.S データ 2 / 4 シールド	⑮	グラウンド
		⑯	ホットプラグ検出
④		⑰	T.M.D.S データ 0-
⑤		⑱	T.M.D.S データ 0+
⑥	DDC クロック	⑲	T.M.D.S データ 0 / 5 シールド
⑦	DDC データ		
⑧		⑳	
⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	
⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロックシールド
⑪	T.M.D.S データ 1 / 3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック +
⑫		㉔	T.M.D.S クロック -

映像機器との接続例



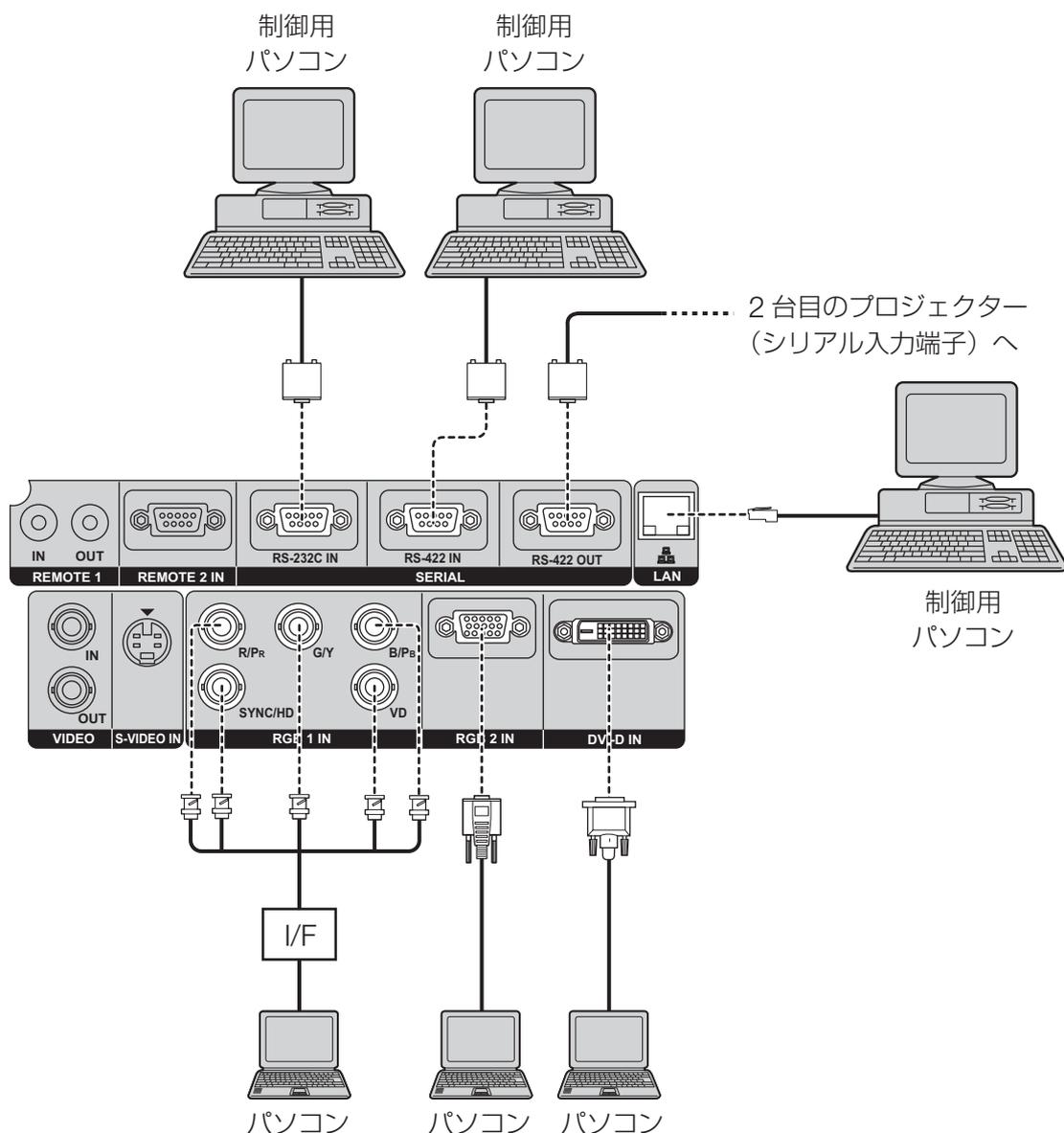
お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ず TBC (タイムベースコレクター) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクターを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクターを接続してください。

お知らせ

- DVI-D 入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI-DVI-D 変換用ケーブルが必要です。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要となる場合があります。(71、72 ページ)
- DVI-D 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

パソコンとの接続例



お願い

- 本体の主電源を切ったときにはパソコンの電源も切ってください。
- パソコンからプロジェクターまでのケーブル距離が長いとき、またはスイッチャーなど中継機器の多いときは、映像が途切れたり乱れたりすることがあります。その場合は、ケーブル補償器を使用してください。

お知らせ

- 本機に接続できるパソコンからの RGB 信号は、120～121 ページに記載のデータを参照してください。
- レジューム機能（ラストメモリー）のパソコンを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要となる場合があります。（71、72 ページ）

入力モジュール（別売品）の取り付け

入力モジュールの取り付け

■ 入力モジュール（別売品）の種類

あらかじめシステムの入力信号に合った入力モジュール（別売品）をご用意ください。

モジュール名	モジュール番号	入出力端子	対応信号フォーマット
SD-SDI 入力モジュール	ET-MD77SD1	BNC 入出力各 1 系統	SMPTE259M 準拠：480i、576i
		RJ-45 入力 1 系統 ^{*1}	10BASE-T/100BASE-TX
HD/SD-SDI 入力モジュール	ET-MD77SD3	BNC 入出力各 1 系統	SMPTE259M 準拠：480i、576i SMPTE292M 準拠： 720/60p、720/59.94p、720/50p、1 035/60i、 1 035/59.94i、1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、 1 080/24sF、1 080/23.98sF、1 080/30p、 1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/23.98p
		RJ-45 入力 1 系統 ^{*1}	10BASE-T/100BASE-TX
	ET-MD100SD4	BNC 入力 2 系統	シングルリンク SD-SDI 信号：480i、576i シングルリンク HD-SDI 信号 (Y _{PbPr} 4:2:2): 720/60p、720/59.94p、720/50p、1 080/60i、 1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF、 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、 1 080/23.98p デュアルリンク HD-SDI 信号 (RGB 4:4:4): 1 920 × 1 080/50i、1 920 × 1 080/59.94i、 1 920 × 1 080/60i、1 920 × 1 080/23.98p、 1 920 × 1 080/23.98sF、1 920 × 1 080/25p、 1 920 × 1 080/24p、1 920 × 1 080/24sF、 1 920 × 1 080/29.97p、1 920 × 1 080/30p デュアルリンク HD-SDI 信号 (X' Y' Z' 4:4:4): 2 048 × 1 080/23.98p、2 048 × 1 080/23.98sF、 2 048 × 1 080/24p、2 048 × 1 080/24sF
DVI-D 入力モジュール	ET-MD77DV	DVI-D 24 ピン 入力 1 系統	HDCP ^{*2} 対応 DVI-D シングルリンク、DVI1.0 準拠 480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p 1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、 1 080/23.98sF 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、 1 080/23.98p 1 080/60p、1 080/59.94p、1 080/50p 表示可能解像度 VGA～WUXGA ^{*3} (ノンインターレース) ドットクロック周波数 25 MHz～162 MHz
		RJ-45 入力 1 系統 ^{*1}	10BASE-T/100BASE-TX

※ 1: 入力モジュール（別売品）の LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

※ 2: HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

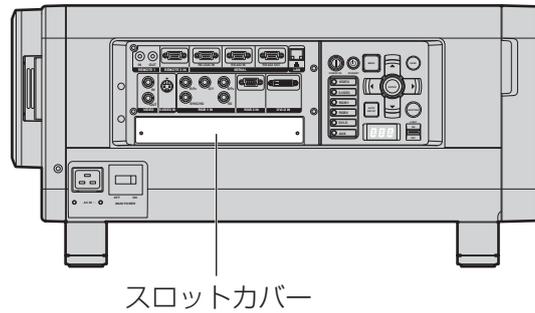
HDCP はコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化方式です。

HDCP 対応機器からの DVI-D/HDMI 出力信号はコンテンツ保護のため HDCP 方式で暗号化されていますが、DVI-D モジュールは HDCP に対応しているため正しく表示することができます。

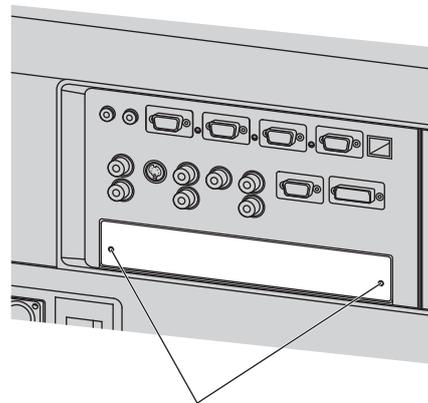
※ 3: WUXGA 信号は VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応しています。

■ 取り付け手順

電源を接続しない状態で入力モジュールの取り付けを行ってください。

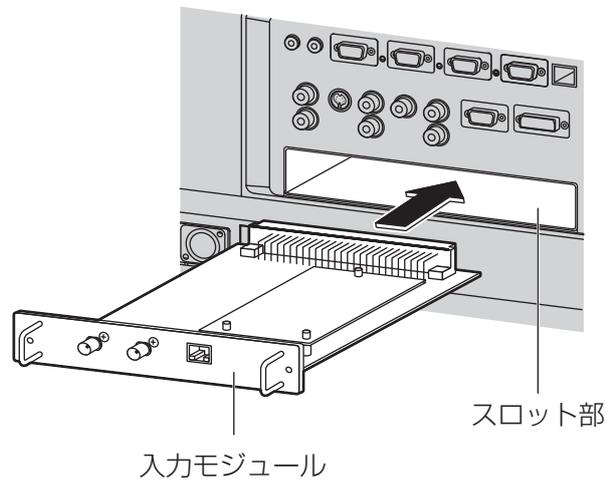


1. スロットカバーを外す



ねじ 2 本を外す

2. 入力モジュールを挿入する



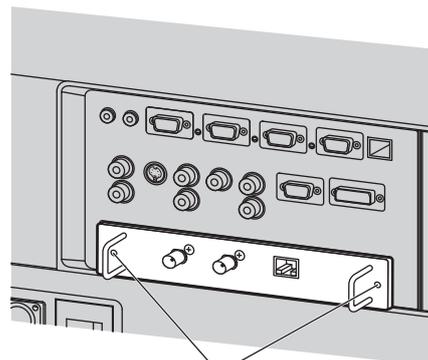
入力モジュール

スロット部

3. 入力モジュールを固定する

4. 入力信号の登録をする

- 本機は入力モジュールを取り付け後、入力信号を登録する必要があります。
(入力信号の登録は 43 ~ 45 ページをご参照ください。)

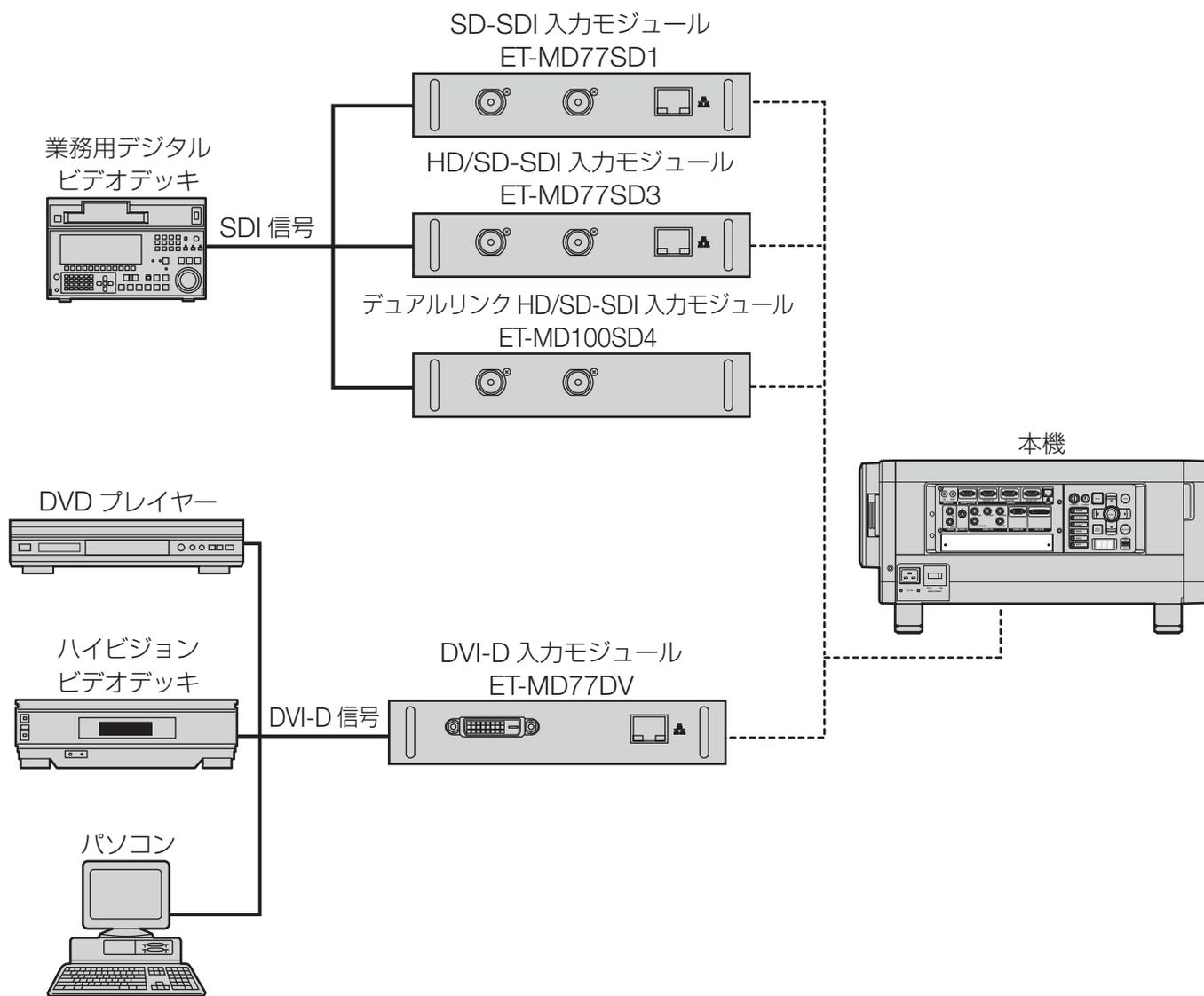


ねじ 2 本を締めつける

入力モジュール（別売品）の取り付け（つづき）

入力モジュールへの信号の接続

本機を設置時は、接続機器に合わせて入力モジュールへの信号の接続が必要です。
下図を参照のうえ、信号の接続を正しく行ってください。

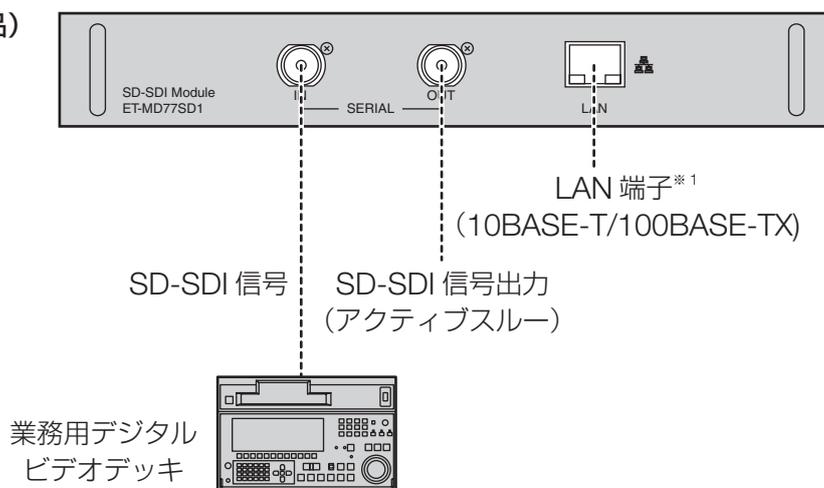


お知らせ

- 入力信号規格に合わせた入力モジュールを装着してください。
- 通常、システムセクターメニューは、「AUTO」で使用してください。（56～57ページ）

SD-SDI 入力モジュールへの信号の接続

SD-SDI 入力モジュール (別売品)
ET-MD77SD1 (480i/576i 用)

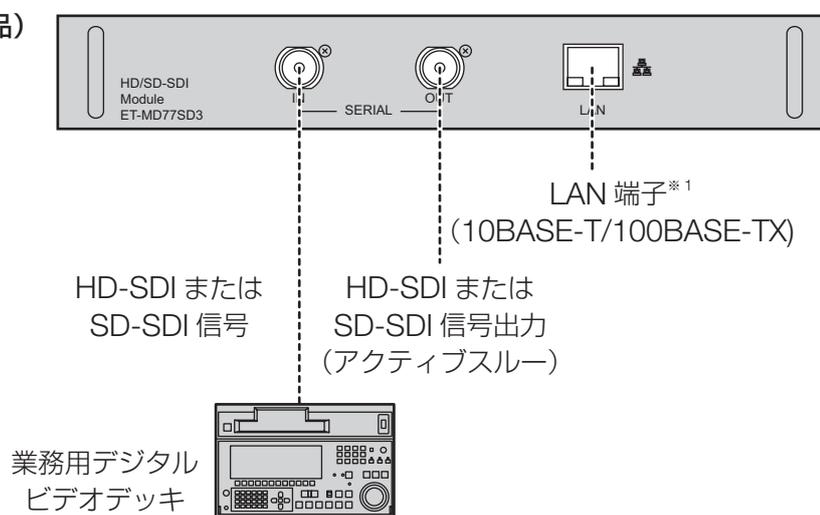


お知らせ

- 不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。
その場合は、システムセレクターメニューで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。
 - 入力フォーマットの方式切り換えは、システムセレクターメニューで切り換えが可能です。(56～57 ページ)
- ※ 1: 入力モジュールの LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

HD/SD-SDI 入力モジュールへの信号の接続

HD/SD-SDI 入力モジュール (別売品)
ET-MD77SD3 (HD/SD 用)



お知らせ

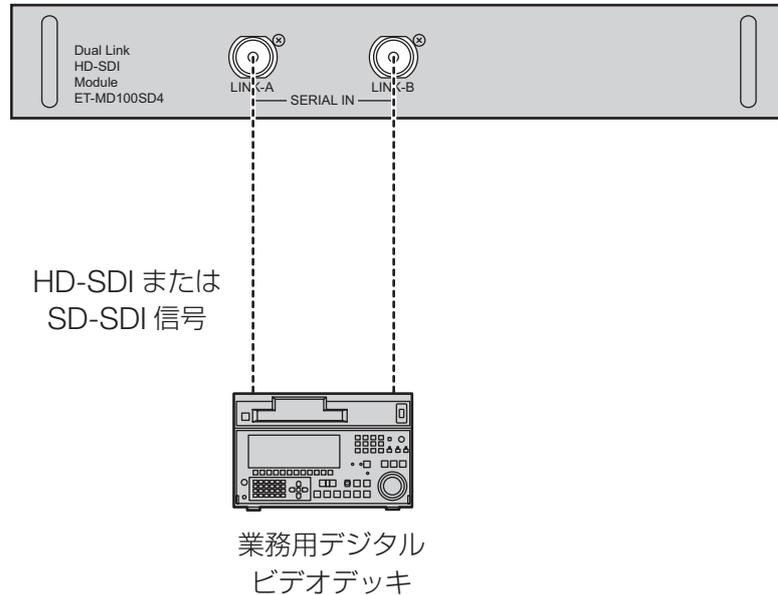
- 入力フォーマットの方式切り換えは、システムセレクターメニューで切り換えが可能です。(56～57 ページ)
- 不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。
その場合は、システムセレクターメニューで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。
- 接続ケーブルは、画像性能を正しく伝達するために 5CFB 以上または Belden 1694A 以上のケーブルを使用してください。
(例: 5CFB、5CFTX、7CFB、Belden 1694A 等。)

※ 1: 入力モジュールの LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

入力モジュール（別売品）の取り付け（つづき）

デュアルリンク HD/SD-SDI 入力モジュールへの信号の接続

デュアルリンク HD/SD-SDI 入力モジュール (別売品)
ET-MD100SD4



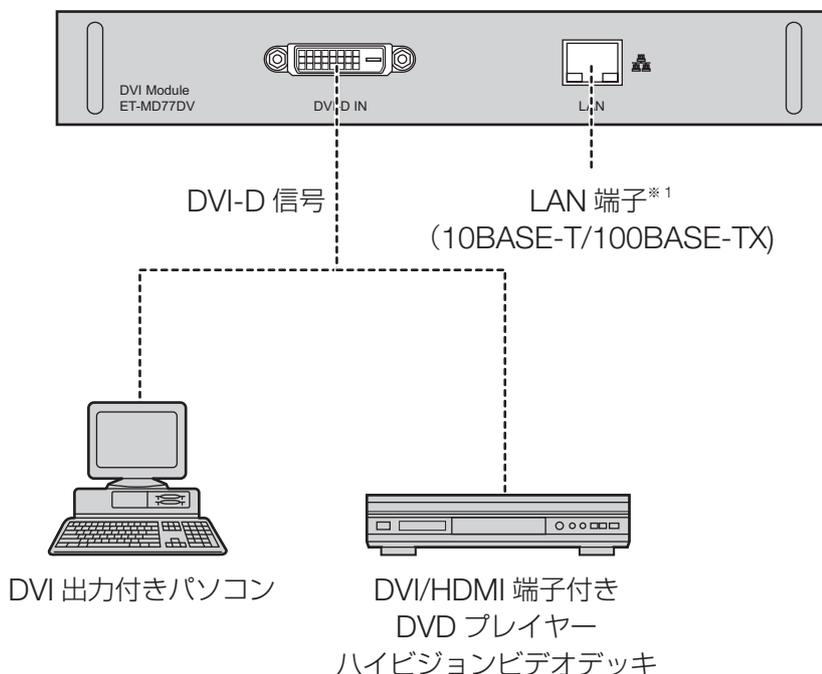
シングルリンク信号を接続する場合は、LINK-A 端子に接続してください。
デュアルリンク信号を接続する場合は、LINK-A 端子と LINK-B 端子にそれぞれ接続してください。

お知らせ

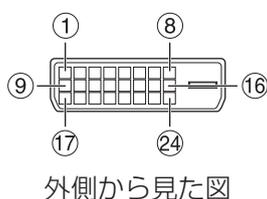
- 入力フォーマットの方式切り換えは、システムセクターメニューで切り換えが可能です。(56 ~ 57 ページ)
- 接続する機器によって設定が必要です。(72 ~ 73 ページ)
- 接続ケーブルは、画像を正しく伝達するために 5CFB 以上 (5CFB、7CFB など) または Belden 1694A 以上のケーブルを使用してください。また、接続ケーブルの長さは 100 m 以下のものを使用してください。
- LINK-A 端子と LINK-B 端子に接続するケーブルは同じ長さ、同じ種類にしてください。接続ケーブルの長さの差が 4 m 以上あると映像が正常に映らないことがあります。
- デュアルリンク信号を接続する場合は、分配器などを経由せず信号出力機器と直接接続してください。LINK-A の信号と LINK-B の信号に位相差が発生し、映像が正常に映らないことがあります。
- 不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。その場合は、システムセクターメニューで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。

DVI-D 入力モジュールへの信号の接続

DVI-D 入力モジュール (別売品)
ET-MD77DV



- DVI-D 入力端子のピン配列と信号名は、右記の通りです。



ピン No.	信号	ピン No.	信号
①	T.M.D.S データ 2-	⑬	
②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
③	T.M.D.S データ 2/ 4 シールド	⑮	グラウンド
		⑯	ホットプラグ検出
④		⑰	T.M.D.S データ 0-
⑤		⑱	T.M.D.S データ 0+
⑥	DDC クロック	⑲	T.M.D.S データ 0/ 5 シールド
⑦	DDC データ		
⑧		⑳	
⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	
⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロックシールド
⑪	T.M.D.S データ 1/ 3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック +
⑫		㉔	T.M.D.S クロック -

お知らせ

- DVI-D 入力モジュールはシングルリンクのみ対応しています。
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI-DVI-D 変換ケーブルが必要です。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要となる場合があります。(71、72 ページ)
- DVI-D 入力モジュールは HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

※ 1: 入力モジュールの LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

投写レンズ（別売品）の取り付け／取り外しかた

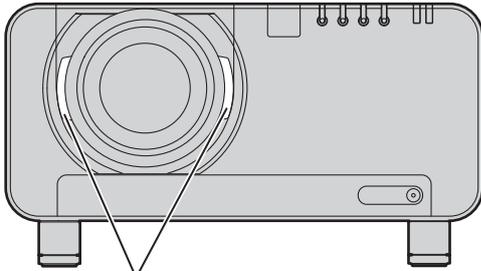
投写レンズを取り付け／取り外しする場合は、レンズのシフト位置をホームポジションに調整（39 ページ）してから行ってください。

お願い

- レンズを取り付ける際は本体鏡筒部の防塵スポンジを取り除いてから行ってください。（防塵スポンジは大切に保管してください。）
- レンズを外した際はほこりが本体に侵入しないよう防塵スポンジを取り付けてください。

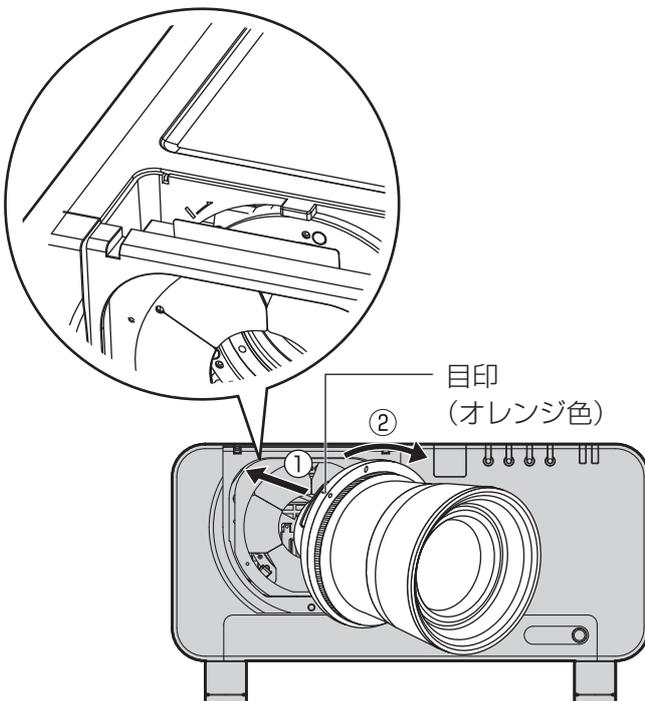
投写レンズの取り付けかた

1. 投写レンズカバーのロックボタンを押しながらカバーを手前に引いて外す

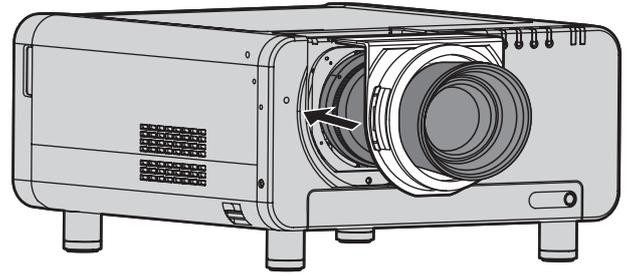


投写レンズカバーロックボタン

2. 投写レンズの目印（オレンジ色）を本体の目印（→）に合わせて差し込み、「カチッ」と音がするまで時計方向に回す

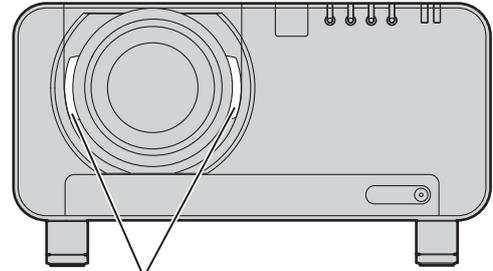


3. 投写レンズカバーを「カチッ」と音がするまで押し込む



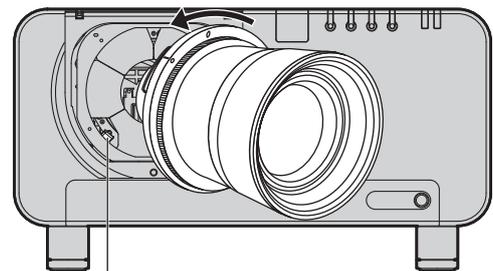
投写レンズの取り外しかた

1. 投写レンズカバーのロックボタンを押しながらカバーを手前に引いて外す



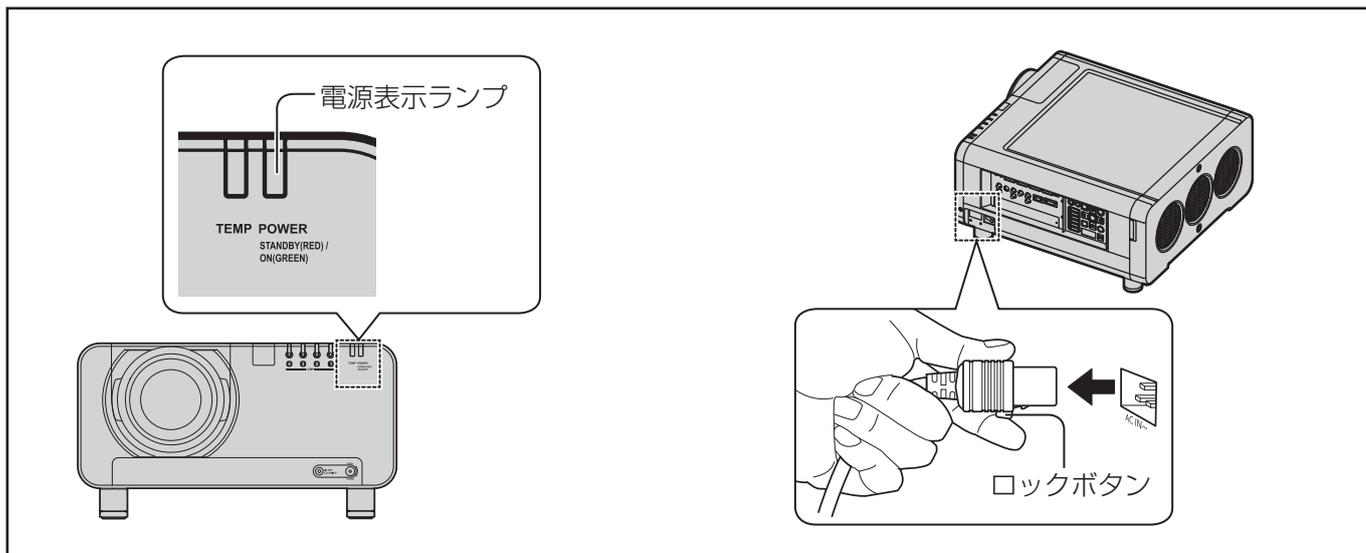
投写レンズカバーロックボタン

2. 投写レンズロックボタンを押しながら投写レンズを反時計方向に回し、抜き取る



投写レンズロックボタン

投写する



電源表示ランプについて

電源の状態を表示します。電源表示ランプの状態をよく確認し、操作してください。

点灯状況		本機の状態
消灯		主電源オフ状態
赤色	点灯	スタンバイ状態
		電源入 (I) ボタンで映像を投写します
緑色	点灯	投写状態 (オン)
オレンジ色	点灯	クーリング状態
		しばらくするとスタンバイ状態になります

お願い

- クーリング状態（電源表示ランプがオレンジ色に点灯）中は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。主電源スイッチをオフにしたり電源コードを抜いたりしないでください。

お知らせ

- クーリング状態に、電源入 (I) ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。

電源コードの接続

付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。取り扱いについて詳しくは、「安全上のご注意」（4～9ページ）と「使用可能なコンセント」（20ページ）をご覧ください。

■ 取り付け方

- ① 本機の AC 入力 (AC IN) 端子と、電源コネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥までカチッと音がするまで差し込む
- ② 電源プラグをコンセントに差し込む

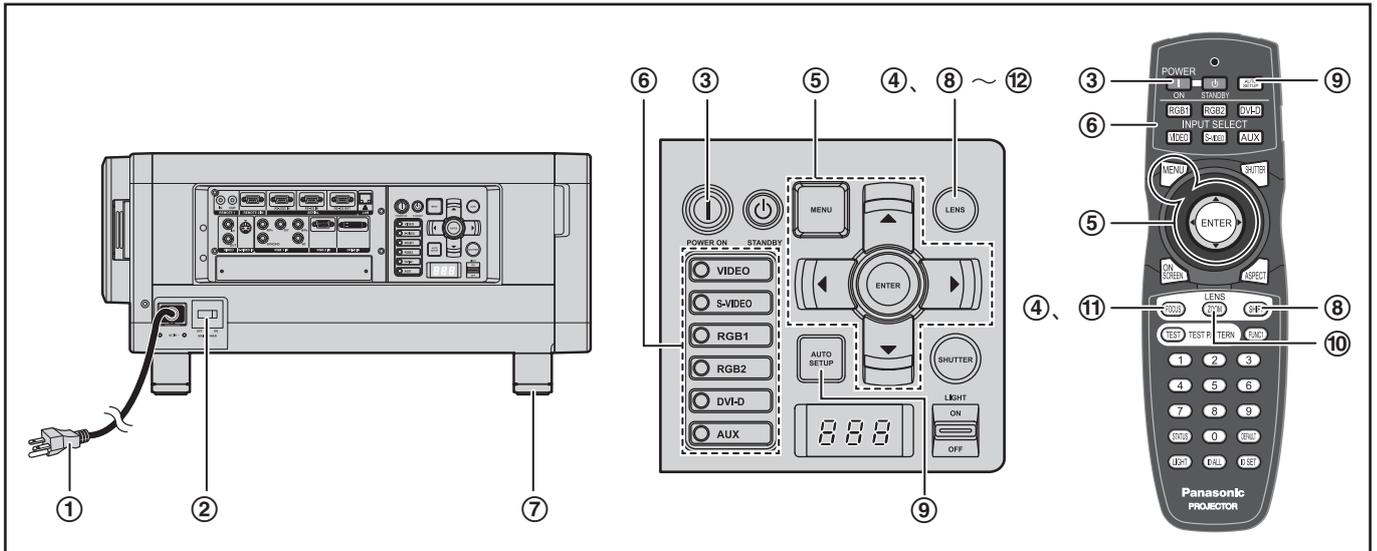
■ 取り外し方

- ① 本機側面の主電源 (MAIN POWER) スイッチがオフ (○) になっているのを確認し、コンセントから電源プラグを抜く
- ② 電源コネクタのロックボタンを押しながら、AC 入力 (AC IN) 端子から電源コードを取り外す

お願い

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、外部機器を接続してください。（26～27ページ）

投写する（つづき）



電源を入れる

- ① 電源コード（付属）を接続する
- ② 主電源（MAIN POWER）スイッチの「I」側を押し電源を入れる
 - 電源表示ランプが赤色に点滅した後、点灯してスタンバイ状態になります。
- ③ 電源入（I）ボタンを押す
 - 電源表示ランプが緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

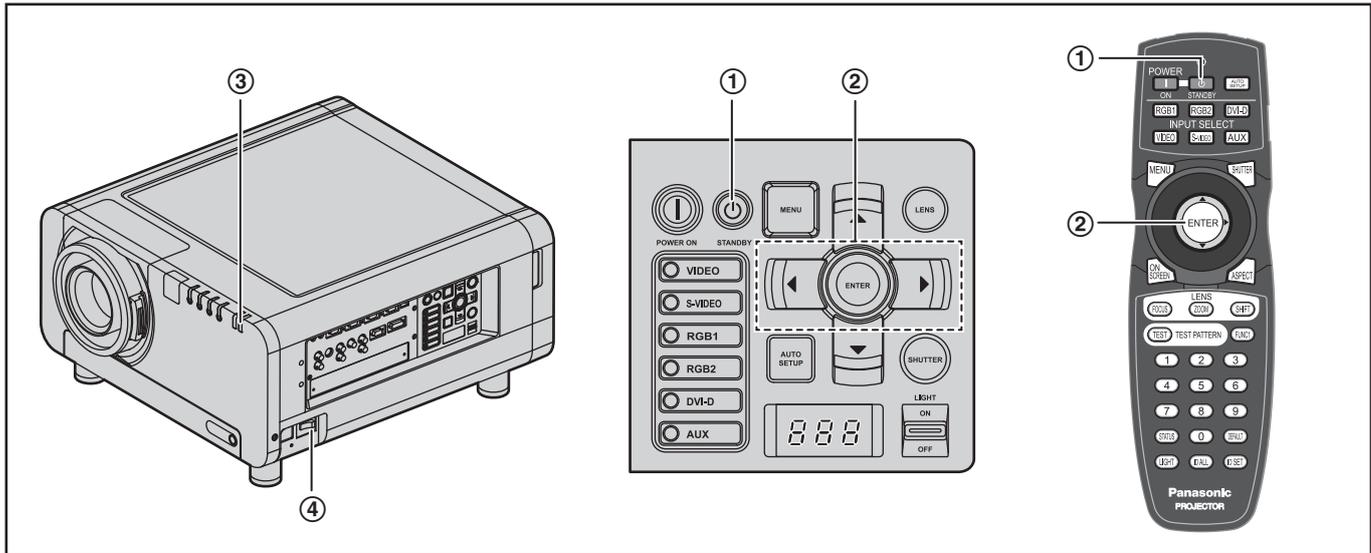
お知らせ

- 0℃付近での電源「入」は出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。ウォームアップ中は温度モニター（TEMP）ランプが点灯します。ウォームアップが完了すると温度モニター（TEMP）ランプが消灯し、映像を投写します。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は、異常とみなし、自動的に電源が切れます。この場合は使用環境温度を0℃以上に設定し、再度主電源「入」→電源「入（I）」の操作を行ってください。

ご購入後、初めて本機の電源を入れた時は必ず日付と時刻設定を行ってください。詳しくは、81ページの「日付と時刻設定」をご覧ください。

調整・選択をする

- ④ 画像のフォーカスをおおまかに合わせる（38ページ）
- ⑤ 投写方式を設定する（76ページ）
- ⑥ 入力切り換え（RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、AUX）ボタンを押して入力信号を選択する（46ページ）
 - AUX ボタンは、オプション入力モジュールが装着されていないときは無効です。
- ⑦ 本体の前後左右の傾きを調整する（20ページ）
- ⑧ シフト調整をする（38ページ）
- ⑨ 入力信号がRGB信号の場合はオートセットアップ（AUTO SETUP）ボタンを押す（47ページ）
- ⑩ 画像の大きさをスクリーンに合わせる（38ページ）
- ⑪ フォーカス調整をする（38ページ）
- ⑫ 再度ズーム調整をして画像の大きさをスクリーンに合わせる（38ページ）



電源の切りかた

① 電源スタンバイ (⏻) ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。



② ◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す (または電源スタンバイ (⏻) ボタンを再度押す)

- 映像の投写が停止し、本体の電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。(冷却ファンは回転したままです。)

③ 本体の電源表示ランプが赤色に点灯 (冷却ファンが停止) するまで待つ (約 3 分)

- 冷却ファンが回転している間は絶対に主電源 (MAIN POWER) スイッチを切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

④ 主電源 (MAIN POWER) スイッチの「○」側を押して電源を切る

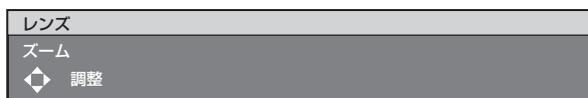
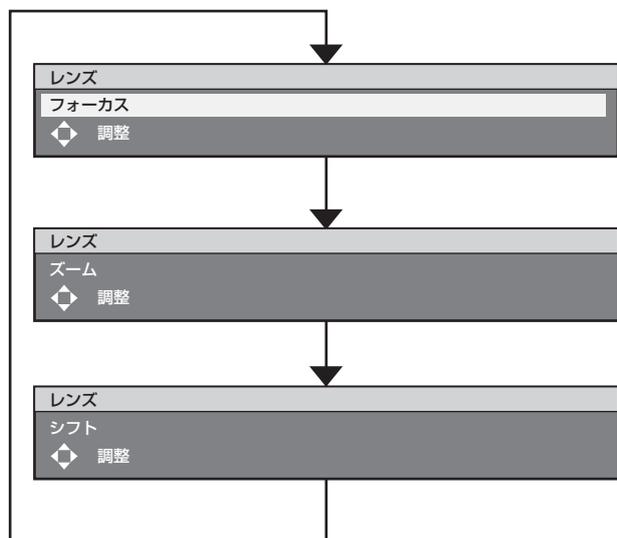
お知らせ

- 電源を切った後のクーリング状態中に電源を入れても点灯しません。この場合は光源ランプ冷却が終了した後、再度電源を入れ直してください。
- スタンバイ状態でも約 15 W の電力を消費しています。(電源表示ランプ…赤点灯)
- 使用中に間違って主電源を切った場合、主電源を入れた後に電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。この場合は、しばらくたってから再度主電源を入れ直してください。

レンズ調整のしかた

フォーカス調整、ズーム調整、シフト調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像のフォーカス、ズーム、位置がずれている場合は、フォーカス調整、ズーム調整、上下左右に投写位置を移動させる調整ができます。



■ 本体での操作の場合

1. 本体操作部のレンズ（LENS）ボタンを押す

- ボタンを押すごとに「フォーカス」「ズーム」「シフト」の順に設定画面が切り換わります。

2. それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する

■ リモコンでの操作の場合

1. リモコンのレンズ（FOCUS、ZOOM、SHIFT）ボタンを押す

- フォーカス（FOCUS）ボタンを押す：フォーカス調整をします。
- ズーム（ZOOM）ボタンを押す：ズーム調整をします。
- シフト（SHIFT）ボタンを押す：シフト調整をします。

2. それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する



注意



挟まれ注意

レンズシフト動作中は、周辺の開口部に手を挟まれないよう注意する

お知らせ

- （フォーカスがずれて文字が判別できない状態でも）表示されている調整メニューが色で判別できるように、「フォーカス」のみ OSD デザインで設定した背景色で表示されます。（73 ページ）
- ズーム調整メニューは、ズーム機能付きのレンズを使用しているときのみ表示されます。

レンズ位置移動による（光学シフト）調整範囲

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。調整範囲外へレンズ位置を移動すると、フォーカスが変わる場合がありますのでご注意ください。これは光学部品の保護のためにレンズの移動を規制しているためです。光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

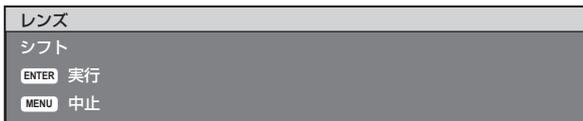
投写レンズ品番		
ズームレンズ	ET-D75LE6	
	ET-D75LE1 ET-D75LE2 ET-D75LE3 ET-D75LE4 ET-D75LE8	

お知らせ

- ET-D75LE5 は固定焦点のため、シフト調整できません。

レンズ位置のホームポジションへの移動のしかた

1. 本体操作部のレンズ（LENS）ボタンまたはリモコンのシフト（SHIFT）ボタンを3秒以上押す



2. 上記メニューが表示されている間に（約5秒）エンター（ENTER）ボタンを押す

- メニューに「実行中」と表示され、レンズ位置がホームポジションに戻ります。

お知らせ

- レンズのホームポジションは、レンズ交換やセット収納のためのレンズ位置で、光学的な画面中央位置ではありません。

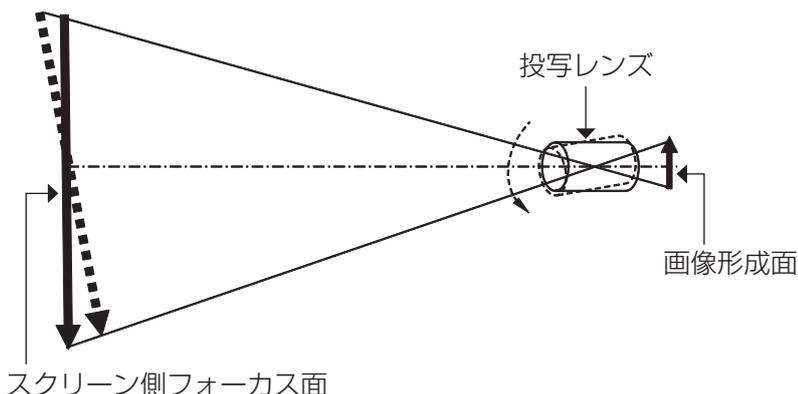
フォーカスアンバランス時のレンズマウンター調整方法

■ フォーカスバランスについて

● レンズの傾きとスクリーン側フォーカス面との関係

画像形成面に対して投写レンズに傾きがある場合、図1の例で示すように投写レンズの前側（スクリーン側）が下方方向に傾くと（点線矢印方向）、スクリーン側のフォーカス面は上側がスクリーンの奥側に、下側がスクリーンの手前側に傾きます。

図1 レンズの傾きの影響説明図



■ フォーカスバランス調整方法（レンズマウンターによる傾き調整）

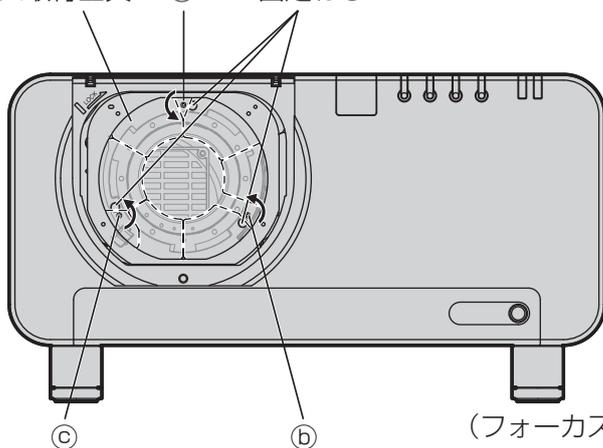
レンズフォーカス調整を行っても、スクリーン全面が均一にならない場合の補正機能として、本機のレンズマウンターには3カ所のフォーカス調整ネジがあります。

● レンズマウンターの構造（図2、図3参照）

フォーカス調整ネジ①、②、③は、回転させることによってレンズ取付金具を前後に微動させることができます。また、固定ねじは、締め付けることによって、レンズ取付金具が動かないようにロックする役割があります。

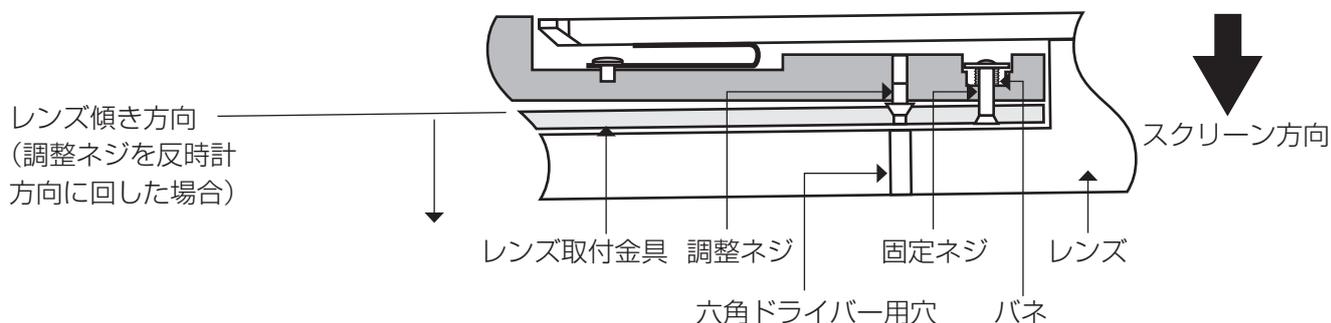
図2 レンズマウンター前面図（スクリーン側から見た図）

レンズ取付金具 ① 固定ねじ



（フォーカス調整ネジ①、②、③はレンズ装着状態で調整します。）

図3 レンズマウンター部分断面図



質量の重いレンズや傾斜設置などではレンズに傾きが発生する場合があります、フォーカスがアンバランスとなります。そのような場合は、図4及び下表の調整例を参照のうえ、以下の手順により調整を行ってください。

● 調整手順

- ① リモコンでフォーカス調整モードとし、▼ボタンで一旦全体のフォーカスをずらす。
- ② ▲ボタンで画面のいずれかの方向で最初にジャストフォーカスになるところで止める。
(この状態でフォーカスがずれている方向は、ジャストフォーカス点がスクリーンの奥側にあります。)
- ③ レンズカバーとレンズを外す。
- ④ フォーカスが最もずれている方向(②でジャストフォーカス点が最も奥側にずれている方向)と反対側になる方向の固定ねじを2回転まで緩める。(図4参照)

お願い

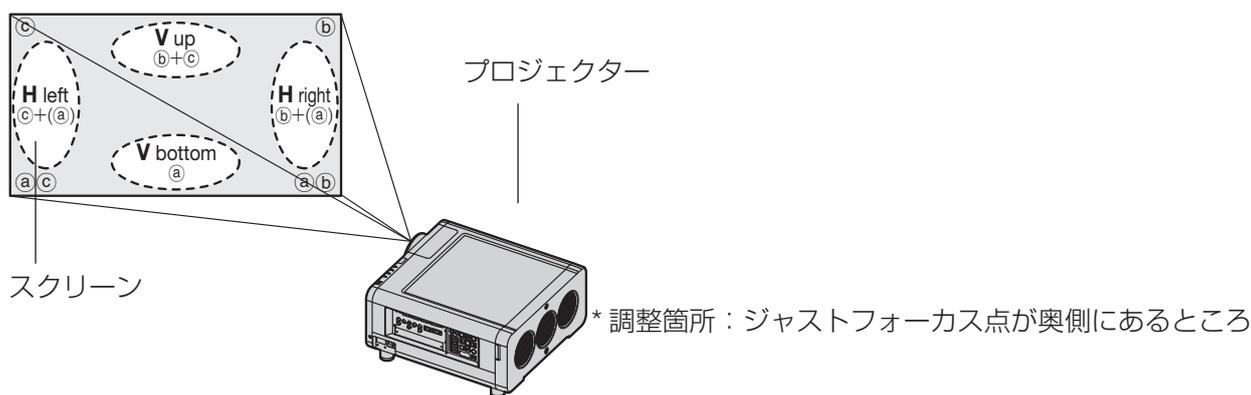
- 2回転以上緩めるとバネが外れて修理が必要になりますのでご注意ください。
- 調整する箇所は2箇所までで、少なくとも1箇所は右回転いっぱいの状態としてください。

- ⑤ 取り外したレンズを取り付ける。
- ⑥ 調整ねじを少しずつ左に回してフォーカスが合うところで止める。左に回すとマウンターのレンズ取付金具が前方(スクリーン側)に移動することによってレンズの傾きが変わり(図1参照)、スクリーン上の投写画像では調整ねじと反対方向のフォーカス点がスクリーンの奥側から手前側に移動します。
- ⑦ レンズの傾きを変化させたことによって、スクリーン面に対する投写画像の画面位置も変化するので、リモコンでレンズシフト調整モードにして最適位置に戻す。
- ⑧ 画面中心付近で再びフォーカス調整を行って、まだ不十分な場合は調整ネジの回転量をさらに微調整する。
- ⑨ 調整ができれば一旦レンズを外して緩めた固定ネジを締め付ける。
- ⑩ 再度レンズとカバーを取り付け、フォーカス調整して完了する。

使用工具：六角ドライバーまたは六角レンチ(対角2.5mm)

ET-D75LE6、ET-D75LE8のオプションレンズには六角レンチが付属しています。

図4 調整箇所と調整ねじとの関係



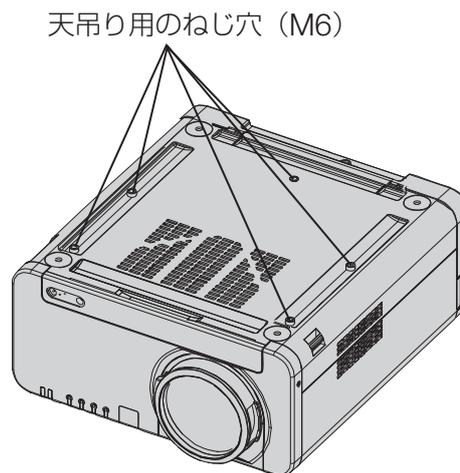
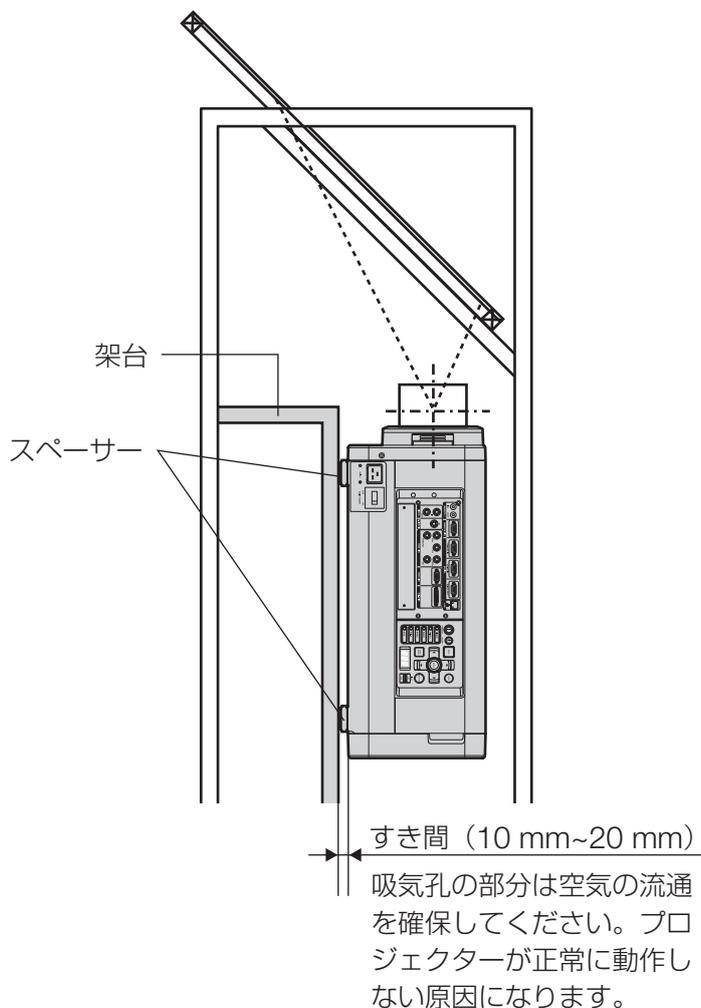
	V up でスクリーンの前方に最適フォーカスポイントがある場合	V bottom でスクリーンの前方に最適フォーカスがある場合	H left でスクリーンの前方に最適フォーカスがある場合	H right でスクリーンの前方に最適フォーカスがある場合
①	左回転	——	——	——
②	——	左回転	左回転	——
③	——	左回転	——	左回転

レンズ調整のしかた (つづき)

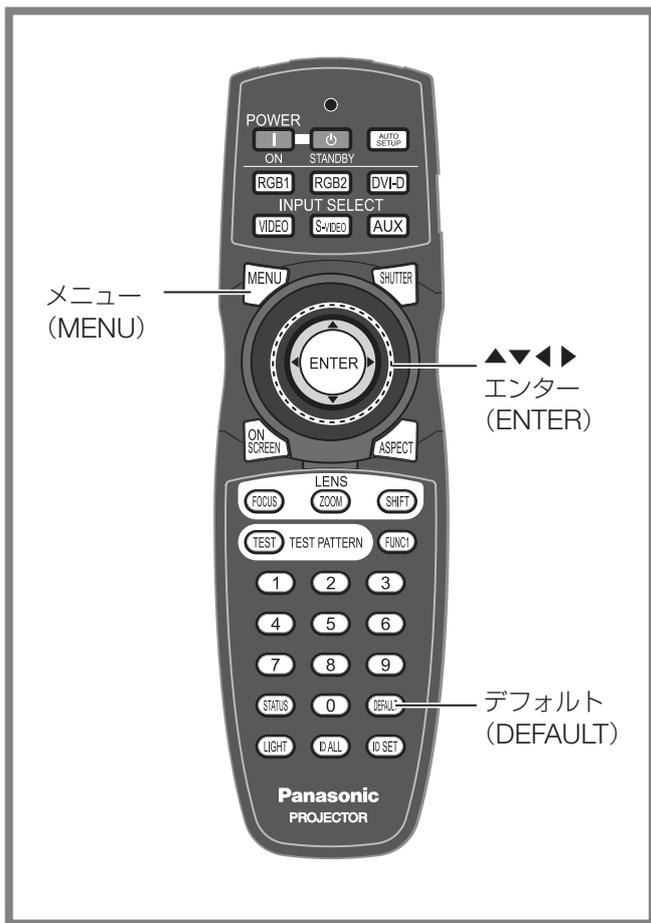
■ プロジェクター設置施工における注意

プロジェクターをアジャスター脚による床置き設置以外の方法で設置して使用する場合には、プロジェクターと設置面との間にスペーサー（金属製）を挟む等の方法により 10 mm ~ 20 mm 程度のすき間をあげ、外装ケースが設置面に触れないようにしてください。また、プロジェクターの固定は天つり用のねじ穴（図示）を使用してください。（ネジ径 :M6、セット内部ネジ長さ :8 mm）

外装ケースが設置面に接触した状態で使用されますと、電源を入れてから映像が安定するまでに時間がかかる場合がありますのでご注意ください。



入力信号データの登録



新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部のメニュー (MENU) ボタンを押すと登録が完了し、「メインメニュー」画面が表示されます。

お知らせ

- 登録できる入力信号数は 96 個です。
- 取り付けした入力モジュールに対応した信号を入力して登録します。
- メモリー番号は 12 ページ (A ~ L 各 8 メモリー、1 ページに 8 メモリーが可能) あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
- 登録の名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。
- メニューが表示されている場合は、新規信号が入力された時点で登録が完了します。

登録信号の名前の変更

1. ▲▼◀▶ボタンで詳細を表示したい信号を選択する

登録信号一覧		
A1:SVGA72-A1	RGB1	---
A2:SVGA72-A2	RGB1	---
A3:SVGA72-A3	RGB1	---

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「登録信号詳細」画面を表示します。

登録信号詳細	
名前	SVGA72-A2
メモリー番号	A2
入力	RGB1
fH	48.08kHz
fV	72.17Hz
同期極性	水平 (正)
	垂直 (正)

- 入力信号の名前、メモリー番号、入力端子、周波数、同期信号などを自動判別し、表示します。
- メニュー (MENU) ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「登録信号名変更」画面を表示します。

本機は工場出荷時は入力信号データの登録はされていませんので、必ず登録が必要です。



「メインメニュー」画面を表示する



「登録信号一覧」を選択する

「登録信号一覧」画面を表示する

- メモリーは 12 ページ (A ~ L 各 1 ~ 8 の 96 メモリー) あります。

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P IN P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

入力信号データの登録（つづき）

4. ▲▼◀▶ボタンで1文字ずつ選び、エンター（ENTER）ボタンで文字や数字を設定する



5. 名前の変更が完了すれば、▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、エンター（ENTER）ボタンを押す

- 登録が完了し「登録信号詳細」画面に戻ります。
- ▲▼◀▶ボタンで「CANCEL」を選択し、エンター（ENTER）ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動表示された信号名のまになります。

登録した信号を削除する

1. ▲▼◀▶ボタンで削除する信号を選択する

登録信号一覧		
A1:NTSC-A1	VIDEO	---
A2:SVGA72-A2	RGB1	---
A3:SXGA+60-A3	RGB1	---
A4:VGA60-A4	RGB1	---
A5:VGA85-A5	RGB1	---
A6:NTSC-A6	S-VIDEO	---
A7:1080i/60i-A7	RGB1	---
A8:1080/24p-A8	RGB1	---

2. デフォルト（DEFAULT）ボタンを押す

- 「登録信号削除」画面を表示します。
- 削除しない場合はメニュー（MENU）ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。

登録信号削除		よろしいですか？
名前	SVGA72-A2	
メモリー番号	A2	
入力	RGB1	
fH	48.08kHz	
fV	72.17Hz	
同期極性	水平（正）	
	垂直（正）	

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 選択した信号が削除されます。

サブメモリーについて

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。

同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランス等、画質調整が必要な場合にご使用ください。サブメモリーには画面アスペクト比、映像調整データ（ピクチャー、黒レベル等）など各信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

■ サブメモリーへの登録方法

新規信号ではサブメモリーを登録できません。必ず信号登録をしてください。

1. 通常画面（メニューが表示されていない状態）において◀▶ボタンを押す

- サブメモリーが登録されていない場合は「サブメモリー登録確認」画面を表示します。
- 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
- 「プロジェクターセットアップ」の「FUNC1」メニューで「サブメモリー」を選択すると、◀▶ボタンのかわりにファンクション1（FUNC1）ボタンを使用することができます。（81ページ）

サブメモリー登録確認画面

サブメモリー登録しますか？	
名前	SXGA60-A1
メモリー番号	A1
入力	RGB1
fH	64.00kHz
fV	60.00Hz
同期極性	水平（正）
	垂直（正）

サブメモリー一覧画面

サブメモリー一覧	
1-1:	SXGA60-A1
1-2:	SXGA60-A2
1-3:	---
1-4:	---
1-5:	---
1-6:	---
1-7:	---
1-8:	---

2. 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「登録信号名変更」画面を表示します。



4. エンター（ENTER）ボタンを押す

お知らせ

- 登録信号の名前を変更する場合は、44 ページの手順 4～5 を行ってください。

■ サブメモリーへの切り換え方法

1. 通常画面（メニューが表示されていない状態）において◀▶ボタンを押す

- 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。

2. 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで切り換える信号を選択する

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 手順 2 で選択した信号に切り換わります。

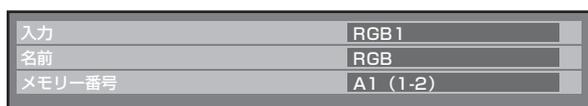
■ サブメモリーの削除方法

「登録信号一覧」画面でデフォルト（DEFAULT）ボタンを押すことにより、現在選択されているサブメモリーを削除します。

■ オンスクリーン表示

① 入力切り換え／信号切り換え

信号切り換え時のステータス画面に登録信号名を表示します。



② 登録信号詳細

登録信号詳細	
名前	SXGA60-A1
メモリー番号	A5 (1-2)
入力	RGB1
fH	63.98kHz
fV	60.02Hz
同期極性	水平 (正)
	垂直 (正)

- 名前は、サブメモリーごとに設定可能です。
- メモリー番号 :A1(1-2)

↑ ↑
サブメモリー番号

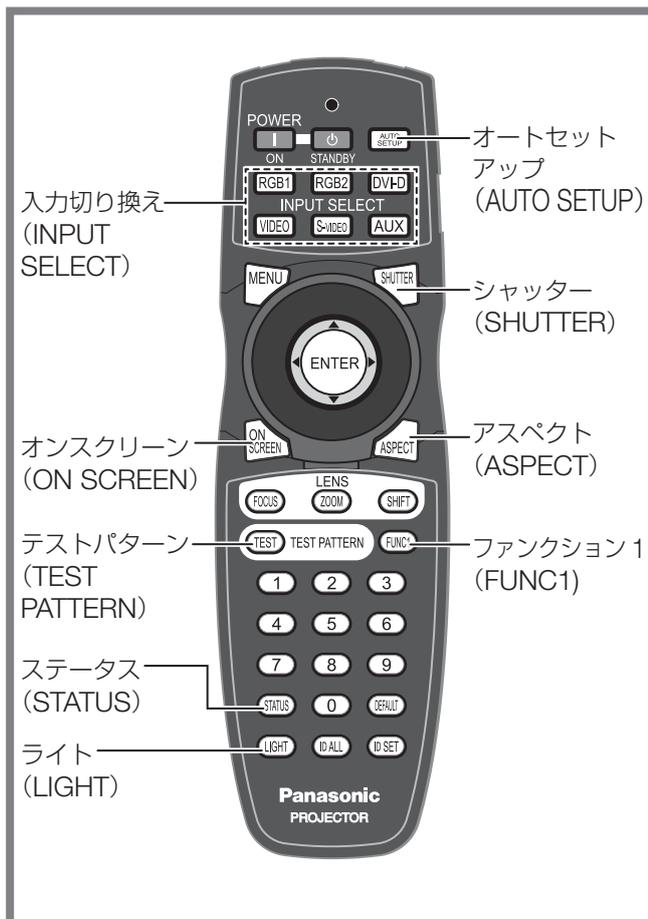
アドレス番号 (A1、A2、…H7、H8) :
信号が登録されている場所

お知らせ

制限事項

- 本機に対して登録できるサブメモリーは基本信号を含めて 96 個までです。

リモコンでの簡単操作



入力を切り換える

投写する入力を切り換えることができます。

1. リモコンまたは本体操作部の入力切り換え (INPUT SELECT) ボタンを押す

- **RGB1 ボタン:**
RGB1 に入力切り換えができます。
- **RGB2 ボタン:**
RGB2 に入力切り換えができます。
- **DVI-D ボタン:**
DVI-D に入力切り換えができます。
- **ビデオ (VIDEO) ボタン:**
ビデオに入力切り換えができます。
- **S ビデオ (S-VIDEO) ボタン:**
S ビデオに入力切り換えができます。
- **AUX ボタン:**
オプション入力モジュールに入力切り換えができます。
(オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です)

お知らせ

- 入力端子については、「接続する」をご覧ください。(25 ~ 27 ページ)

シャッター (SHUTTER) 機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができるシャッターモードにすることができます。

1. リモコンまたは本体操作部のシャッター (SHUTTER) ボタンを押す

- 映像が消えます。

2. 再度シャッター (SHUTTER) ボタンを押す

- 映像が出ます。

オンスクリーン表示機能

オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。

1. リモコンのオンスクリーン (ON SCREEN) ボタンを押す

ステータス機能

本体の状態を表示します。また、本体の状態を E メールで送信することができます。

1. リモコンのステータス (STATUS) ボタンを押す

- 「ステータス」画面が表示されます。

ステータス		1/3
入力	RGB2	
名前	XGA60-A399999	
信号周波数	48.36kHz/59.99Hz	
プロジェクター使用時間	76h	
ランプ1	341h / ON /	
ランプ2	334h / ON /	
ランプ3	342h / ON /	
ランプ4	97h / ON /	
吸気温度	31°C/87° F	
光学モジュール温度	27°C/80° F	
ランプ周辺温度	31°C/87° F	
REMOTE2 ステータス	無効	

お知らせ

- 「プロジェクターセットアップ」の「ステータス」をご覧ください。(79 ページ)
- E メール送信についての詳細は「ネットワーク機能の使い方」をご覧ください。(89 ~ 102 ページ)

オートセットアップ (AUTO SETUP) 機能について

オートセットアップ (AUTO SETUP) 機能は、コンピュータ信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置もしくは DVI-D 信号入力時の映像位置を自動で調整するものです。(DVD プレイヤーの出力信号のような動画フォーマットの信号ではオートセットアップは動作しません。)

自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをおすすめします。写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。

1. リモコンまたは本体操作部のオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押す

- 正常に終了した場合は「自動調整 OK」と表示されます。

お知らせ

- 正常終了した場合でも「クロックフェーズ」がずれることがあります。このときは「クロックフェーズ」を手動で調整してください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「自動調整 NG」となったり、「自動調整 OK」と表示されても正しく調整できていないことがあります。このときは「入力解像度」「クロックフェーズ」「シフト」の項目を手動で調整してください。
- 特殊な信号や 16:9 などの横長の信号は、オプションメニューの中の「自動調整」に従って調整してください。
- パソコンの機種によっては自動調整できない場合があります。
- コンポジットシンクや G-SYNC の同期信号では自動調整できない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。
- 入力信号ごとに調整が必要です。
- 自動調整中にメニュー (MENU) ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。
- オートセットアップが可能な RGB 信号であっても動画映像が入力されている状態でオートセットアップを行うと「自動調整 NG」となったり、「自動調整 OK」と表示されても正常に調整できていないことがあります。

ボタン照明を点灯させる

リモコンのボタン照明を点灯できます。

1. ライト (LIGHT) ボタンを押す

お知らせ

- 約 10 秒間操作しなければ、ボタン照明は自動的に消灯します。

ファンクション 1 (FUNC1) ボタンを使う

リモコンのファンクション 1 (FUNC1) ボタンに「無効」、「P IN P」(83 ~ 84 ページ)、「サブメモリー」(44 ~ 45 ページ)、「システムセクター」(56 ~ 57 ページ) または「フリーズ」(81 ページ) を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。

お知らせ

- 詳しくは「FUNC1 の設定」をご覧ください。(81 ページ)

内蔵テストパターンを表示する

セットの状態を確認するためのテストパターンを 8 種類内蔵しています。テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

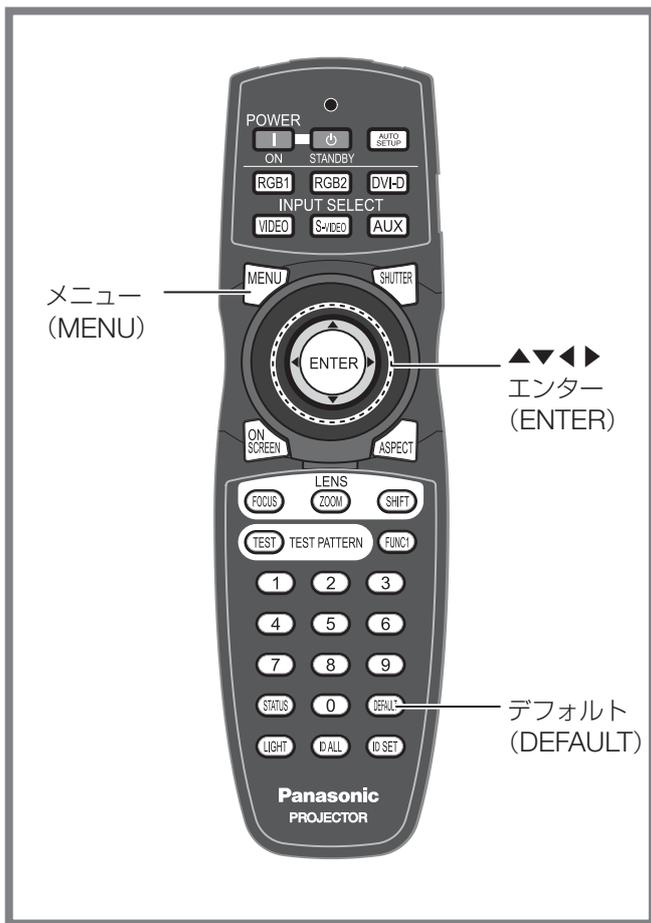
1. テストパターン (TEST PATTERN) ボタンを押す

2. ◀▶ ボタンで「テストパターン」を選択する

お知らせ

- オンスクリーンメニューでも設定できます。詳しくは「内蔵テストパターンを表示」をご覧ください。(85 ページ)
- 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

オンスクリーンメニューについて



メインメニュー

メインメニューには、以下の 11 個の項目があります。メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

アイコン	メインメニュー項目
	映像
	位置調整
	アドバンスドメニュー
	表示言語 (LANGUAGE)
	表示オプション
	プロジェクターセットアップ
	P IN P
	テストパターン
	登録信号一覧
	セキュリティ
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ 映像 (52 ~ 57 ページ)

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	AUTO1

◆ 項目選択
◆ 切替

お知らせ

- 映像メニューによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。



「メインメニュー」画面を表示する



設定したい項目を選択する

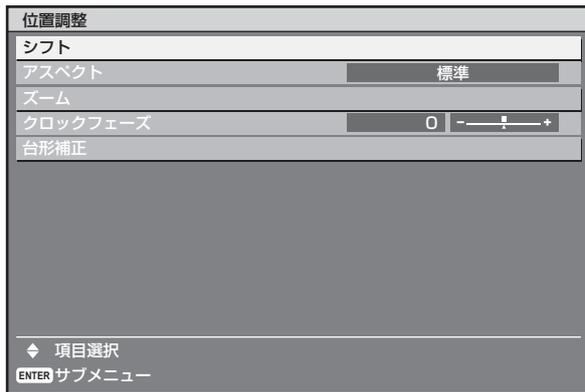
選択した項目のメニューを表示する

メインメニュー	
	映像
	位置調整
	アドバンスドメニュー
	表示言語 (LANGUAGE)
	表示オプション
	プロジェクターセットアップ
	P IN P
	テストパターン
	登録信号一覧
	セキュリティ
	ネットワーク
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

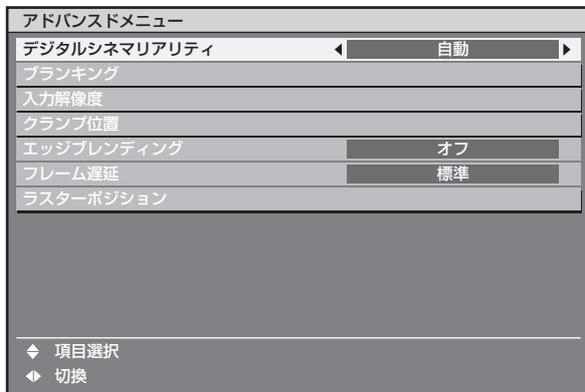
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

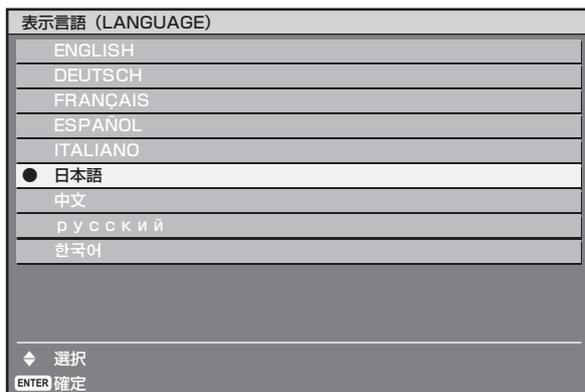
■ 位置調整 (☞ 58 ~ 61 ページ)



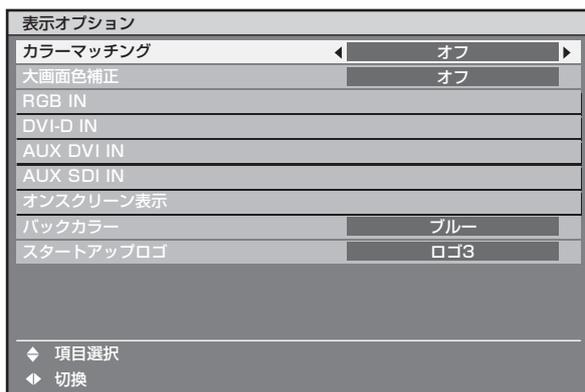
■ アドバンスドメニュー (☞ 62 ~ 66 ページ)



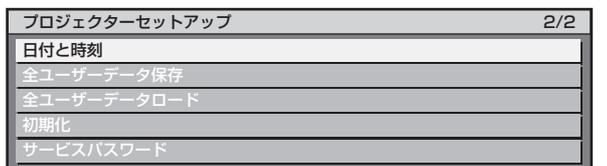
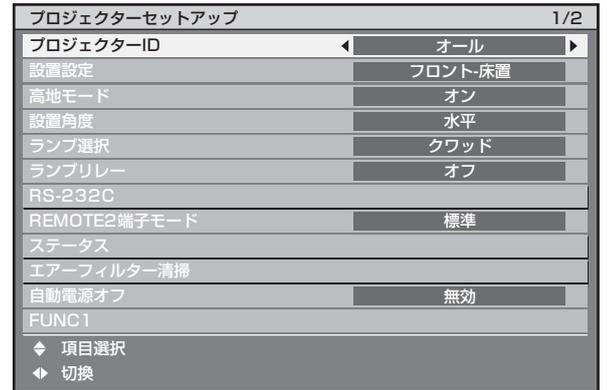
■ 表示言語 (LANGUAGE) (☞ 67 ページ)



■ 表示オプション (☞ 68 ~ 74 ページ)



■ プロジェクターセットアップ (☞ 75 ~ 82 ページ)

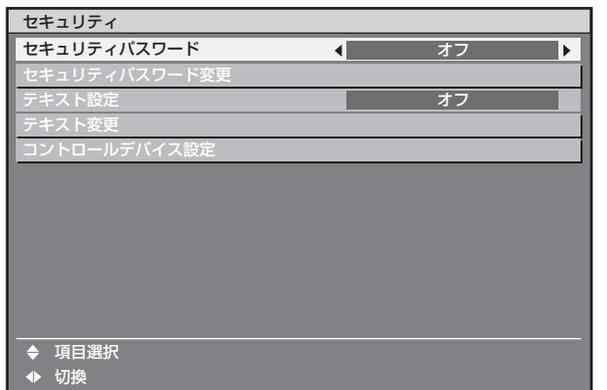


■ P I N P (☞ 83 ~ 84 ページ)

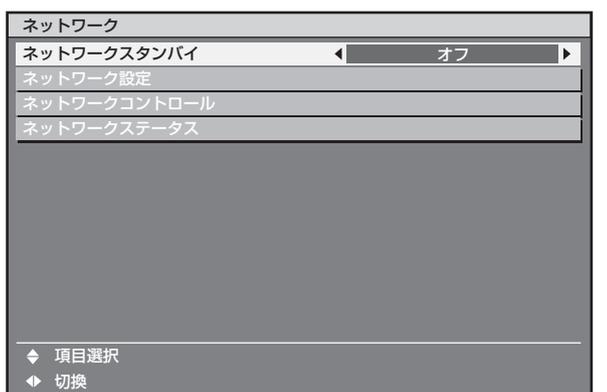
■ テストパターン (☞ 85 ページ)

■ 登録信号一覧 (☞ 43 ~ 45 ページ)

■ セキュリティ (☞ 86 ~ 88 ページ)



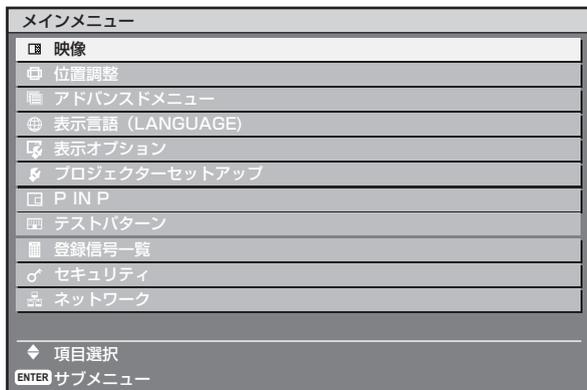
■ ネットワーク (☞ 89 ~ 102 ページ)



メニュー画面の操作方法

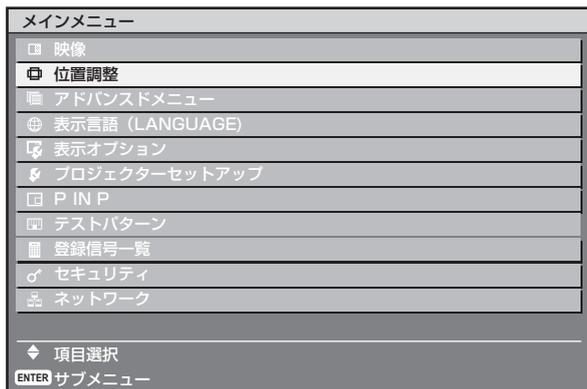
1. メニュー (MENU) ボタンを押す

- メインメニュー画面を表示します。



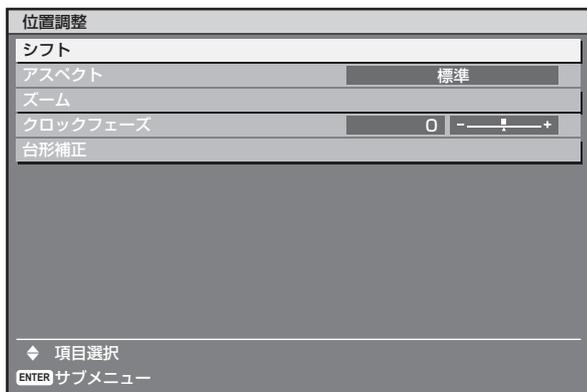
2. ▲▼ボタンを押して項目を選択する

- 選択中の項目は OSD デザインで設定した色で表示します。(73 ページ)



3. エンター (ENTER) ボタンを押して決定する

- 選択したメニュー画面の詳細が表示されます。



4. ▲▼ボタンを押して項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整をする

- 項目によって◀▶ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。



- 個別調整画面表示中、約 5 秒間ボタン操作をしないと、前の画面に戻ります。

■ 前の画面に戻すには

- メニュー画面が表示されている状態のときにメニュー (MENU) ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- メインメニュー画面が表示されている状態のときメニュー (MENU) ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

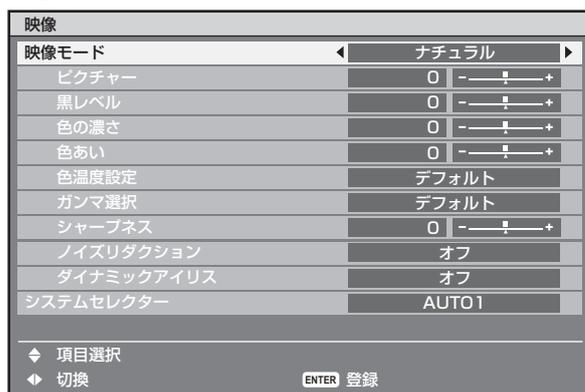
■ メニュー画面の表示について

- 選択された項目によりメニューの最下部の表示が異なります。
- 設定の切り換え時は「◀▶切換」と表示されます。
- バースケール (調整) 項目は「◀▶調整」と表示されます。
- メニュー画面で調整 (項目) の続きがある場合は、画面右上にページ番号が表示されます。

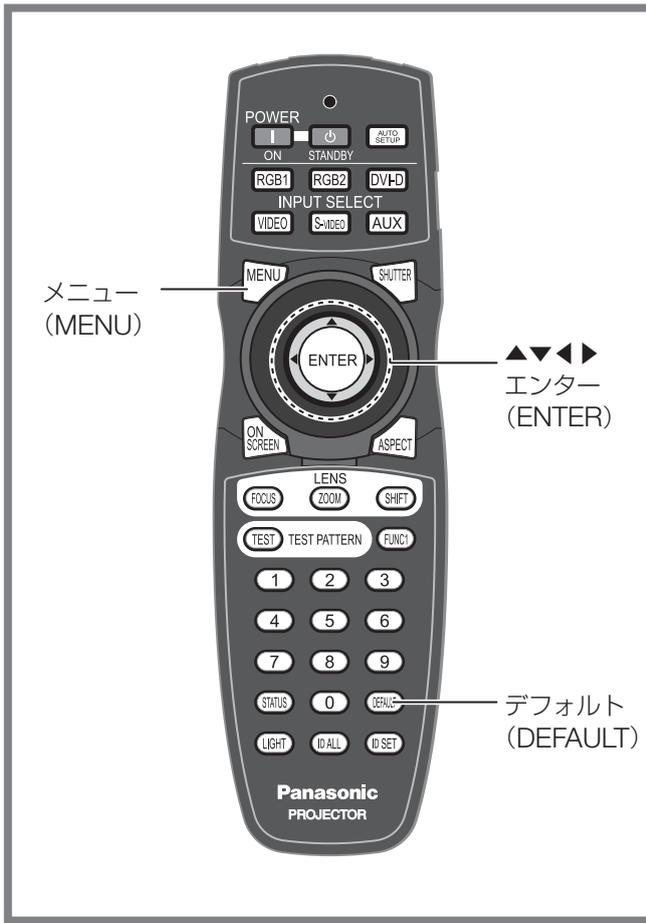
調整値を工場出荷状態に戻す

調整項目を選び、デフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。

1. デフォルト (DEFAULT) ボタンを押す



映像の調整



映像モードの切り換え

映像ソースや本機を使用する環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

映像	ナチュラル
映像モード	0 -!+
ピクチャー	

2. ◀▶ボタンで「映像モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **標準：**
動画系全般に適した画像になります。
- **シネマ：**
映画ソースに適した画像になります。
- **ナチュラル：**
sRGB に準拠した画像になります。
- **ダイナミック：**
明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
- **グラフィック：**
パソコン入力に適した画像になります。
- **ユーザー：**
色温度設定、ガンマ選択を調整することができます。

お知らせ

- 工場出荷モードは、RGB 系では「グラフィック」、動画系では「標準」です。
- 「映像モード」を選択した状態でエンター (ENTER) ボタンを押すと、新規信号入力時の既定値として保存することができます。保存されるデータは映像メニュー内のシステムセクターを除くすべての項目です。

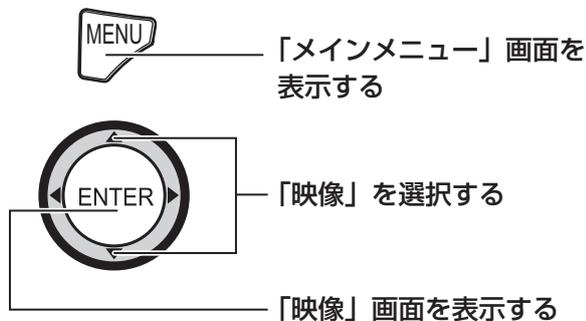
ピクチャー

色の明暗度を調整します。

1. ▲▼ボタンで「ピクチャー」を選択する

映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0 -!+
黒レベル	0 -!+

お好みの映像調整ができます。

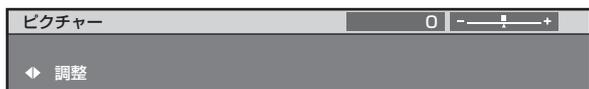


メインメニュー	
□	映像
⊕	位置調整
≡	アドバンスドメニュー
⊕	表示言語 (LANGUAGE)
⊕	表示オプション
⊕	プロジェクターセットアップ
□	P I N P
□	テストパターン
≡	登録信号一覧
♂	セキュリティ
≡	ネットワーク
◆	項目選択
ENTER	サブメニュー

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。

2. ◀▶またはエンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ピクチャー」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります	最小値 -31

お願い

- 黒レベルを調整する必要がある場合には、黒レベルを先に調整してください。

黒レベル

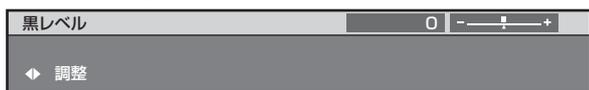
画面の暗い部分（黒色）を調整します。

1. ▲▼ボタンで「黒レベル」を選択する



2. ◀▶またはエンター（ENTER）ボタンを押す

- 「黒レベル」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値 -31

色の濃さ

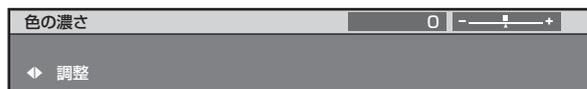
色の濃さを調整します。

1. ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する



2. ◀▶またはエンター（ENTER）ボタンを押す

- 「色の濃さ」個別調整画面を表示します。



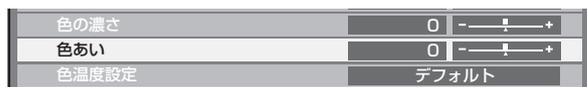
3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります	最大値 50
◀ボタンを押す	色が薄くなります	最小値 -50

色あい

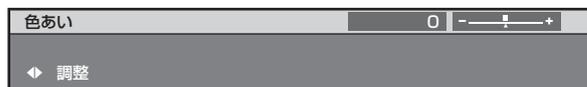
肌色の部分を調整します。

1. ▲▼ボタンで「色あい」を選択する



2. ◀▶またはエンター（ENTER）ボタンを押す

- 「色あい」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

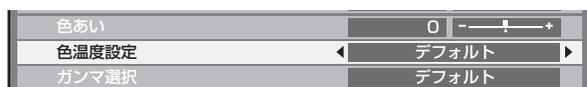
操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかります	最大値 31
◀ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかります	最小値 -31

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に調整します。

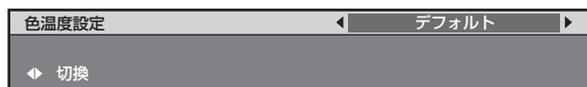
- 調整したい信号を投写した状態で行ってください。

1. ▲▼ボタンで「色温度設定」を選択する



2. ◀▶ボタンを押す

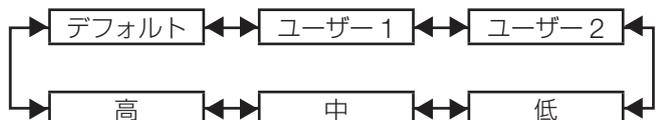
- 「色温度設定」個別調整画面を表示します。



映像の調整（つづき）

3. ◀▶ボタンで「色温度設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



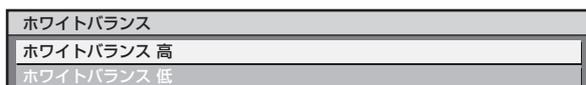
- カラーマッチングの調整が「オフ」以外に設定されている場合、色温度設定は「ユーザー 1」固定になります。
- 映像モードが「ユーザー」に設定されている場合、「デフォルト」は選択できません。

■ さらに好みのホワイトバランスに調整する場合

4. 手順 3 で「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択する

5. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ホワイトバランス」画面を表示します。



6. ▲▼ボタンで「ホワイトバランス 高」または「ホワイトバランス 低」を選択する

7. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ホワイトバランス 高（または低）」画面を表示します。



8. ▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」を選択する

9. ◀▶ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
赤	▶ボタンを押す	赤色が強くなります	最大値 高：255 低：127
	◀ボタンを押す	赤色が弱くなります	
緑	▶ボタンを押す	緑色が強くなります	最小値 高：0 低：-127
	◀ボタンを押す	緑色が弱くなります	
青	▶ボタンを押す	青色が強くなります	出荷設定値 高：255 低：0
	◀ボタンを押す	青色が弱くなります	

お知らせ

- 正しく調整しないと、すべての色が正常に出なくなります。調整があわなくなった場合は、デフォルト（DEFAULT）ボタンを押すと、選択中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻せます。
- 内蔵テストパターン（85 ページ）では色温度調整はできません。必ず入力信号を投写させた状態で色温度調整を行ってください。

ガンマ選択

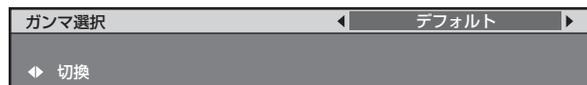
ガンマモードの切り換えをします。

1. ▲▼ボタンで「ガンマ選択」を選択する



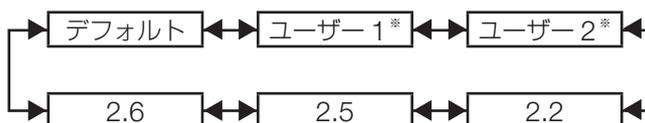
2. ◀▶またはエンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ガンマ選択」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「ガンマ選択」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



※「ユーザー 1」「ユーザー 2」はシリアル端子から制御コマンドで設定した場合に表示されます。

お知らせ

- 映像モードが「ユーザー」のとき、「デフォルト」は選択できません。

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

1. ▲▼ボタンで「シャープネス」を選択する



2. ◀▶またはエンター (ENTER) ボタンを押す

- 「シャープネス」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります	0 ~ 15
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	

お知らせ

- 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

ノイズリダクション

入力された信号が劣化しているため、映像にノイズが発生している場合に切り換えます。

1. ▲▼ボタンで「ノイズリダクション」を選択する



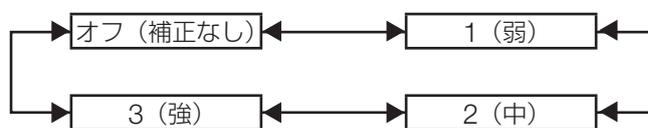
2. ◀▶またはエンター (ENTER) ボタンを押す

「ノイズリダクション」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「ノイズリダクション」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



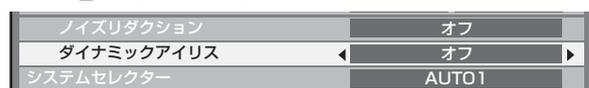
お知らせ

- 「フレーム遅延」を「ショート」に設定されている時は、ノイズリダクション機能を使えません。

ダイナミックアイリス

映像に合わせて自動的に絞り補正と信号補正を行うことで、最適なコントラストの画像になります。

1. ▲▼ボタンで「ダイナミックアイリス」を選択する



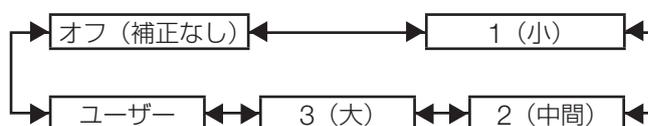
2. ◀▶またはエンター (ENTER) ボタンを押す

「ダイナミックアイリス」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「ダイナミックアイリス」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

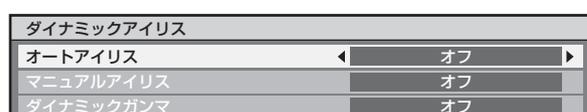


■ さらに好みの補正量に調整したいとき

4. 手順3で「ユーザー」を選択する

5. エンター (ENTER) ボタンを押す

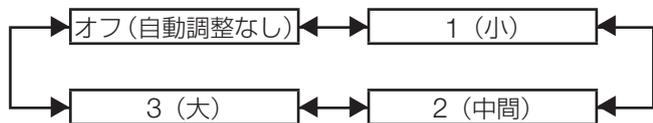
- 「ダイナミックアイリス」画面を表示します。



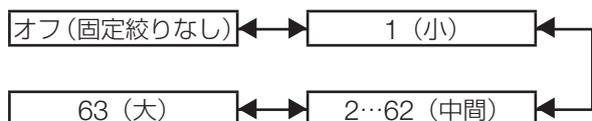
映像の調整 (つづき)

6. ▲▼ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ボタンで補正量を調整する

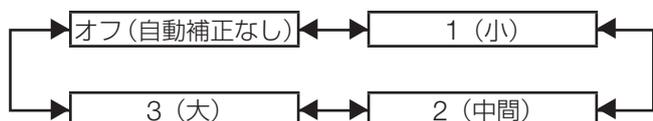
● オートアイリス (自動絞り量の調整)



● マニュアルアイリス (固定絞り量の調整)



● ダイナミックガンマ (信号補正量の調整)



お知らせ

- 「ダイナミックアイリス」を「3」に設定すると、コントラストは最大になります。

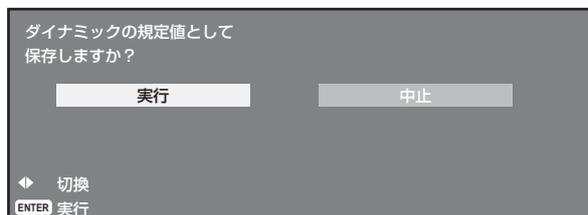
映像モード設定の既定値登録

映像モードで調整した画面の設定を登録することができます。

- 「映像」画面で「映像モード」を選択した状態で行ってください。

1. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 確認画面を表示します。



2. ◀▶ボタンで「実行」を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 映像モード設定を既定値として登録後、登録した映像モードを選択すると、新規信号は登録した調整値で表示されます。

システムセレクター

本機は入力信号を自動判別します。また不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定することもできます。

1. ▲▼ボタンで「システムセレクター」を選択する

ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	AUTO1

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「システムセレクター」画面を表示します。

システムセレクター
● AUTO1
AUTO2

3. ▲▼ボタンでシステム方式を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

- 選択可能なシステム方式は、入力信号によって異なります。

■ Sビデオ / ビデオ端子入力信号

AUTO1、AUTO2、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 から選択します。

お知らせ

- デフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと「AUTO1」に戻ります。
- 「AUTO1」は NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL60 の中から自動選択します。「AUTO2」は NTSC/PAL-M/PAL-N の中から自動選択します。

■ RGB1/RGB2/DVI-D 端子入力信号

RGB、YPbPr から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、「対応信号リスト」を参照してください。(120 ~ 121 ページ)

■ 入力モジュール

ET-MD77SD1:

AUTO、480i、576i から選択します。

ET-MD77SD3:

AUTO、1 080/60i、1 035/60i、720/60p、1 080/24p、1 080/50i、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24sF、720/50p、480i、576i から選択します。

ET-MD100SD4:

シングルリンク SDI 信号時

AUTO YCbCr、1 080/60i、1 035/60i、720/60p、1 080/24p、1 080/50i、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24sF、720/50p、480i、576i から選択します。
デュアルリンク SDI 信号時

AUTO RGB、AUTO X' Y' Z'、1 920/24p/RGB、2 048/24p/RGB、2 048/24p/XYZ、1 920/24sF/RGB、2 048/24sF/RGB、2 048/24sF/XYZ、1 920/25p/RGB、1 920/30p/RGB、1 920/50i/RGB、1 920/60i/RGB から選択します。

お知らせ

- デフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと「AUTO YCbCr」または「AUTO RGB」に戻ります。
- 「AUTO RGB」は 1 920/24p/RGB、2 048/24p/RGB、1 920/24sF/RGB、2 048/24sF/RGB、1 920/25p/RGB、1 920/30p/RGB、1 920/50i/RGB、1 920/60i/RGB の中から自動選択します。「AUTO X' Y' Z'」は 2 048/24p/XYZ、2 048/24sF/XYZ の中から自動選択します。

6. リモコンのデフォルト

(DEFAULT) ボタンを押し、工場出荷値にする

7. 「色あい」「色温度設定」「ガンマ選択」も同様の手順 (5 ~ 6) で工場

出荷値にする

お知らせ

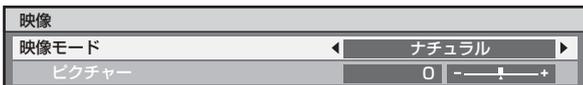
- RGB 信号入力時のみ、sRGB に対応します。

sRGB に準拠した映像にするには

sRGB とは、IEC (International Electrotechnical Commission) で定められた色再現国際規格 (IEC61966-2-1) です。

sRGB に準拠した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

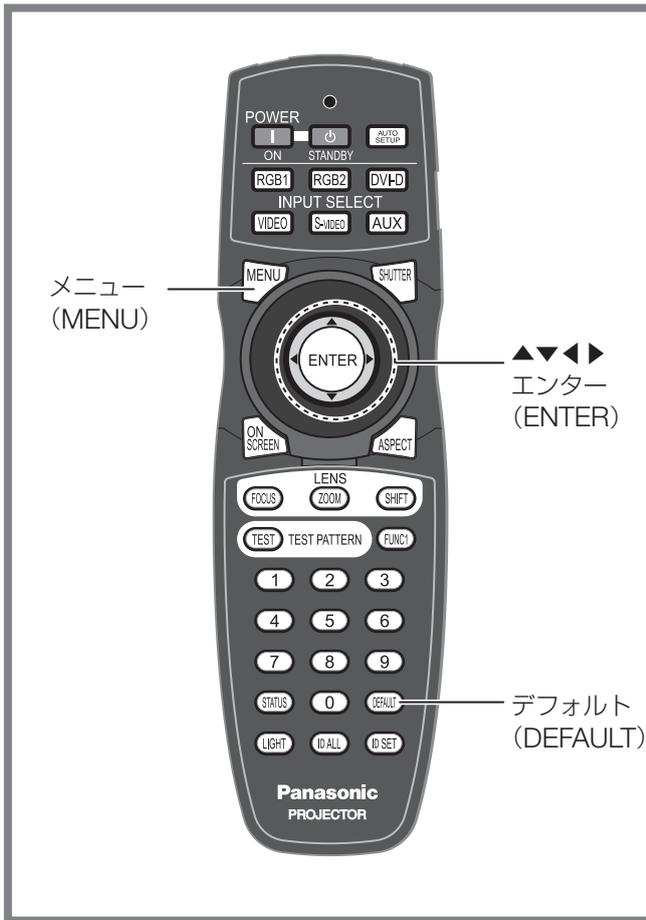
1. 「カラーマッチング」の調整を「オフ」に設定する (68 ページ)
2. 「映像」画面を表示する (52 ページ)
3. ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する



4. ◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する
5. ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する



位置調整



好みの位置調整ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「位置調整」を選択する

「位置調整」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P I N P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

シフト調整

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動させることができます。

1. ▲▼ボタンで「シフト」を選択する

位置調整	
シフト	
アスペクト	標準

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「シフト」画面を表示します。

シフト	
垂直	12
水平	212

3. ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■ 水平位置 (左右) 調整の場合

操作	変化内容	
▶ボタンを押す	映像位置が右へ移動します	
◀ボタンを押す	映像位置が左へ移動します	

■ 垂直位置 (上下) 調整の場合

操作	変化内容	
▲ボタンを押す	映像位置が上へ移動します	
▼ボタンを押す	映像位置が下へ移動します	

4. メニュー (MENU) ボタンを3回押す

• オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

アスペクト調整

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。

1. ▲▼ボタンで「アスペクト」を選択する



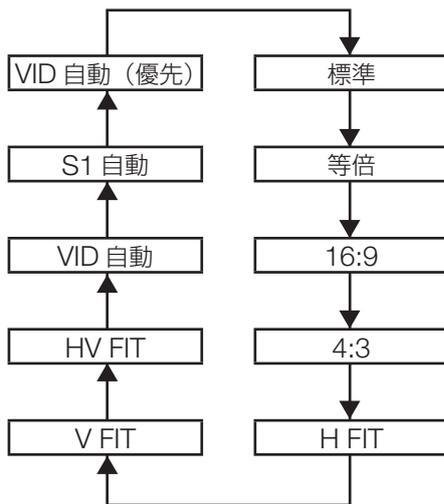
2. ◀▶またはエンター（ENTER）ボタンを押す

「アスペクト」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「アスペクト」を切り換える

● ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **標準：**
入力信号のアスペクト比のまま表示します。
- **等倍：**
入力信号の解像度そのまま表示します。
- **16:9：**
標準信号入力時^{*1}は、アスペクト比を 16:9 に変換して表示します。ワイド信号入力時^{*2}は、入力アスペクト比のまま表示します。
- **4:3：**
標準信号入力時^{*1}は、入力アスペクト比のまま表示します。ワイド信号入力時^{*2}は、4:3 スクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して表示します。
- **H FIT：**
水平方向のパネル画素を全て使って表示します。アスペクト比 16:9 よりも縦長のアスペクト比を持つ信号は画像の上下が切れて表示されます。

- **V FIT：**
垂直方向のパネル画素を全て使って表示します。アスペクト比 16:9 よりも横長のアスペクト比を持つ信号は画像の左右が切れて表示されます。
- **HV FIT：**
パネル画素全体に映像を表示します。入力信号とパネルのアスペクト比が異なる場合は、パネルのアスペクト比 16:9 に変換して表示します。
- **VID 自動：**
映像信号に組み入れられたビデオ ID (VID) を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。NTSC 信号入力時に有効です。
- **S1 自動：**
S1 信号を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S ビデオの NTSC 信号入力時に有効です。
- **VID 自動 (優先)：**
上記 VID、S1 信号を識別し、VID を検出した場合は VID に従い、VID を検出しない場合は S1 信号に従って 4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S ビデオの NTSC 信号入力時に有効です。

- ※ 1: 標準信号入力時とは、アスペクト比 4:3、5:4 の入力信号です。
- ※ 2: ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16:10、16:9、15:9、15:10 の入力信号です。

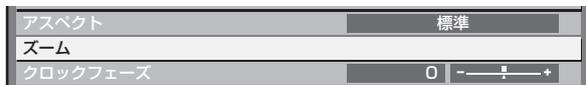
お知らせ

- 入力信号によっては選択できないサイズモードがあります。NTSC 信号の場合、標準は選択できません。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト調整、ズーム機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、注意してください。
- ワイド画面でない従来（通常）の 4:3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4:3 の映像でご覧ください。

ズーム調整

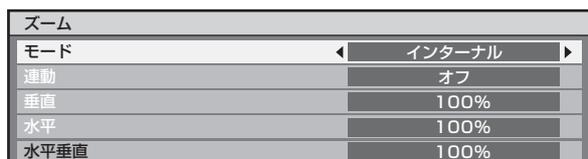
投写映像のサイズを調整します。

1. ▲▼ボタンで「ズーム」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

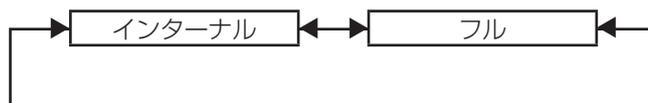
- 「ズーム」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「モード」を選択する

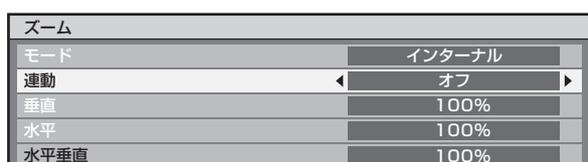
4. ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



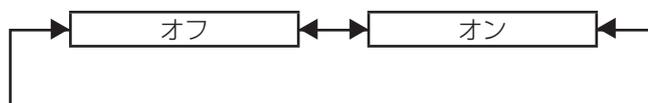
- **インターナル：**
デフォルトのアスペクト領域内でサイズを拡大します。
- **フル：**
表示エリアの全領域を使って拡大します。

5. ▲▼ボタンで「連動」を選択する



6. ◀▶ボタンで「連動」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ：**
「垂直」と「水平」のズーム比をそれぞれ設定します。
- **オン：**
「水平垂直」でズーム比を設定します。垂直と水平を等倍で拡大することができます。

お知らせ

- 「アスペクト」で「等倍」を選択した場合、ズーム調整は表示されません。
- 「アスペクト」で「標準」以外を選択した場合、「モード」切替は表示されません。

クロックフェーズ調整

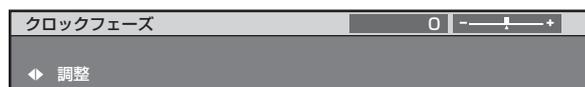
画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1. ▲▼ボタンで「クロックフェーズ」を選択する



2. ◀▶またはエンター (ENTER) ボタンを押す

- 「クロックフェーズ」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、0～31まで変化します。もっともノイズが少なくなるように調整してください。

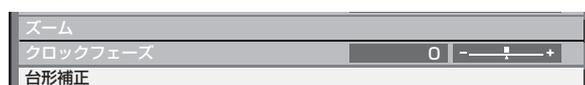
お知らせ

- 入力しているパソコンの出力が不安定だと最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- クロックフェーズが調整できるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。

台形補正

画面が台形歪みになっている場合この補正を行うと、水平方向のみ台形歪みの補正ができます。

1. ▲▼ボタンで「台形補正」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「台形補正」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで補正量を調整する

- 調整値は、-127～127まで変化します。

4. ▲▼ボタンで「サブ台形補正」または「リニアリティ」を選択する

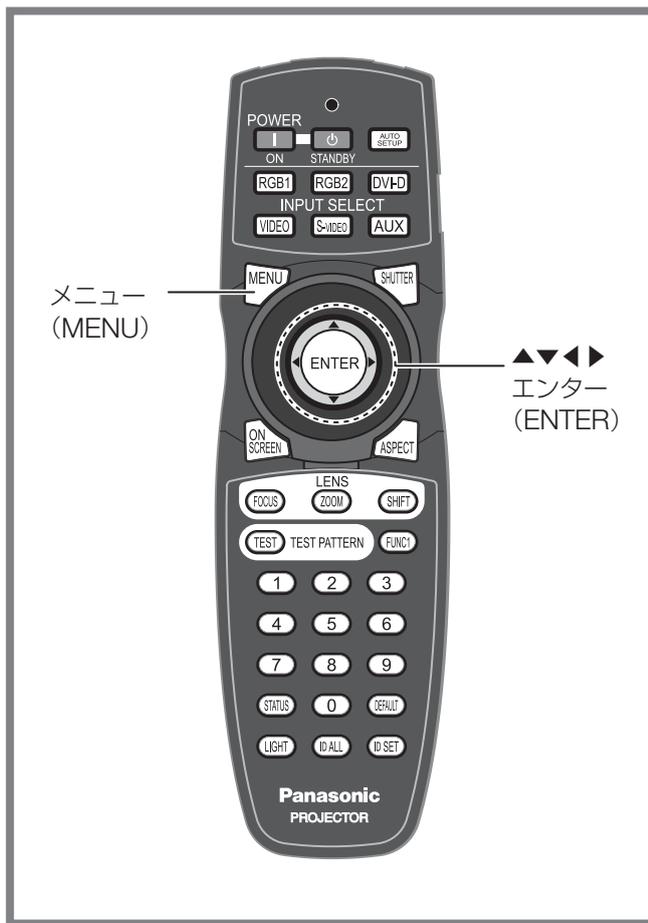
5. ◀▶ボタンで補正量を調整する

- 調整値は、-127 ~ 127 まで変化します。

お知らせ

- 「台形補正」の調整後に「サブ台形補正」と「リニアリティ」を調整してください。
「サブ台形補正」と「リニアリティ」の変化範囲は「台形補正」の調整値に連動して変化します。
- 「サブ台形補正」は、左右にレンズシフトを行っている状態で台形補正するときを使う機能です。スクリーン上の右側の辺だけを台形補正できます。ただし、「台形補正」が「0」の時は調整できません。
- リモコンのデフォルト(DEFAULT)ボタンを押すと、工場出荷時の標準値（「台形補正」：0、「サブ台形補正」：0、「リニアリティ」：0）に戻せます。
- 調整値は他の入力信号にも反映されます。
- 台形補正できるのは、スクリーンに対する本機の仰角が± 40° 以内の範囲です。（ただし、固定焦点レンズ使用時は± 22° 以内、LE6 レンズ使用時は± 28° 以内の範囲です）
- 台形補正が使用されている場合は正しくエッジブレンド調整ができません。

アドバンスドメニューの使いかた



詳細設定ができます。

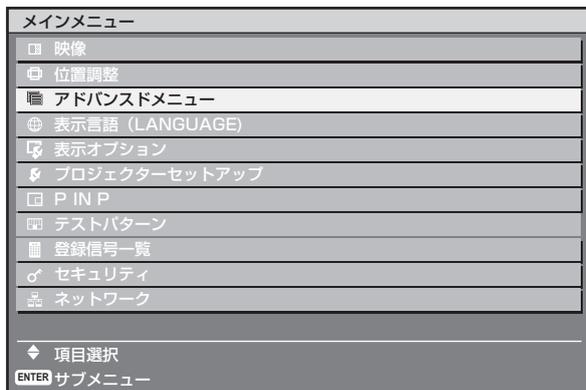


「メインメニュー」画面を表示する



「アドバンスドメニュー」を選択する

「アドバンスドメニュー」画面を表示する



デジタルシネマリアリティ

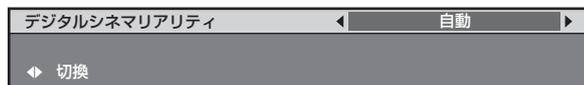
PAL (または SECAM) の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1 080/50i、1 080/60i 信号が入力されたとき、垂直解像度をさらに上げることができます。

1. ▲▼ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を選択する



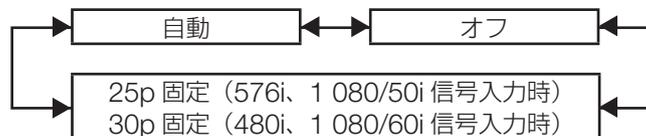
2. ◀▶またはエンター (ENTER) ボタンを押す

「デジタルシネマリアリティ」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **自動：**
自動検出し、シネマ処理をする (工場出荷設定値)
- **オフ：**
シネマ処理をしない
- **25p 固定：**
576i または 1 080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) をする
- **30p 固定：**
480i または 1 080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) をする

お知らせ

- デジタルシネマリアリティ では、2:2 でプルダウンされた信号以外を「30p 固定」または「25p 固定」に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります)

ブランキング調整

ビデオデッキなどの映像投写時に画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにみ出ている場合などにブランキングで微調整できます。

1. ▲▼ボタンで「ブランキング」を選択する



2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ブランキング」調整画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで調整項目を選択する

4. ◀▶ボタンでブランキング調整する

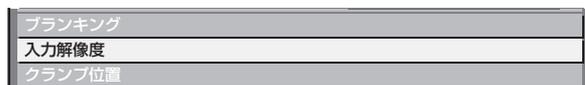
- 調整値は、上下0～384、左右0～683まで変化します。

画面上側ブランキング補正（上）の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、 ▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面下側ブランキング補正（下）の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、 ◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面左側ブランキング補正（左）の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、 ◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	
画面右側ブランキング補正（右）の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、 ▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	

入力解像度調整

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1. ▲▼ボタンで「入力解像度」を選択する



2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「入力解像度」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「総ドット数」、「表示ドット数」、「総ライン数」または「表示ライン数」を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力解像度が調整できるのは、RGB1、RGB2入力でのRGB信号を入力した場合のみです。

クランプ位置調整

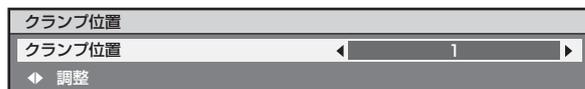
映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

1. ▲▼ボタンで「クランプ位置」を選択する



2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「クランプ位置」画面を表示します。



アドバンスドメニューの使いかた（つづき）

3. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は0～255まで変化します。
- クランプ位置調整の最適値
黒部分がつぶれている場合：
黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
黒部分が緑色になっている場合：
緑色部分が黒くなりつぶれが改善する点が最適値です。

お知らせ

- クランプ位置の調整ができるのは、RGB1、RGB2入力で信号を入力した場合のみです。

エッジブレンディング調整

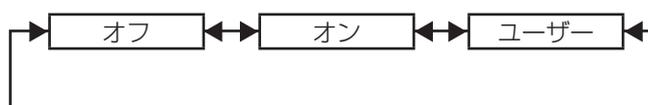
マルチ画面での使用時につなぎ目を目立ちにくくする機能を備えています。

1. ▲▼ボタンで「エッジブレンディング」を選択する



2. ◀▶ボタンで「エッジブレンディング」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- オフ：
マルチ画面で使用しないとき。
- オン：
エッジブレンディング部の傾斜にセット内蔵の傾きを使用します。
- ユーザー：
エッジブレンディング部の傾斜に任意の傾きを使用します。（設定には別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。）

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「エッジブレンディング」画面を表示します。



4. ▲▼ボタンで補正する場所を指定する

- 上をつなぐ場合：「上」を「オン」
- 下をつなぐ場合：「下」を「オン」
- 左をつなぐ場合：「左」を「オン」
- 右をつなぐ場合：「右」を「オン」

5. ◀▶ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える

6. ◀▶ボタンで補正幅および開始位置を調整する

■ 調整用のマーカを表示させる場合

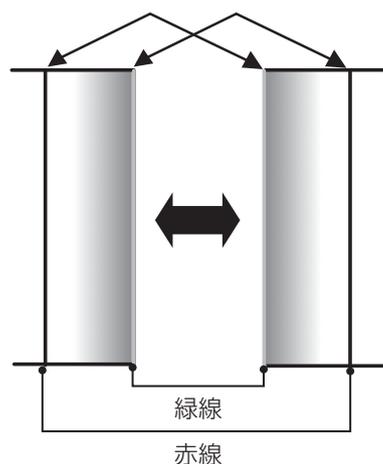
7. ▲▼ボタンで「マーカ」を選択する



8. ◀▶ボタンで「オン」に切り換える

- 映像位置調整用のマーカが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。

最適点はこの線が重なる点



9. ▲▼ボタンで「黒レベル調整」を選択する



10. エンター (ENTER) ボタンを押す

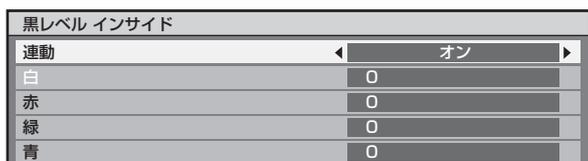
- 「黒レベル調整」画面を表示します。



11. ▲▼ボタンで「黒レベル インサイド」を選択する

12. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル インサイド」個別調整画面を表示します。



- 「連動」を「オフ」に設定すると、「赤」、「緑」、「青」の個別調整が可能です。

13. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 調整が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押して「黒レベル調整」画面に戻ります。

14. ▲▼ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する

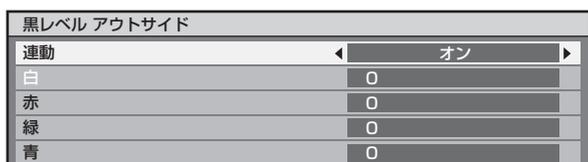
15. ◀▶ボタンで黒レベルインサイド補正する幅を調整する (0 ~ 255)

16. ▲▼ボタンで「黒レベル アウトサイド」を選択する



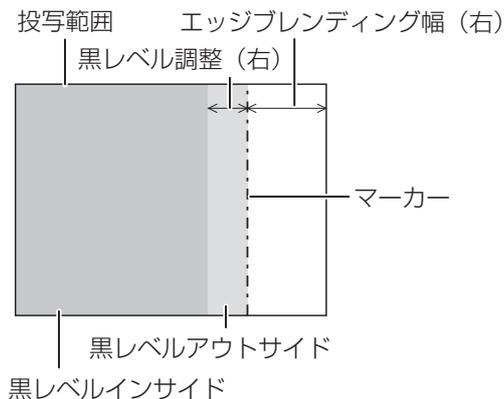
17. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル アウトサイド」個別調整画面を表示します。



- 「連動」を「オフ」に設定すると、「赤」、「緑」、「青」の個別調整が可能です。

18. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する



お知らせ

- 黒レベル調整は、エッジブレンディングを用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。黒レベルインサイドを調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。黒レベルインサイドを調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ暗くなった場合は、黒レベルアウトサイドを調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部が不連続に見えることがあります。

フレーム遅延

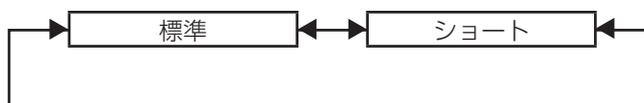
1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF 信号が入力されたとき、映像処理を簡略化することにより、映像のフレーム遅延を短くすることができます。

1. ▲▼ボタンで「フレーム遅延」を選択する



2. ◀▶ボタンで「フレーム遅延」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 標準：標準の設定です。

アドバンスドメニューの使いかた（つづき）

• ショート：

映像が音声より遅れて表示される場合に設定します。

お知らせ

- 「フレーム遅延」が「ショート」に設定されている時は、画質が劣化します。またノイズリダクション機能は使えません。

ラスターポジション

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

1. ▲▼ボタンで「ラスターポジション」を選択する

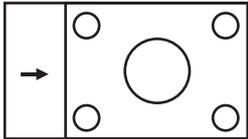
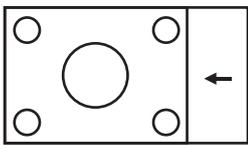
エッジブレンド	オフ
フレーム遅延	標準
ラスターポジション	

2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ラスターポジション」画面を表示します。

ラスターポジション	
垂直	0
水平	0

3. ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

4:3の映像を表示している場合	
▶ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。	

4. メニュー（MENU）ボタンを3回押す

- オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

表示言語 (LANGUAGE) の設定

表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで言語を選択する

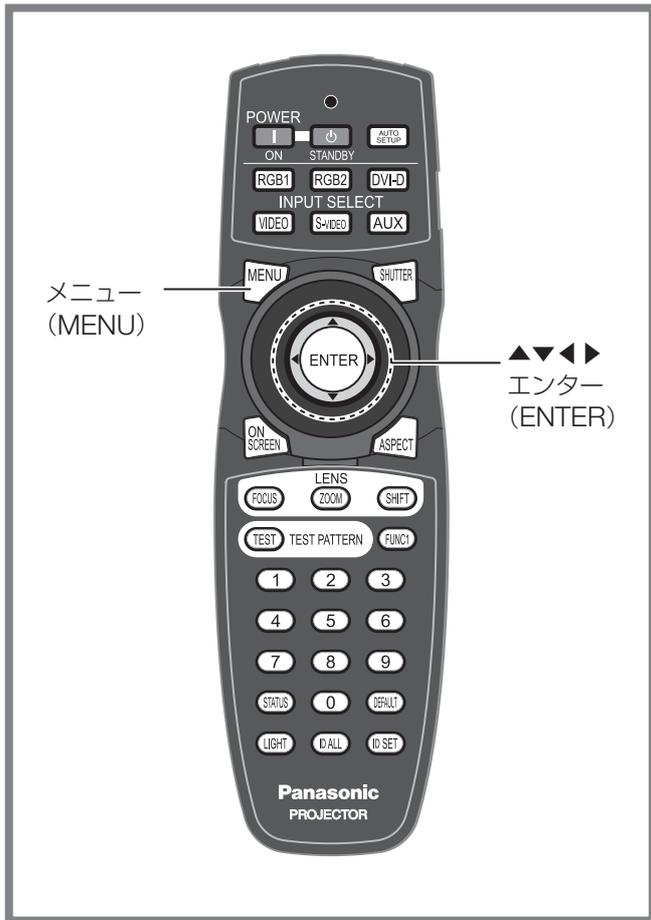
表示言語 (LANGUAGE)	
ENGLISH	
DEUTSCH	
FRANÇAIS	
ESPAÑOL	
ITALIANO	
● 日本語	
中文	
РУССКИЙ	
한국어	

2. エンター (ENTER) ボタンで決定する

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語 (ENGLISH)、ドイツ語 (DEUTSCH)、フランス語 (FRANÇAIS)、スペイン語 (ESPAÑOL)、イタリア語 (ITALIANO)、日本語、中国語 (中文)、ロシア語 (русский)、韓国語 (한국어) の切り換えができます。

お知らせ

- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)



表示言語を切り換えることができます。



「メインメニュー」画面を表示する

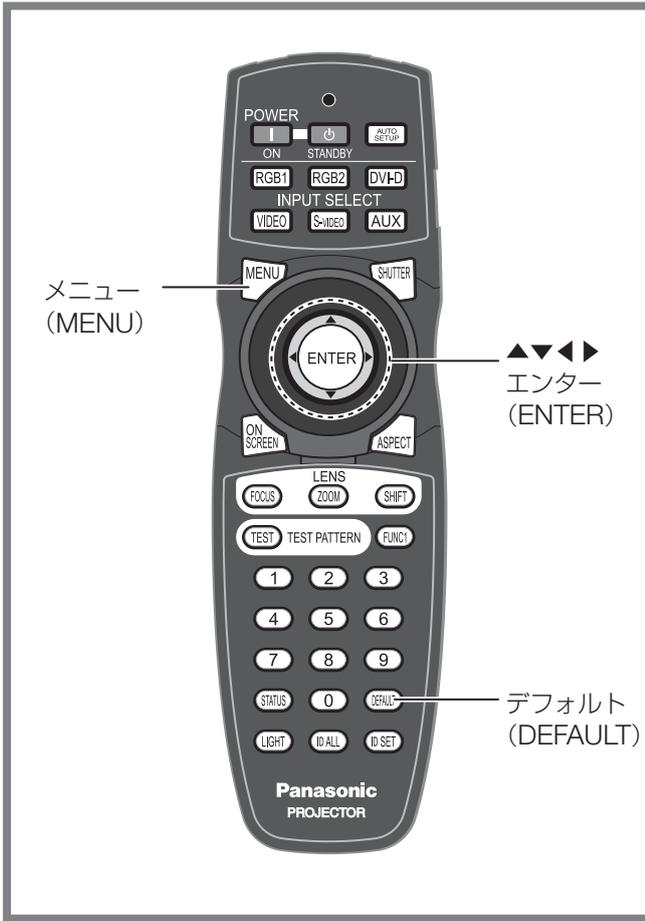


「表示言語 (LANGUAGE)」を選択する

「表示言語 (LANGUAGE)」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
⊕ 表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P I N P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

表示オプションの設定



さまざまな映像や本体の設定ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「表示オプション」を選択する

「表示オプション」画面を表示する

メインメニュー
映像
位置調整
アドバンスドメニュー
表示言語 (LANGUAGE)
表示オプション
プロジェクターセットアップ
P I N P
テストパターン
登録信号一覧
セキュリティ
ネットワーク
項目選択
ENTER サブメニュー

カラーマッチングの調整

本機は複数のセットを同時に使うような用途で、セット間の色バラツキを補正する機能を備えています。

1. ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

表示オプション
カラーマッチング
大画面色補正

2. ◀▶ボタンで「カラーマッチング」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ**：
カラーマッチングの調整をしません。
- **3 カラーズ**：
「赤」「緑」「青」の3色を調整することができます。
- **7 カラーズ**：
「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の7色を調整することができます。
- **709 モード**：
このモードについての詳細は次ページの「測定器を用いたカラーマッチング調整」をご覧ください。
- **測定**：
このモードについての詳細は、次ページの「測定器を用いたカラーマッチング調整」をご覧ください。

■ 手順2で「3 カラーズ」または「7 カラーズ」を選択した場合

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「3 カラーズ」または「7 カラーズ」画面を表示します。

3カラーズ
赤
緑
青
自動テストパターン
オン

4. ▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」(「7 カラーズ」の場合は、「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」)を選択する

5. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「3 カラーズ:赤」、「3 カラーズ:緑」または「3 カラーズ:青」画面を表示します。
「7 カラーズ」の場合は、「7 カラーズ:赤」、「7 カラーズ:緑」、「7 カラーズ:青」、「7 カラーズ:シアン」、「7 カラーズ:マゼンタ」、「7 カラーズ:イエロー」または「7 カラーズ:白」画面を表示します。

3カラーズ:赤	
赤	2048
緑	0
青	0

6. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 0 ~ 2048 まで変化します。

お知らせ

- 調整色を補正する場合の動作:
調整色と同じ補正色を動かす場合:
調整色の輝度が変化します。
補正色赤を動かす場合:調整色に赤を加減します。
補正色緑を動かす場合:調整色に緑を加減します。
補正色青を動かす場合:調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方もしくはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべてデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- カラーマッチングの調整を「オフ」以外に設定した場合、色温度設定は「ユーザー 1」固定になります。

測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の色をお好みの色に変更することができます。

■ 現在の輝度と色度座標を入力する

1. ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

表示オプション	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ

2. ◀▶ボタンで「測定」または「709モード」を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「測定モード」画面を表示します。

測定モード	
測定データ	
ターゲットデータ	
自動デストパターン	オン

4. ▲▼ボタンで「測定データ」を選択する

5. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「測定データ」画面を表示します。

測定データ		1/2
黒	Y (相対値)	1
	x	0.35
	y	0.36
赤	Y (相対値)	1400
	x	0.67
	y	0.33
緑	Y (相対値)	5099
	x	0.35
	y	0.63
青	Y (相対値)	500
	x	0.15
	y	0.05

6. 色彩色度計で輝度 (Y) と色度座標 (x、y) を測定する

7. ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンで数値を調整する

8. すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す

- 「測定モード」画面を表示します。

測定モード	
測定データ	
ターゲットデータ	
自動デストパターン	オン

■ お好みの色の座標を入力する (「測定」のみ)

9. ▲▼ボタンで「ターゲットデータ」を選択する

10. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「ターゲットデータ」画面を表示します。

ターゲットデータ		1/2
赤	x	0.64
	y	0.33
緑	x	0.3
	y	0.6
青	x	0.15
	y	0.6
シアン	x	0.225
	y	0.329
マゼンタ	x	0.321
	y	0.154
イエロー	x	0.419
	y	0.505

表示オプションの設定 (つづき)

11. ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンでお好みの色の座標を入力する

12. すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す

お知らせ

- 「カラーマッチング」で「709 モード」を選択すると、ITU-R BT.709 規格の3原色がターゲットデータとして設定されます。
- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。

大画面色補正

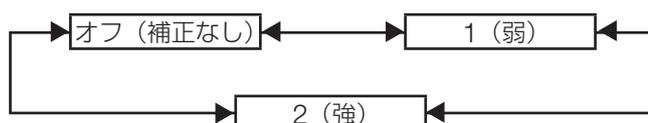
大きな画面サイズの映像を近くで見た時、普通の画面サイズより色が薄くなって見える映像を同じような色に見えるように補正します。

1. ▲▼ボタンで「大画面色補正」を選択する



2. ◀▶ボタンで「大画面色補正」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

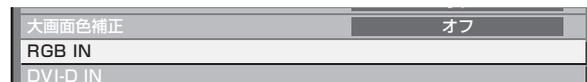


RGB IN (RGB 信号入力時のみ対応)

会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

また、特殊な信号や横長 (16:9 等) の信号を調整するときに設定します。

1. ▲▼ボタンで「RGB IN」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「RGB IN」画面を表示します。

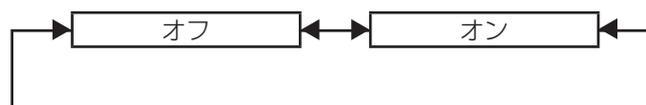


■ 入力自動セットアップ

3. ▲▼ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する

4. ◀▶ボタンで「入力自動セットアップ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



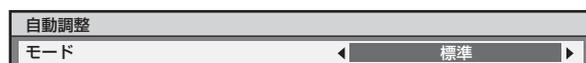
- 「オン」にすると、未登録の信号が入力された場合、自動でオートセットアップを行います。

■ 自動調整

5. ▲▼ボタンで「自動調整」を選択する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「自動調整」画面を表示します。



7. ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **標準:**
画像アスペクトが 4:3、5:4 の信号を受像する場合（対応解像度は、640 × 400、640 × 480、800 × 600、832 × 624、960 × 720、1 024 × 768、1 152 × 864、1 152 × 870、1 280 × 960、1 280 × 1 024、1 600 × 1 200、1 400 × 1 050 です）
- **ワイド:**
画像アスペクトがワイドの信号を受像する場合（対応解像度は、720 × 400、848 × 480、1 280 × 720、1 024 × 600、1 120 × 750、1 440 × 900、1 680 × 1 050 です）
- **ユーザー:**
特殊な水平解像度（表示ドット数）の信号を受像する場合

8. 「ユーザー」を選択した場合は ◀▶ ボタンで「表示ドット数」に信号源の水平解像度を入力する

9. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 自動調整を実行します。自動調整中は「実行中」と表示されます。終了すると入力画面に戻ります。

DVI-D IN

本機と外部機器を DVI-D で接続し正常な映像が映らない場合は設定を切り換えてください。

1. ▲▼ボタンで「DVI-D IN」を選択する



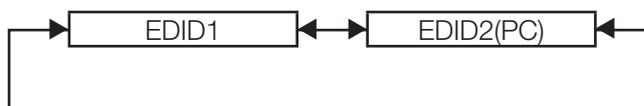
2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「DVI-D IN」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「DVI EDID」を切り換える

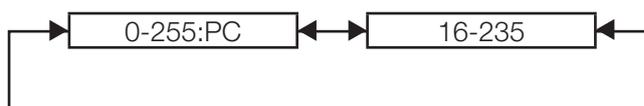
- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **EDID1:**
動画系の映像信号を出力する外部機器（DVD プレイヤーなど）が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します。
- **EDID2 (PC):**
静止画系の映像信号を出力する外部機器（パソコンなど）が DVI-D IN に接続されているときに主に使用します。

4. ◀▶ボタンで「DVI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **0-255:PC:**
外部機器（パソコンなど）が DVI 端子出力で接続している場合などで選択します。
- **16-235:**
外部機器（DVD プレイヤーなど）が HDMI 端子出力で変換ケーブルなどを使用し接続している場合などで選択します。

お知らせ

- 最適な設定は接続される外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の取扱説明書もご確認ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ用のデータが変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は「対応信号リスト」（120～121 ページ）をご確認ください。

AUX DVI IN (ET-MD77DV 装着時のみ)

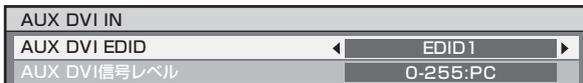
ET-MD77DV と外部機器を DVI-D で接続し正常な映像が映らない場合は設定を切り換えてください。

1. ▲▼ボタンで「AUX DVI IN」を選択する



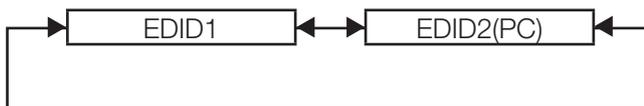
2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「AUX DVI IN」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「AUX DVI EDID」を切り換える

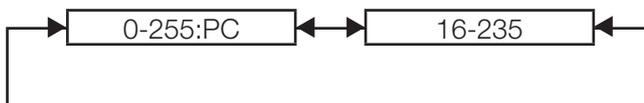
- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **EDID1:**
動画系の映像信号を出力する外部機器 (DVD プレイヤーなど) が AUX DVI IN に接続されているときに主に選択します。
- **EDID2 (PC):**
静止画系の映像信号を出力する外部機器 (パソコンなど) が AUX DVI IN に接続されているときに主に使用します。

4. ◀▶ボタンで「AUX DVI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **0-255:PC:**
外部機器 (パソコンなど) が DVI 端子出力で接続している場合などで選択します。
- **16-235:**
外部機器 (DVD プレイヤーなど) が HDMI 端子出力で変換ケーブルなどを使用し接続している場合などで選択します。

お知らせ

- 最適な設定は接続される外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の取扱説明書もご確認ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ用のデータが変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は「対応信号リスト」(120 ~ 121 ページ) をご確認ください。

AUX SDI IN

入力モジュール (別売品) に合わせて設定します。

1. ▲▼ボタンで「AUX SDI IN」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

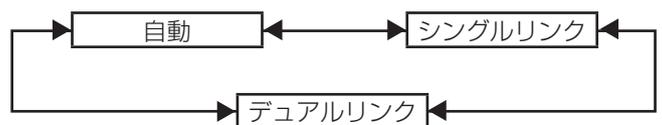
- 「AUX SDI IN」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

● SDI リンク

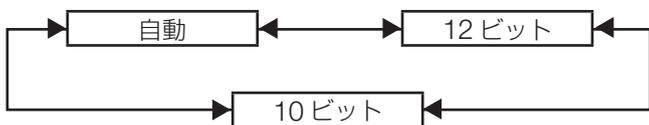
シングルリンク信号かデュアルリンク信号の種類を選択します。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **自動:**
自動選択します。
- **シングルリンク:**
シングルリンク信号に固定します。
- **デュアルリンク:**
デュアルリンク信号に固定します。

● 色深度 (デュアルリンク)

入力する信号の階調を選択します。デュアルリンク RGB 入力時のみ有効です。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



● 自動:

12ビットか10ビットを自動選択します。

● 12ビット:

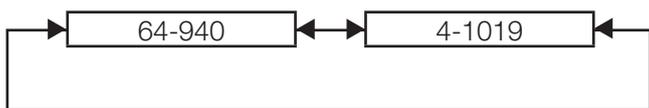
12ビットに固定します。

● 10ビット:

10ビットに固定します。

● SDI 信号レベル

入力する信号の振幅を選択します。HD-SDI の YPbPr、RGB 入力時のみ有効です。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



● 64-940:

通常はこの設定にしてください。

● 4-1019:

グレーが黒で表示される場合はこの設定にしてください。

オンスクリーン表示

オンスクリーン表示の設定ができます。

1. ▲▼ボタンで「オンスクリーン表示」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

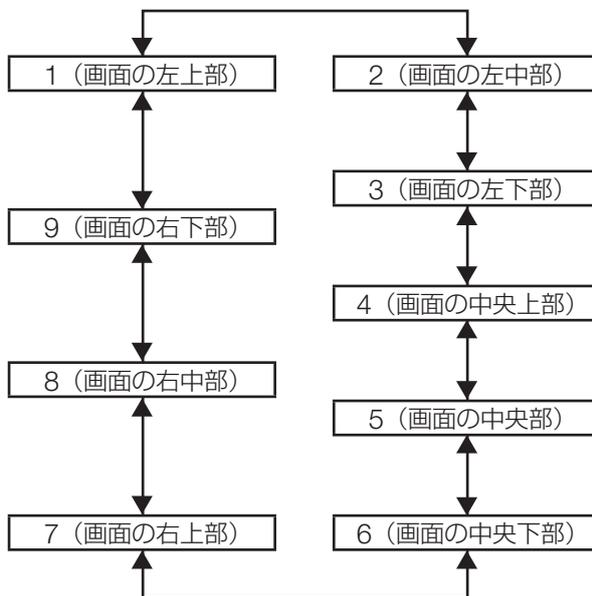
- 「オンスクリーン表示」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

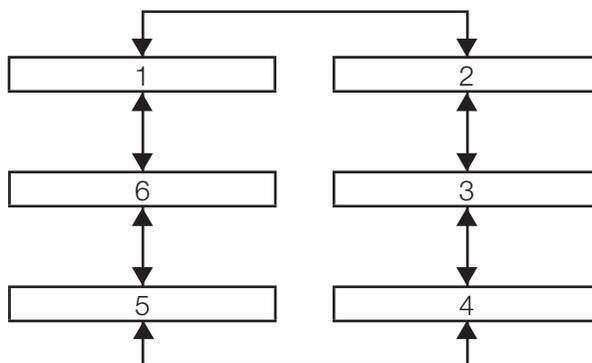
● OSD 位置

オンスクリーンメニュー (OSD) の位置を設定します。



● OSD デザイン

オンスクリーンメニュー (OSD) の色を設定します。

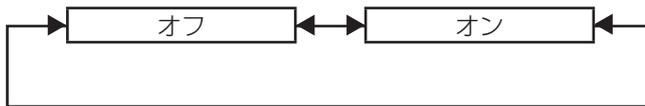


- 1: 黄色で表示します。
- 2: 青色で表示します。
- 3: 白色で表示します。
- 4: 緑色で表示します。
- 5: 桃色で表示します。
- 6: 茶色で表示します。

表示オプションの設定 (つづき)

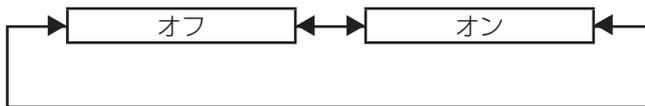
● OSD メモリー

オンスクリーンメニュー (OSD) のカーソルの位置の保持状態を設定できます。



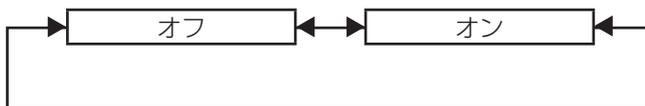
● 入力ガイド

「OSD 位置」で設定された位置に現在選択している入力端子名を表示するかを設定します。



● 警告メッセージ

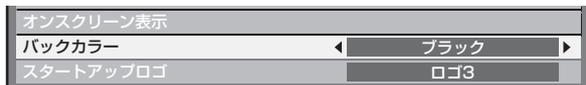
警告メッセージの表示を設定します。



バックカラー

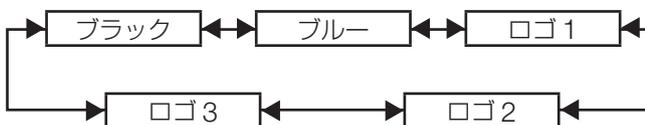
信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

1. ▲▼ボタンで「バックカラー」を選択する



2. ◀▶ボタンで「バックカラー」を切り換える

● ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **ブラック:**
投写画面全体に黒色を表示します。
- **ブルー:**
投写画面全体に青色を表示します。
- **ロゴ1:**
投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
- **ロゴ2:**
投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
- **ロゴ3:**
投写画面に Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

スタートアップロゴ

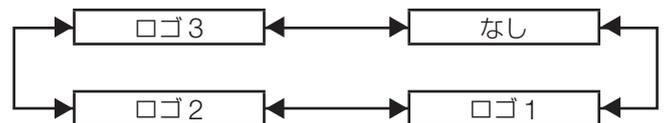
電源を入れた時に表示するロゴを設定します。

1. ▲▼ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する



2. ◀▶ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

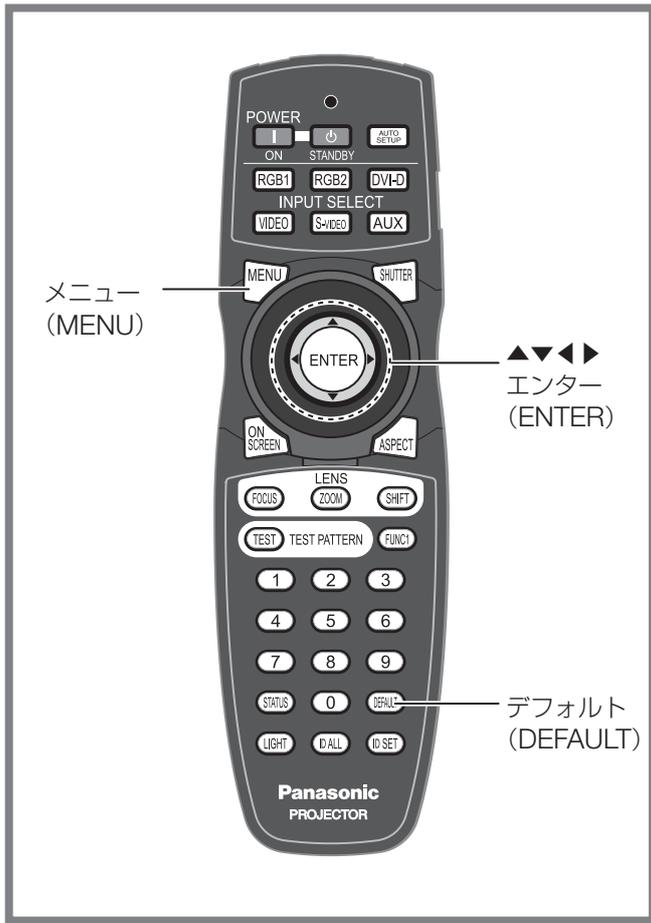


- **ロゴ3:**
Panasonic ロゴと DIGITAL PROJECTOR ロゴを表示します。
- **なし:**
スタートアップロゴ表示を無効にします。
- **ロゴ1:**
ユーザーが登録した画像を表示します。
- **ロゴ2:**
ユーザーが登録した画像を表示します。

お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

プロジェクターセットアップ



さまざまな映像や本体の設定ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「プロジェクターセットアップ」を選択する

「プロジェクターセットアップ」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P I N P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
◆ 項目選択	
ENTER	サブメニュー

プロジェクター ID の設定

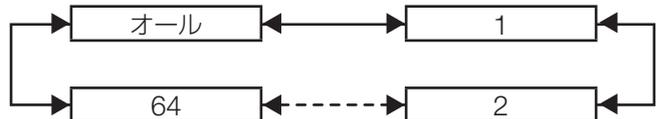
本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1つのリモコンで同時制御や個別制御できます。工場出荷時は「オール」に設定されていますので、1台だけでご使用の場合は ID ナンバーの設定の必要はありません。

1. ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

プロジェクターセットアップ	1/2
プロジェクターID	オール
設置設定	フロント-床置

2. ◀▶ボタンで「プロジェクター ID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



3. メニュー (MENU) ボタンを 2 回押す

- 設定が終了しオンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

お知らせ

- ID ナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても ID ナンバー「オール」の本機は動作します。本機を複数台並べて設置の場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定のしかたは 18 ページをご参照ください。

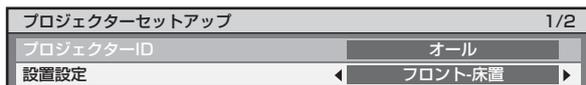
プロジェクターセットアップ (つづき)

設置設定

本機の設置状態に合わせて、投写方式の設定ができます。画面表示が上下逆になったり、反転して映っている場合は、投写方式を変更してください。

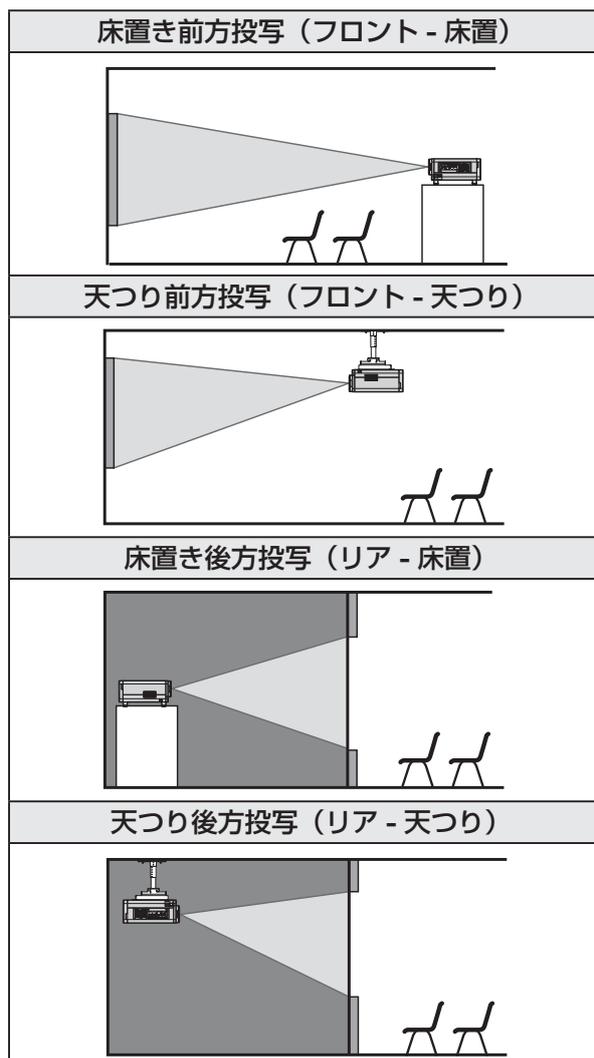
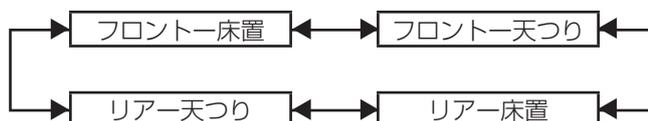
- リモコンまたは本体操作部のボタン操作でオンスクリーン画面を表示させて設定します。

1. ▲▼ボタンで「設置設定」を選択する



2. ◀▶ボタンで「設置設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



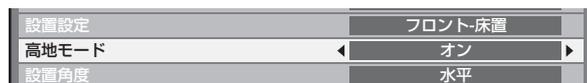
3. メニュー (MENU) ボタンを2回押す

- オンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

高地モード

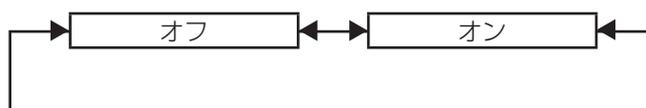
海拔 1 400 m 以上の場所を使用する場合は、「オン」に設定します。

1. ▲▼ボタンで「高地モード」を選択する



2. ◀▶ボタンで「高地モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



設置角度

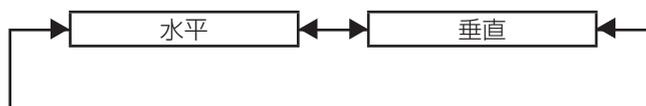
設置角度によってファンを制御します。

1. ▲▼ボタンで「設置角度」を選択する



2. ◀▶ボタンで「設置角度」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

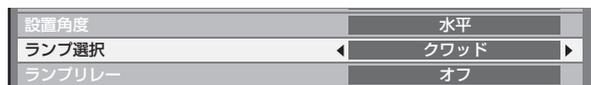


- **水平:**
標準の設置です。
- **垂直:**
垂直方向に大きく傾けて (水平から 30° を超える角度で) 投写するときに選択します。

ランプ選択

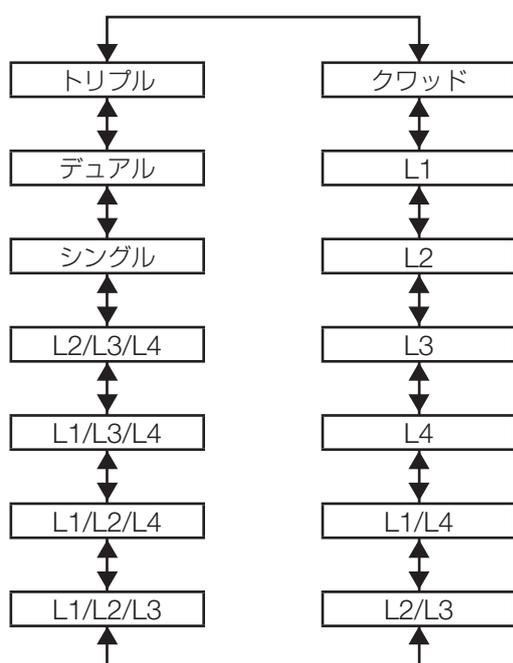
本体に内蔵されている4個の光源ランプを使用条件や目的に合わせて4段階の明るさに切り換えができます。

1. ▲▼ボタンで「ランプ選択」を選択する



2. ◀▶ボタンで「ランプ選択」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 「クワッド」：4灯が点灯します。
- 「L1」：1灯が点灯します。
(ランプユニット1を優先します)
- 「L2」：1灯が点灯します。
(ランプユニット2を優先します)
- 「L3」：1灯が点灯します。
(ランプユニット3を優先します)
- 「L4」：1灯が点灯します。
(ランプユニット4を優先します)
- 「L1/L4」：2灯が点灯します。
(ランプユニット1と4を優先します)
- 「L2/L3」：2灯が点灯します。
(ランプユニット2と3を優先します)
- 「L1/L2/L3」：3灯が点灯します。
(ランプユニット1と2と3を優先します)
- 「L1/L2/L4」：3灯が点灯します。
(ランプユニット1と2と4を優先します)

- 「L1/L3/L4」：3灯が点灯します。
(ランプユニット1と3と4を優先します)
- 「L2/L3/L4」：3灯が点灯します。
(ランプユニット2と3と4を優先します)
- 「シングル」：1灯が点灯します。
(使用時間の短いランプを自動選択します)
- 「デュアル」：2灯が点灯します。
(ランプユニット1と4か、2と3の使用時間の短いランプを自動選択します)
- 「トリプル」：3灯が点灯します。
(使用時間の短いランプを自動選択します)

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 「クワッド」以外するとき、ランプが失灯または、積算時間が2000時間を超えるとそのランプを消灯し、他のランプを点灯させます。「クワッド」のときは失灯または2000時間を超えたランプは消灯し、2000時間を超えていないランプのみ点灯します。また、全てのランプ積算時間が2000時間を超えると本機はスタンバイ状態になります。
- 点灯させないランプユニットも、必ず装着してください。
- ランプ切り換え時には、照度低下を防ぐため一時的に指定したランプの個数よりも多くのランプが点灯します。
- ランプ選択メニューの文字色は、選択されている場合は「緑色」になります。またランプの状態により文字色が変わります。
「黄色」：いずれかのランプが点灯に失敗している場合
「白色」：選択されていない項目
「赤色」：点灯に失敗しているランプ

ランプリレー

24時間以上連続で使用する場合、自動で点灯するランプを切り換えることによりランプの連続使用による劣化を軽減することができます。

- ランプ選択で「シングル」(1灯)、「デュアル」(2灯)、「トリプル」(3灯)、「クワッド」(4灯)を選択した場合にのみ「ランプリレー」が有効になります。

1. ▲▼ボタンで「ランプリレー」を選択する



プロジェクターセットアップ (つづき)

2. ◀▶ボタンで「ランプリレー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のようにランプを切り換える時刻が切り換わります。



お知らせ

- ランプ選択で「シングル」「デュアル」を選択している場合、指定時刻にランプを切り換えます。
- ランプ選択で「トリプル」を選択している場合、指定時刻から2時間ごとにランプ切り換えを合計3度行い、その後翌指定時刻まで直前の状態を維持します。
- ランプ選択で「クワッド」を選択した場合、指定時刻から3灯になり、2時間ごとに3灯のランプ切り換えを合計4度行います。その後指定時刻から8時間後に4灯になり、翌指定時刻から再び3灯での切り換えを行います。
- 設定時刻はローカル時刻です。(81 ページ)

RS-232C

通信条件を設定します。(104 ページ)

1. ▲▼ボタンで「RS-232C」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

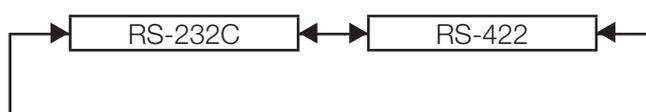
- 「RS-232C」画面を表示します。

RS-232C	
SERIAL IN	◀ RS-232C ▶
(入力) 通信速度	9600
(入力) パリティ	なし
(出力) 通信速度	9600
(出力) パリティ	なし
応答(ID オール)	オン
グループ	マスター
応答(ID グループ)	オン

3. ▲▼ボタンで「SERIAL IN」を選択する

4. ◀▶ボタンで「SERIAL IN」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



5. ▲▼ボタンを押して通信条件を選ぶ

6. ◀▶ボタンを押して設定する

7. メニュー (MENU) ボタンを3回押す

- オンスクリーン表示が消え、通常画面に戻ります。

REMOTE2 端子モード

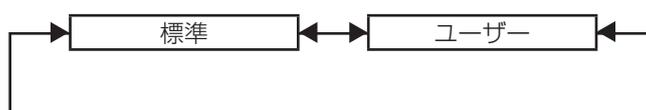
REMOTE2 端子を設定します。(108 ページ)

1. ▲▼ボタンで「REMOTE2 端子モード」を選択する



2. ◀▶ボタンで「REMOTE2 端子モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 標準:** REMOTE2 端子のピン配列を本機標準の設定で使用します。(108 ページ)
- ユーザー:** REMOTE2 端子を使ってオプション入力モジュール (別売品) に切り換える場合や REMOTE2 端子の設定を変更する場合に使用します。エンター (ENTER) ボタンで2番ピンから8番ピンまでの設定を変更することができます。

ステータス

本機のステータスを見ることができます。

1. ▲▼ボタンで「ステータス」を選択する

REMOTE2端子モード	標準
ステータス	
エアフィルター清掃	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「ステータス」画面を表示します。

ステータス		1/3
入力	RGB2	
名前	XGA60-A3999999	
信号周波数	48.36kHz/59.99Hz	
プロジェクター使用時間	76h	
ランプ1	341h / ON /	
ランプ2	334h / ON /	
ランプ3	342h / ON /	
ランプ4	97h / ON /	
吸気温度	31°C/87° F	
光学モジュール温度	27°C/80° F	
ランプ周辺温度	31°C/87° F	
REMOTE2 ステータス	無効	

3. ◀▶ボタンを押して次ページへ移動する

ステータス		2/3
プロジェクターモデル	DW100	
シリアル番号	SWXXXXX	
メインバージョン	1.00	
サブバージョン	1.00	
ネットワークバージョン	1.00	

4. ◀▶ボタンを押して次ページへ移動する

ステータス		3/3
オンカウント		
パワーオン	8	
ランプ1オン	362	
ランプ2オン	363	
ランプ3オン	366	
ランプ4オン	116	
シャッター	6(0)	
エアフィルター清掃	1(0)	
AUX	MD77SD1:SN	
登録信号数	0/96	
AC電圧	正常	

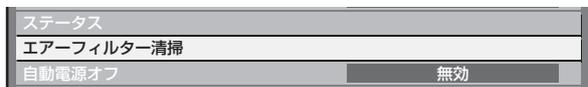
- **入力:**
入力切り換えの状態を表示します。
- **名前:**
入力信号名が表示されます。
- **信号周波数:**
入力信号の周波数が表示されます。
- **プロジェクター使用時間:**
プロジェクターの稼働時間を表示します。
- **ランプ1:**
ランプ1の点灯時間が表示されます。
- **ランプ2:**
ランプ2の点灯時間が表示されます。

- **ランプ3:**
ランプ3の点灯時間が表示されます。
- **ランプ4:**
ランプ4の点灯時間が表示されます。
- **吸気温度:**
プロジェクターの吸気温度状態を表示します。
- **光学モジュール温度:**
プロジェクターの庫内温度状態を表示します。
- **ランプ周辺温度:**
プロジェクターのランプ周辺温度状態が表示されます。
- **REMOTE2 ステータス:**
REMOTE2の制御状態が表示されます。
- **プロジェクターモデル:**
プロジェクターの種類を表示します。
- **シリアル番号:**
本機のシリアル番号が表示されます。
- **メインバージョン:**
プロジェクター本体のファームウェアのメインバージョンを表示します。
- **サブバージョン:**
プロジェクター本体のファームウェアのサブバージョンを表示します。
- **ネットワークバージョン:**
プロジェクター本体のネットワークバージョンが表示されます。
- **オンカウント:**
パワーオン:
電源入りの回数が表示されます。
ランプ1 オン:
ランプ1の点灯回数が表示されます。
ランプ2 オン:
ランプ2の点灯回数が表示されます。
ランプ3 オン:
ランプ3の点灯回数が表示されます。
ランプ4 オン:
ランプ4の点灯回数が表示されます。
シャッター:
シャッター機能の使用回数が表示されます。
エアフィルター清掃:
エアフィルター清掃を行った回数が表示されます。
- **AUX:**
入力モジュールに装着されているオプション入力モジュール(別売品)の名称が表示されます。
- **登録信号数:**
登録信号数が表示されます。
- **AC電圧:**
AC電圧の状態が表示されます。

エアフィルター清掃

エアフィルターの清掃設定ができます。

1. ▲▼ボタンで「エアフィルター清掃」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「エアフィルター清掃」画面を表示します。
- 自動清掃時刻の設定(「時刻」)と強制清掃(「実行」)を選択できます。

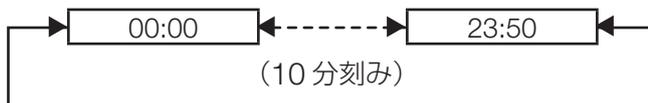


3. ▲▼ボタンで「時刻」を選択する

- 「時刻」を選択して、自動的に清掃を行う時刻を設定します。
- ただちに清掃を実行したいときは「実行」を選択して、エンター (ENTER) ボタンを押してください。

4. ◀▶ボタンで「時刻」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 初期設定(デフォルト)は 00:00 (深夜零時) になっています。
- 例: 初期設定の状態では、00:00 に投写状態であれば自動的に清掃を開始します。
- 7:00 に設定した場合、その時刻に投写状態であれば自動的に清掃を開始します。

お知らせ

- エアフィルター清掃では油分やタバコのヤニなど固着する汚れを清掃することはできません。
- エアフィルター清掃中は、エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) が青色で点滅します。エアフィルター異常時は、エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) が赤色で点灯します。
- 清掃時間は約 30 秒～ 40 秒です。
- 設定時刻はローカル時刻です。(81 ページ)
- 設定時刻に投写状態でない場合は、自動清掃は行いません。

- 前回の清掃(自動清掃および強制清掃)から 24 時間以上経過していなければ自動清掃は行いません。
- 例: 清掃時刻の設定が 7:00 で、9:00 に強制清掃を行った場合、翌日 7:00 の自動清掃は行いません。



- 前回の清掃から 24 時間以内の時刻に設定を選択しなおした場合、その時刻には自動清掃を行いません。翌日の設定時刻に清掃を行います。

例: 10:00 に清掃を行った後に、清掃時刻を 20:00 に設定変更した場合、自動清掃は翌日の 20:00 に行います。



- 投写を開始(電源オン)した際に、前回の清掃から 24 時間以上経過していた場合は、直ちに自動的に清掃を開始します。

自動電源オフ

設定時間までに信号が入力されない場合、自動的に本機をスタンバイ状態にすることができます。

1. ▲▼ボタンで「自動電源オフ」を選択する



2. ◀▶ボタンで「自動電源オフ」を切り換える

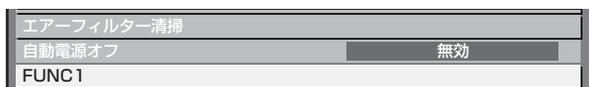
- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



FUNC1 の設定

リモコンの FUNC1 ボタンの機能を設定します。

1. ▲▼ボタンで「FUNC1」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「FUNC1」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで機能を選択する

- 無効：
FUNC1 ボタンを無効にします。
- P I N P：
P I N P のオフ / ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3 を切り換えることができます。(83 ~ 84 ページ)
- サブメモリー：
サブメモリーの切り換えができます。(44 ~ 45 ページ)
- システムセクター：
システムセクターの切り換えができます。(56 ~ 57 ページ)
- フリーズ：
映像を一時的に静止画の状態にすることができます。

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

日付と時刻設定

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定できます。

1. ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「日付と時刻」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「タイムゾーン」を選択する

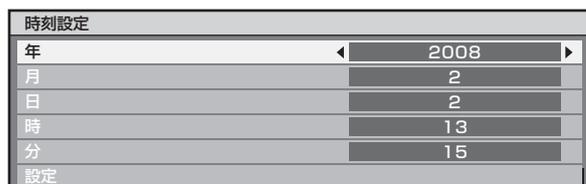
4. ◀▶ボタンで「タイムゾーン」を切り換える

- 日本は「9:00」で設定してください。

5. ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「時刻設定」画面を表示します。



7. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル時刻を設定する

8. ▲▼ボタンで「設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

- 時刻設定が完了します。

全ユーザーデータ保存

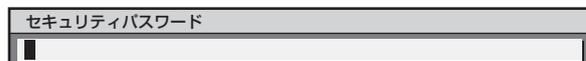
各種設定値をプロジェクター内部のメモリにバックアップとして保存します。

1. ▲▼ボタンで「全ユーザーデータ保存」を選択する



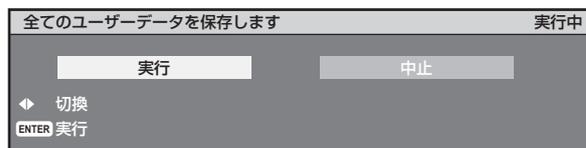
2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「セキュリティパスワード」画面を表示します。



3. セキュリティメニューのセキュリティパスワードで設定したパスワードを入力する

- 確認画面が表示されます。



プロジェクターセットアップ (つづき)

4. ◀▶ボタンで「実行」を選択し、 エンター (ENTER) ボタンを押す

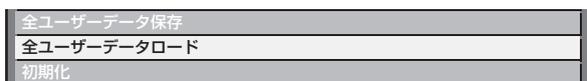
お知らせ

- 「ネットワーク/Eメール」、「ロゴイメージ」の設定は保存されません。

全ユーザーデータロード

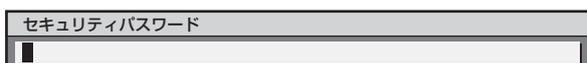
プロジェクター内部のメモリにバックアップとして保存した各種調整値を読み込みます。

1. ▲▼ボタンで「全ユーザーデータロード」を選択する



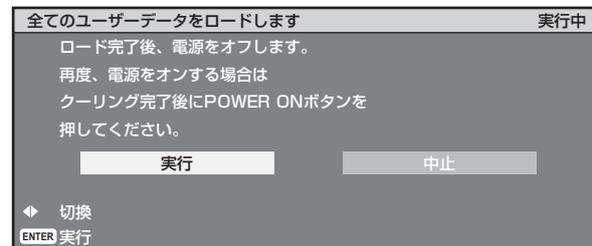
2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「セキュリティパスワード」画面を表示します。



3. セキュリティメニューのセキュリティパスワードで設定したパスワードを入力する

- 確認画面が表示されます。



4. ◀▶ボタンで「実行」を選択し、 エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 実行すると、プロジェクターは設定値を反映させるためスタンバイ状態になります。

初期化

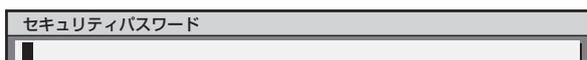
各種設定値を工場出荷時の値にもどします。

1. ▲▼ボタンで「初期化」を選択する



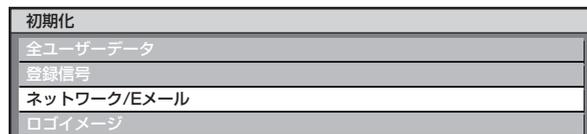
2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「セキュリティパスワード」画面を表示します。



3. セキュリティメニューのセキュリティパスワードで設定したパスワードを入力する

- 「初期化」画面を表示します。



• 全ユーザーデータ：

サービスマンが使用します。「登録信号」、「ネットワーク設定」「Eメール設定」「ロゴイメージ」を含めた全設定値を工場出荷時の値にもどします。全ユーザーデータの初期化の完了には再起動が必要となります。

• 登録信号：

入力信号ごとに保存している設定値をすべて消去します。登録信号の一部だけを消去する場合は、「登録した信号を削除する」を行ってください。(44 ページ)

• ネットワーク/Eメール：

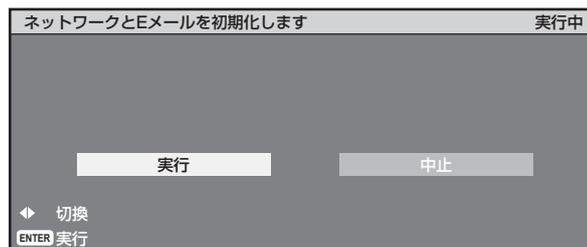
「ネットワーク設定」、「Eメール設定」を工場出荷時の値にもどします。

• ロゴイメージ：

ロゴ1とロゴ2に登録された画像を工場出荷時の画像にもどします。(74 ページ)

4. ▲▼ボタンで初期化したい項目を選択し、 エンター (ENTER) ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

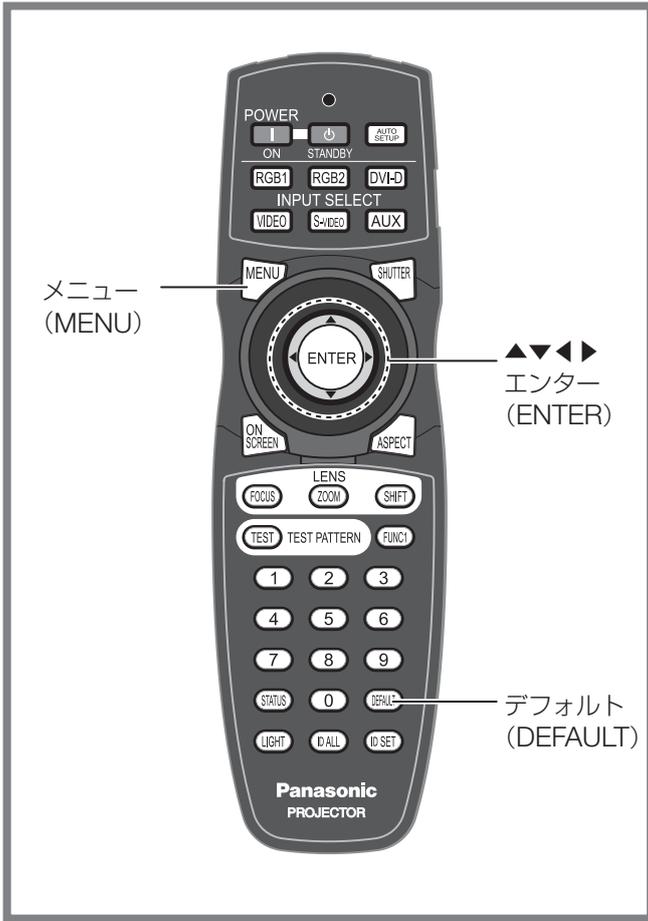


5. ◀▶ボタンで「実行」を選択し、 エンター (ENTER) ボタンを押す

サービスパスワード入力

サービスマンが使用します。

P IN P



P IN P 機能を使用する

メイン画面中に別の小さなサブ画面を配置することで、2つの映像を同時に投写することができます。

1. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「P IN P」画面を表示します。

P IN P	
P IN P モード	ユーザー1

2. ▲▼ボタンで「P IN P モード」を選択する

- 「P IN P モード」画面を表示します。

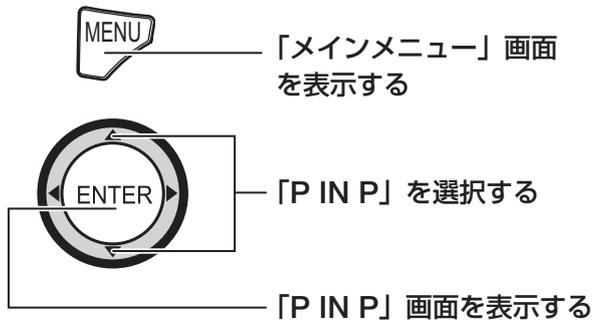
P IN Pモード	
オフ	
● ユーザー1	
ユーザー2	
ユーザー3	

3. ▲▼ボタンで機能を選択する

- オフ:
P IN P 機能を使用しません。
- ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3:
「P IN P 機能を設定する」で設定した内容でP IN P 機能を使用します。

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

ピクチャ イン ピクチャの条件を設定します。



メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P IN P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
項目選択	
ENTER サブメニュー	

P IN P 機能を設定する

P IN P 機能の設定を「ユーザー1」、「ユーザー2」、「ユーザー3」に保存することができます。

1. 上記の「P IN P 機能を使用する」を参照し、「ユーザー1」、「ユーザー2」、「ユーザー3」から選択する

- 「P IN P モード」で選択したユーザーデータの設定になります。

P IN P	
P IN P モード	ユーザー1
メインウィンドウ	VIDEO
サイズ	
位置	
サブウィンドウ	RGB2
サイズ	
位置	
フレームロック	メインウィンドウ
タイプ	サブウィンドウ

便利な使い方

2. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

選択した項目のサブメニューが表示されます。

- **メインウィンドウ：**

メインウィンドウとして表示する入力端子を表示。▲▼ボタンで選択しエンター (ENTER) ボタンで切り換えます。

サイズ：メインウィンドウの表示サイズの設定。
10 % ~ 100 % の間で設定。

位置：メインウィンドウの表示位置を画面内で設定。

- **サブウィンドウ：**

サブウィンドウとして表示する入力端子を表示。▲▼ボタンで選択しエンター (ENTER) ボタンで切り換えます。

サイズ：サブウィンドウの表示サイズの設定。
10 % ~ 100 % の間で設定できます。

位置：サブウィンドウの表示位置を画面内で設定。

- **フレームロック：**

フレームロックを適用するウィンドウを選択。

◀▶ボタンで切り換えます。

「メインウィンドウ」：メインウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。

「サブウィンドウ」：サブウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。

- **タイプ：**

ウィンドウが重なった場合に優先的に表示するウィンドウを選択。

◀▶ボタンで切り換えます。

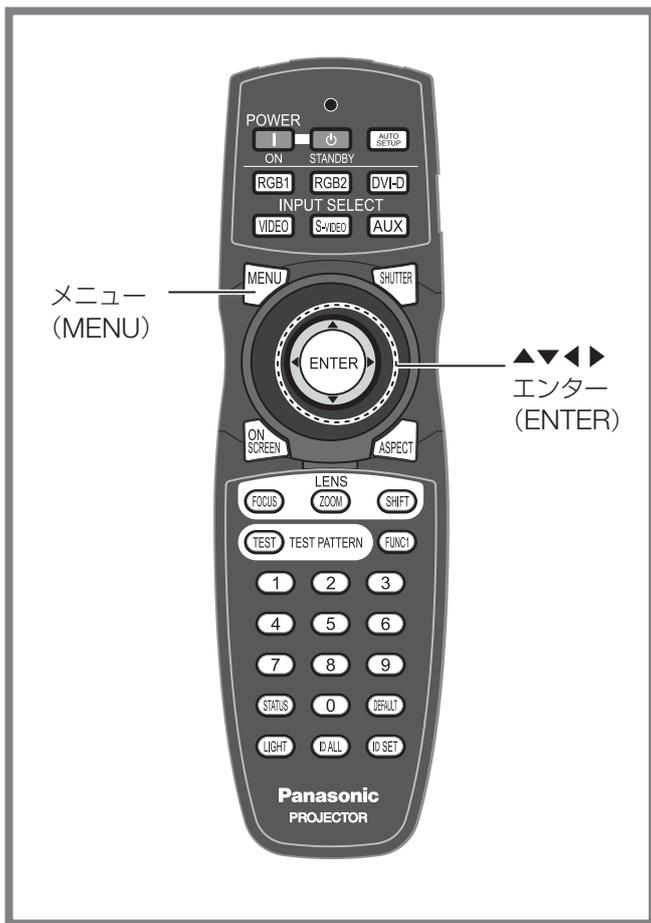
「メインウィンドウ」：メインウィンドウを優先的に表示。

「サブウィンドウ」：サブウィンドウを優先的に表示。

お知らせ

- 入力されている信号および選択されている入力端子によっては P IN P 機能を使用することができません。詳しくは、「P IN P 一覧表」をご覧ください。(122 ページ)
- 映像モード、ガンマ選択、色温度設定などの映像調整値はメインウィンドウの設定値が適用されます。
- 通常画面 (メニューが表示されていない状態) において、P IN P 動作中に◀▶ボタンでメインウィンドウとサブウィンドウのサイズと位置を入れ替えることができます。

内蔵テストパターンを表示



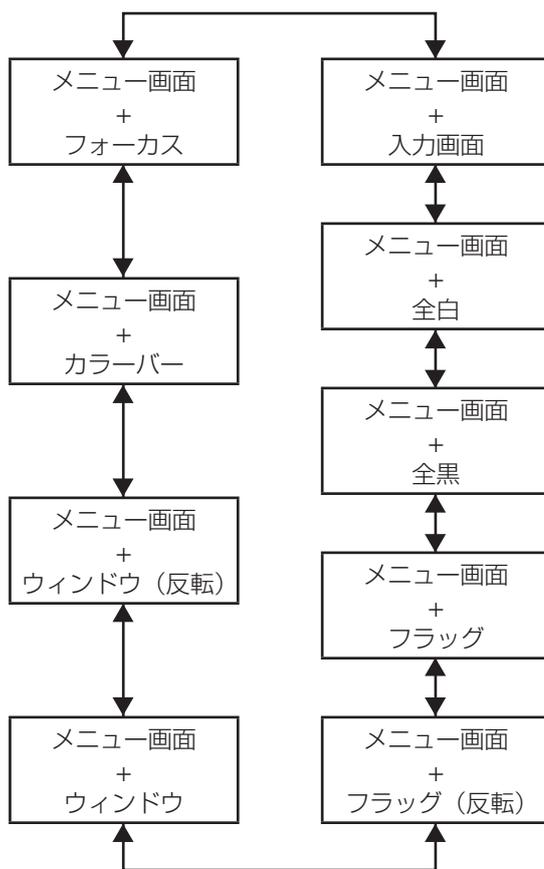
テストパターン

位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

1. ◀▶ボタンで各種テストパターンを切り換える

■ 内蔵テストパターンの表示チャート

◀▶ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



セットの状態を確認するためのテストパターンを8種類内蔵しています。



「メインメニュー」画面を表示する



「テストパターン」を選択する

「テストパターン」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P IN P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
◀▶ 切換	
ENTER サブメニュー	

便利な使い方

セキュリティの設定



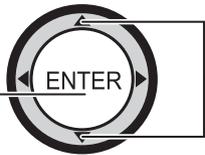
メニュー
(MENU)

▲▼◀▶
エンター
(ENTER)

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURLなどを設定して表示させることができます。

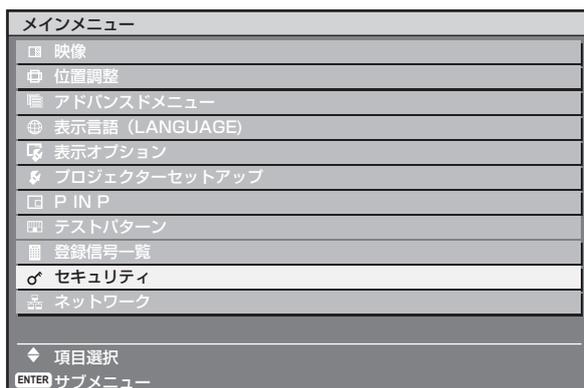


「メインメニュー」画面
を表示する



「セキュリティ」を選択
する

「セキュリティ」画面を
表示する



セキュリティ画面を表示 する

パスワード設定やテキスト設定は、セキュリティ画面を表示してから行ってください。

● 初めてご使用になる場合

1. ▲▶▼◀▶▲▶▼◀▶ ボタンを順に押す

● 以前パスワードを変更した場合 変更したパスワードを入力する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「セキュリティ」画面を表示します。

お知らせ

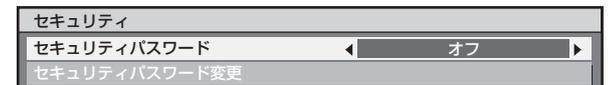
- パスワードを入力しても画面上では*印で表示されます。

セキュリティパスワード

電源を入れたときに「セキュリティパスワード」画面を表示させることができます。

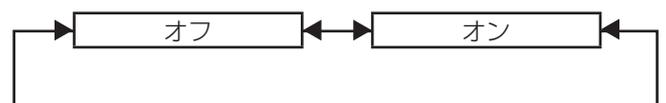
正しくパスワードを入力しないと、電源スタンバイ (⏻) ボタン、シャッターボタン、レンズ調整以外の操作ができなくなります。

1. ▲▼ボタンで「セキュリティパス ワード」を選択する



2. ◀▶ボタンで「セキュリティパス ワード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わり
ます。



- **オン:**
セキュリティパスワード入力を有効にします。
- **オフ:**
セキュリティパスワード入力を無効にします。

セキュリティパスワードの変更

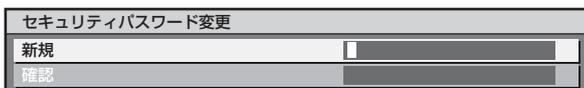
セキュリティパスワードを変更することができます。

1. ▲▼ボタンで「セキュリティパスワード変更」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「セキュリティパスワード変更」画面を表示します。



3. ▲▼◀▶ボタンでパスワードを設定する

- 最大8つのボタンを設定できます。

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

5. 確認のため、再度パスワードを入力する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

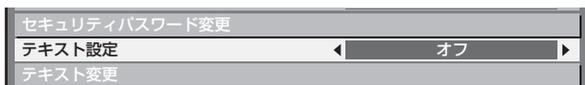
お知らせ

- パスワードを入力しても画面上では*印で表示されます。

テキスト設定

投写中の映像の下に、設定した文字を常時表示させることができます。

1. ▲▼ボタンで「テキスト設定」を選択する



2. ◀▶ボタンで「テキスト設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わりません。



- オフ:
テキスト表示を無効にします。
- テキスト:
テキスト表示を有効にします。
- ロゴ1:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ2:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ3:
Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

テキスト変更

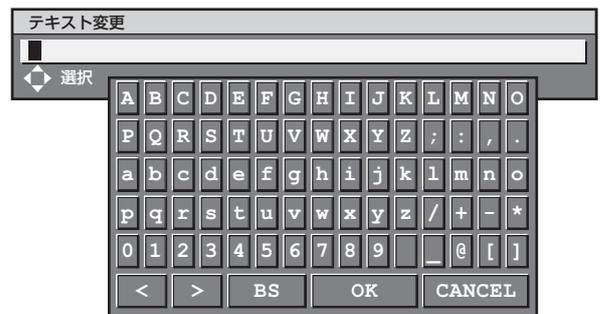
テキスト設定を有効にしたときに表示される文字を変更することができます。

1. ▲▼ボタンで「テキスト変更」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「テキスト変更」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで位置を選択し、▲▼ボタンで文字を選択する

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

- テキストが変更されます。

セキュリティの設定（つづき）

操作設定

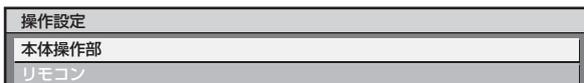
リモコン及び本体操作部からの制御を制限する事ができます。

1. ▲▼ボタンで「操作設定」を選択する



2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「操作設定」画面を表示します。

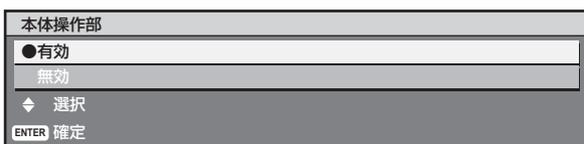


3. ▲▼ボタンで「本体操作部」または「リモコン」を選択する

- 本体操作部：本体操作部からの制御の制限を設定できます。
有効：本体操作部制御有効
無効：本体操作部制御無効
- リモコン：リモコンからの制御の制限を設定できます。
有効：リモコン制御有効
無効：リモコン制御無効

4. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「本体操作部」画面または「リモコン」画面を表示します。



5. ▲▼ボタンで「有効」または「無効」を選択し、エンター（ENTER）ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。



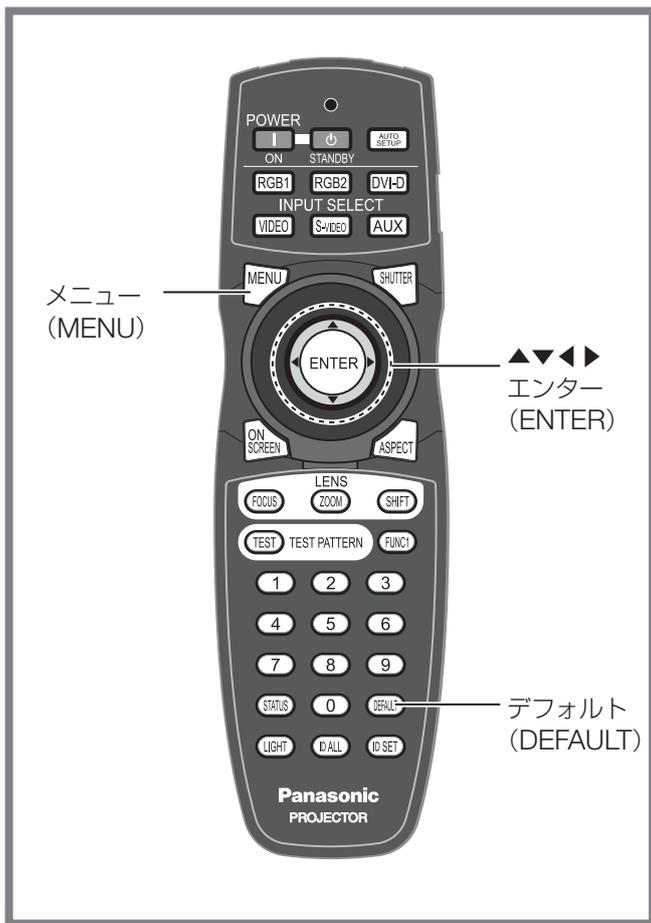
6. ◀▶ボタンで「実行」を選択し、エンター（ENTER）ボタンを押す

お知らせ

- 設定が反映されるとオンスクリーンメニューが消えます。継続して操作を行う場合は MENU ボタンを押してメインメニューを表示させてください。

- 「無効」に設定したリモコン、もしくは本体操作部から制御された場合は、セキュリティパスワード画面が表示されます。設定を変更する場合はセキュリティパスワードを入力し操作設定を変更してください。セキュリティパスワード画面は MENU ボタンを押すか、10 秒間何も操作されない場合に消えます。

ネットワーク機能の使いかた



ネットワーク機能を使用することができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「ネットワーク」を選択する

「ネットワーク」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
表示オプション	
プロジェクターセットアップ	
P IN P	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
ネットワーク	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

ネットワークスタンバイ

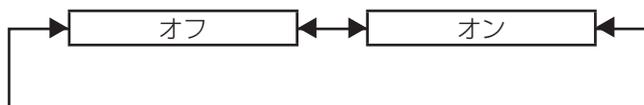
本機の状態がスタンバイ状態のとき、有線 LAN で接続しているコンピューターから本機の電源を操作することができます。

1. ▲▼ボタンで「ネットワークスタンバイ」を選択する

ネットワーク	
ネットワークスタンバイ	オフ
ネットワーク設定	

2. ◀▶ボタンで「ネットワークスタンバイ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- オン：
ネットワークスタンバイ機能を有効にします。
- オフ：
ネットワークスタンバイ機能を無効にします。

ネットワーク機能の初期設定

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワーク機能の初期設定を行ってください。

1. ▲▼ボタンで「ネットワーク設定」を選択する

ネットワークスタンバイ	
ネットワークスタンバイ	オフ
ネットワーク設定	
ネットワークコントロール	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「ネットワーク設定」画面を表示します。

ネットワーク設定	
ホストネーム	PROJECTOR
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
保存	

3. ▲▼ボタンで各項目を選択し、エンター (ENTER) ボタンで設定を変更する

- ホストネーム (ホスト名の表示および設定) :
DHCP サーバーを利用する場合などに変更してください。

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

- **DHCP（DHCPクライアント機能）：**
DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合はDHCP項目をオンにします。DHCPサーバーを利用しない場合はオフにします。
- **IPアドレス（IPアドレスの表示および設定）：**
DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。
- **サブネットマスク（サブネットマスクの表示および設定）：**
DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
- **ゲートウェイ（ゲートウェイアドレスの表示および設定）：**
DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。
- **保存：**
現在のネットワーク設定を保存します。

4. ▲▼ボタンで「保存」を選択し、 エンター（ENTER）ボタンを押す

お知らせ

- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークコントロール

ネットワークコントロール方法を設定します。

1. ▲▼ボタンで「ネットワークコントロール」を選択する

ネットワーク設定
ネットワークコントロール
ネットワークステータス

2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ネットワークコントロール」画面を表示します。

ネットワークコントロール	
WEBコントロール	オン
WEBポート	80
PJLinkコントロール	オフ
コマンドコントロール	オフ
コマンドポート	1024
保存	

3. ▲▼ボタンで各項目を選択し、 ▶ボタンで設定を変更する

- **WEBコントロール：**
Webブラウザの基本制御と詳細制御を禁止したい場合「オフ」に設定します。（91～102ページ）

- **WEBポート：**
使用するポート番号を設定します。
- **PJLinkコントロール：**
PJLinkプロトコルで制御したい場合「オン」に設定します。（103ページ）
- **コマンドコントロール：**
シリアル端子の制御コマンドで制御したい場合「オン」に設定します。（104～107ページ）ただし、Webブラウザコントロールのアドミニストレータ権限のパスワードをなしに設定している場合は、STXの代わりに2バイトの“00”、ETXの代わりに改行コード（0Dh）を付加してください。Webブラウザコントロールのアドミニストレータ権限のパスワードをありに設定している場合は、STXの代わりに32バイトのハッシュ値と“00”、ETXの代わりに改行コード（0Dh）を付加してください。ハッシュ値は“admin1:”とパスワードと“:”と乱数を結合しMD5で生成したものです。乱数は接続時にプロジェクターから送信される8バイトの数値です。
- **コマンドポート：**
コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。
- **保存：**
現在のネットワークコントロール設定を保存します。

ネットワークステータス

本体のネットワーク状態を表示します。

1. ▲▼ボタンで「ネットワークステータス」を選択する

ネットワーク設定
ネットワークコントロール
ネットワークステータス

2. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「ネットワークステータス」画面を表示します。

ネットワークステータス	
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
DNS1	0. 0. 0. 0.
DNS2	0. 0. 0. 0.
MACアドレス	00:0B:97:41:03:05

ネットワーク機能の設定を 工場出荷状態に戻す

IPアドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワーク機能は、プロジェクターセットアップの初期化メニューで工場出荷状態に戻すことができます。（82ページ）

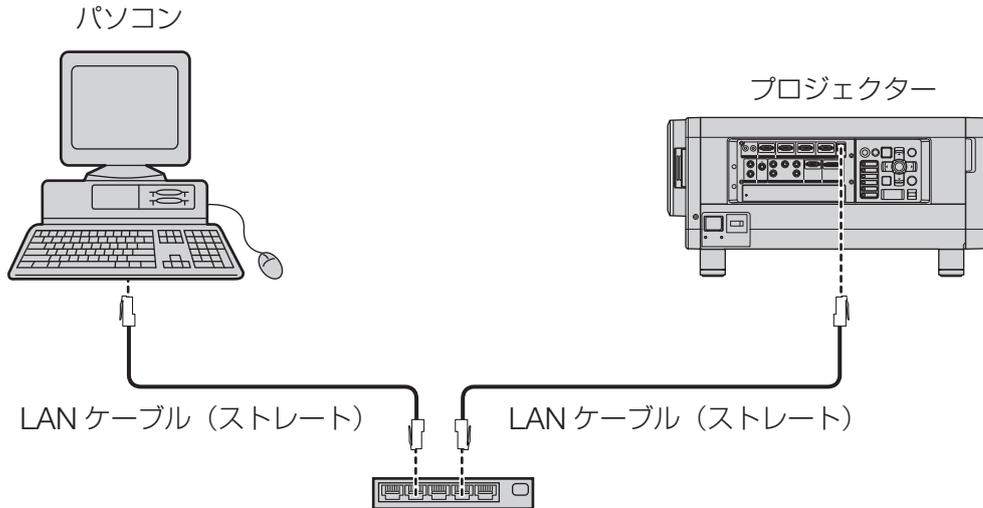
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、Web ブラウザコントロールを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時の E メールメッセージの送信

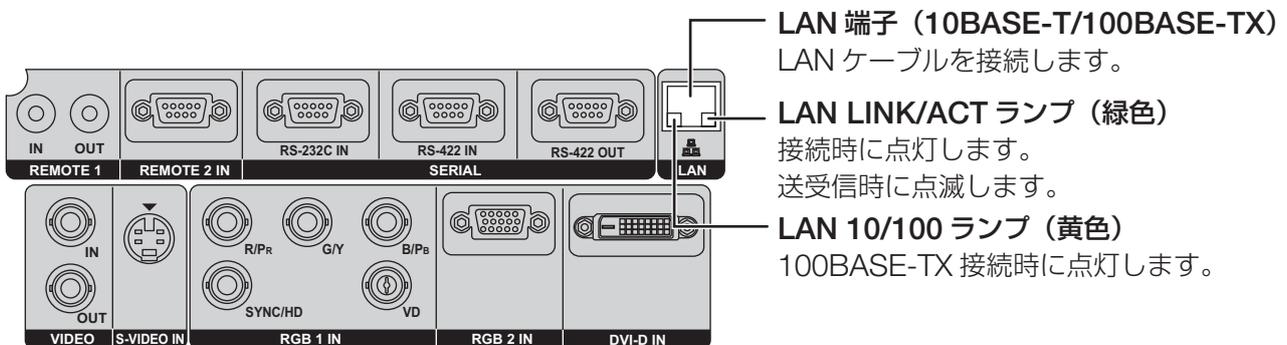
お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、Web ブラウザが必要です。あらかじめ Web ブラウザが利用できることを確認してください。
- パソコンの OS は、Microsoft Windows 98SE/Me/NT4.0/2000/XP/Vista をご利用ください。
- Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 以降または Netscape Communicator 7.0 以降をご利用ください。
- E-メール機能をご使用になる場合は、E-メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E-メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはストレート結線でカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下でご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称と働き

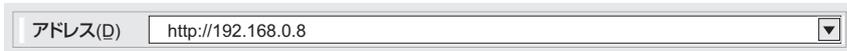


お願い

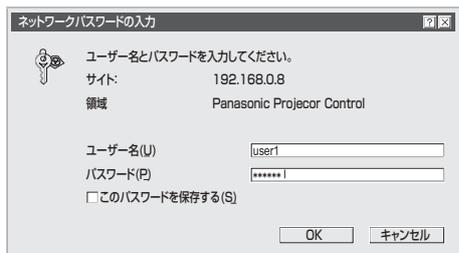
- 静電気を帯びた手 (体) で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子及び LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- LAN は屋内の機器に接続してください。

Web ブラウザからのアクセスのしかた

1. パソコンの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力します。



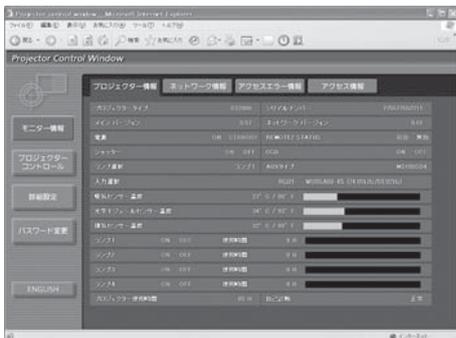
3. ユーザー名とパスワードを入力します。



出荷時の設定

ユーザー名: user1 (ユーザー権限) /
admin1 (アドミニストレータ権限)
パスワード: panasonic (小文字)

4. OK を押すとプロジェクター情報ページが表示されます。

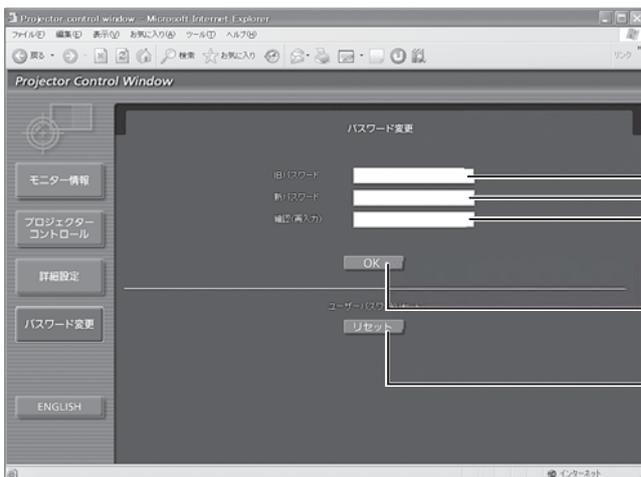


お知らせ

- Web ブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
- まず最初にパスワードの変更を行ってください。
- アドミニストレータ権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、「プロジェクター情報」、「エラー情報」、「ネットワーク情報」、「基本制御」、「パスワード変更」のみ使用できます。
- パスワードを3回続けて間違えると、数分間ロックされます。

■ パスワード変更ページ

[パスワード変更] をクリックします。



旧パスワード入力欄

新パスワード入力欄

新パスワード (確認) 入力欄

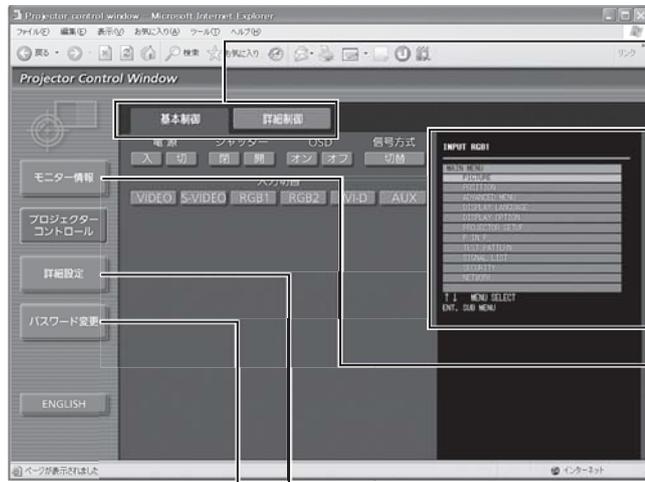
パスワード変更の実行ボタン

アドミニストレータ権限でログイン時にユーザー権限のパスワードをリセットするボタンが表示されます。

■ 基本制御ページ

Web ブラウザからアクセスしたときの最初のページです。

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



ページ切替タブ

クリックすると、ページが切り換わります。

オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

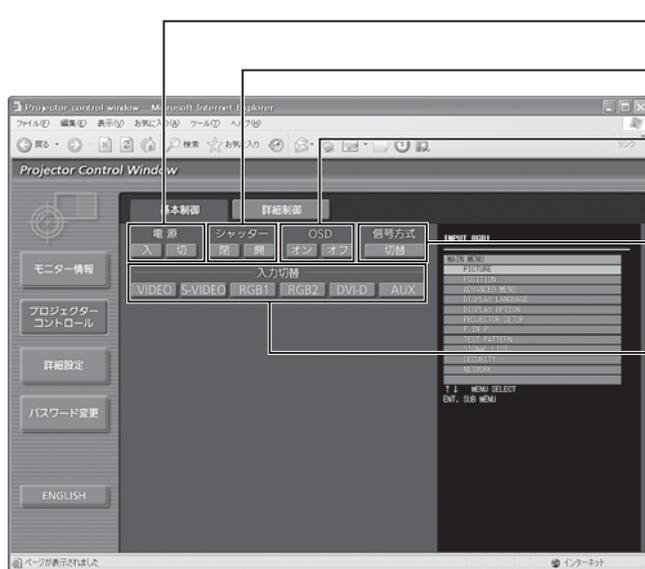
モニター情報ボタン

この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

詳細設定ボタン

この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

パスワード変更ボタン



電源の ON/OFF 操作

シャッターの操作

オンスクリーン表示 (OSD) の表示/非表示の切り換え

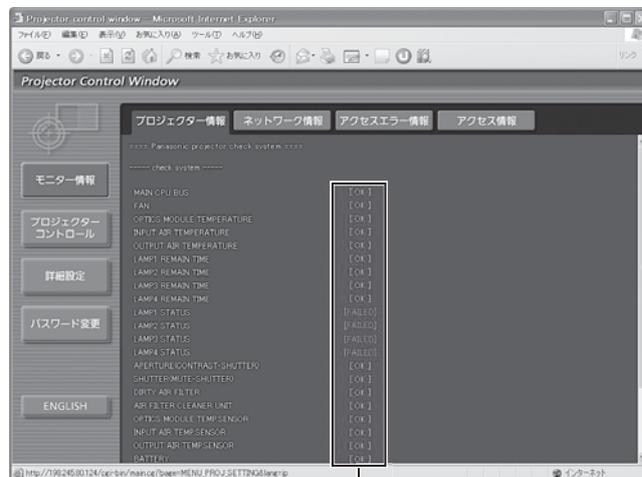
システム方式の切り換え

入力切り換え

エラー情報ページ

モニター情報画面で **自己診断** エラー (詳細表示) が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK : 正常動作
FAILED : 異常発生

[FAILED] と表示されたとき :

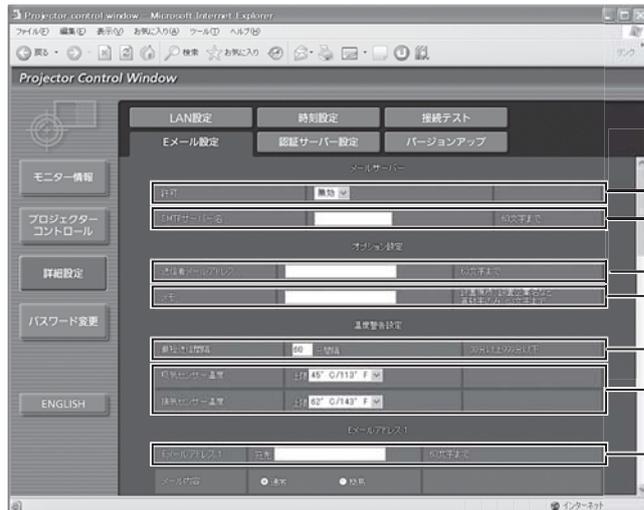
項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
OUTPUT AIR TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。 排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の積算時間を越えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER)	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
SHUTTER (MUTE-SHUTTER)	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
DIRTY AIR FILTER	エアーフィルターにほこりがたまり過ぎています。 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアーフィルターの掃除を行ってください。(110 ~ 111 ページ)
AIR FILTER CLEANER UNIT	エアーフィルターユニットが装着されていません。エアーフィルターユニットを装着してください。
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
OUTPUT TEMP. SENSOR	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
CLOGGED FILTER SENSOR	目詰まりセンサーに異常があります。販売店にご相談ください。
AC POWER	AC 入力電圧が低下しています。本機の消費電流に対し、余裕のある電気配線にしてください。
LENS SHIFT	レンズシフト回路に異常があります。販売店にご相談ください。

ネットワーク機能の使いかた (つづき)

■ E-メール設定ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス (最大 2 箇所) にメールを送信することができます。

[詳細設定] → [E メール設定] をクリックします。



E-メール機能を使用する場合は有効を選択してください。

E-メールサーバ(SMTP)の IP アドレスかサーバ名を入力してください。サーバ名を入力する場合は DNS サーバの設定が必要です。

プロジェクターの E-メールアドレスを入力してください。(半角で 63 文字まで)

E-メールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。(半角で 63 文字まで)

温度警告メールの最少時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先の E-メールアドレスを入力してください。



E-メールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ 1 使用時間：

ランプ 1 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 2 使用時間：

ランプ 2 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 3 使用時間：

ランプ 3 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 4 使用時間：

ランプ 4 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

排気センサー温度：

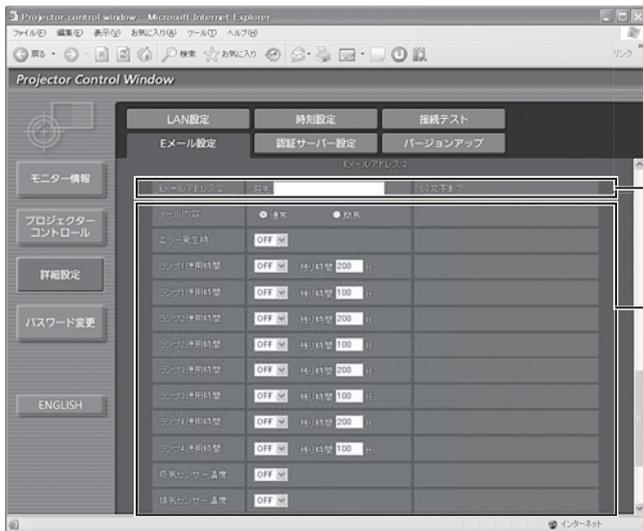
排気温度が上欄に設定された値になった場合



E-メールを定期的送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

ネットワーク機能の使いかた (つづき)

■ E-メール設定ページ (つづき)



2つのE-メールアドレスを使う場合に、送信する宛先のE-メールアドレスを入力します。2つのE-メールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1 使用時間：

ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ2 使用時間：

ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ3 使用時間：

ランプ3の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ4 使用時間：

ランプ4の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

排気センサー温度：

排気温度が上欄に設定された値になった場合



2つ目のE-メールアドレスにE-メールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

全ての入力を終えたら、Submit ボタンを押します。

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
[詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。

SMTP 認証を選択した場合に設定します。

POP サーバー名の入力
使用可能文字：
英数字 (A-Z, a-z, 0-9)
マイナス記号 (-) ピリオド (.)

POP サーバーのユーザー名の入力

POP サーバーのパスワードの入力

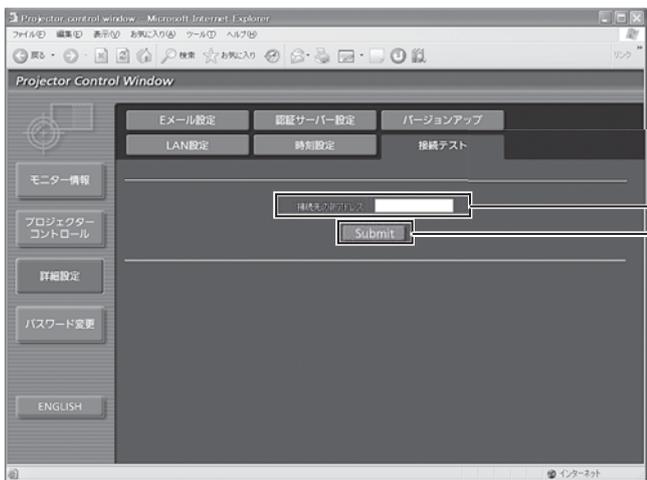
SMTP サーバーのポート番号の入力 (通常は 25 番です)

POP サーバーのポート番号の入力 (通常は 110 番です)

設定の更新ボタン

■ 接続テストページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
[詳細設定] → [接続テスト] をクリックします。



テストするサーバーの IP アドレスの入力

テストの実行ボタン

```
PING 198.245.80.10 (198.245.80.10): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.7 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.4 ms
```

接続できた場合の表示

```
PING 198.245.80.100 (198.245.80.100): 56 data bytes
--- 198.245.80.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

接続できなかった場合の表示

ネットワーク機能の使いかた (つづき)

■ 送信するメール内容

● E-メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type      : Dw100

----- E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME       at [ 60] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 35degC / 95degF ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE Over [ 60degC / 140degF ]

ERROR
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP3 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP3 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP4 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP4 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]

PERIODIC REPORT
Sunday [ ON ] Monday [ ON ] Tuesday [ ON ] Wednesday [ ON ]
Thursday [ ON ] Friday [ ON ] Saturday [ ON ]

00:00 [ ON ] 01:00 [ ON ] 02:00 [ ON ] 03:00 [ ON ]
04:00 [ ON ] 05:00 [ ON ] 06:00 [ ON ] 07:00 [ ON ]
08:00 [ ON ] 09:00 [ ON ] 10:00 [ ON ] 11:00 [ ON ]
12:00 [ ON ] 13:00 [ ON ] 14:00 [ ON ] 15:00 [ ON ]
16:00 [ ON ] 17:00 [ ON ] 18:00 [ ON ] 19:00 [ ON ]
20:00 [ ON ] 21:00 [ ON ] 22:00 [ ON ] 23:00 [ ON ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS [ OK ]
FAN [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP3 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP4 REMAIN TIME [ OK ]
```

● エラーになったときはこのようなメールを発信します。

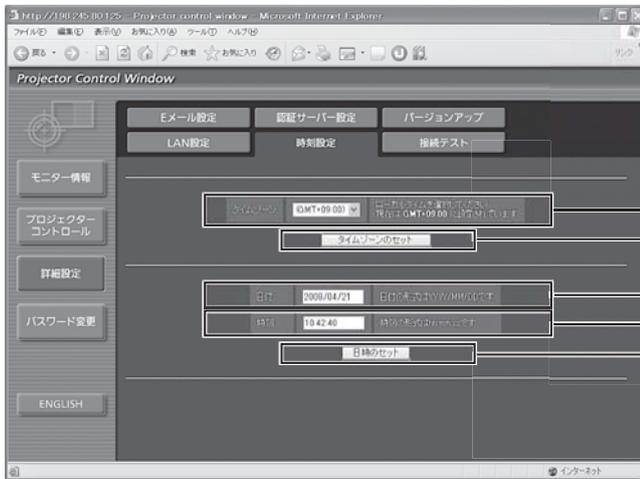
```
=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : Dw100

----- check system -----
MAIN CPU BUS [ OK ]
FAN [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP3 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP4 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP1 STATUS [ OK ]
LAMP2 STATUS [ OK ]
LAMP3 STATUS [ OK ]
LAMP4 STATUS [ OK ]
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]
SHUTTER(MUTE-SHUTTER) [ OK ]
DIRTY AIR FILTER [ FAILED ]
AIR FILTER CLEANER UNIT [ OK ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OUTPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY [ OK ]
CLOGGED FILTER SENSOR [ OK ]
LENS SHIFT [ OK ]
COVER OPEN [ OK ]
AC POWER [ OK ]
(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 10 00 00 00 00)

Input air temperature : 27 degC / 80 degF
Optics module temperature : 34 degC / 93 degF
Output air temperature : 33 degC / 91 degF
SET RUNTIME 419 H
POWER ON 12 times
LAMP1 ON 419 times
LAMP1 HIGH 314 H
LAMP2 ON 363 times
LAMP2 HIGH 252 H
```

■ 時刻設定ページ

[詳細設定] → [時刻設定] をクリックします。



タイムゾーンの選択
(日本は GMT + 09:00)

タイムゾーンの設定更新ボタン

変更する日にちの入力

変更する時間の入力

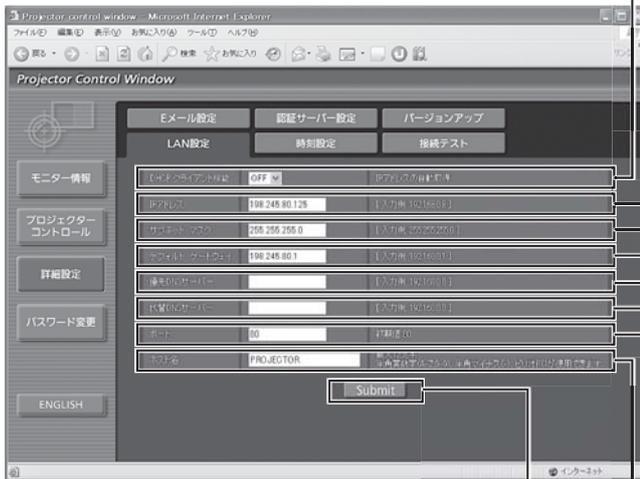
日時設定の更新ボタン

お知らせ

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、電池交換が必要です。
お買い上げの販売店にご相談ください。

■ LAN 設定ページ

[詳細設定] → [LAN 設定] をクリックします。



DHCP クライアント機能を有効にする場合は ON にします。

DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

DHCP サーバーを利用しない場合はネットマスクを入力します。

DHCP サーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

DNS サーバーアドレス (プライマリー) の入力
使用可能文字：
数字 (0-9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.253)。

DNS サーバーアドレス (セカンダリー) の入力
使用可能文字：
数字 (0-9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.254)。

ポート番号を入力します。
通常は 80 のままで使用します。

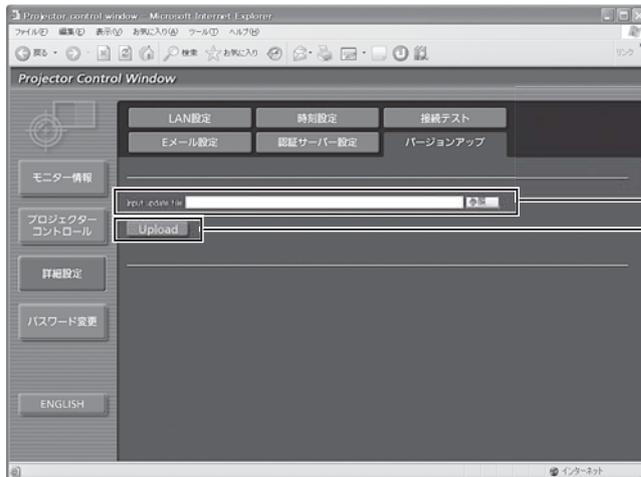
プロジェクターの名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

設定の更新ボタン

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

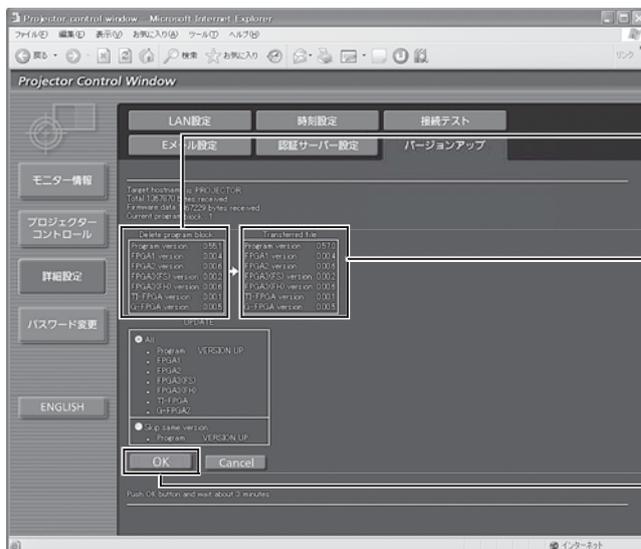
■ ファームウェアのアップデートページ

（ファームウェアのアップデートは、専門知識のある方以外は実施しないでください）



更新するファームウェアのファイル名を入力してください。

ファイル名の入力後 Upload ボタンを押してください。転送が始まります。転送に数十秒程度の時間がかかります。時間はネットワークの状況により異なります。

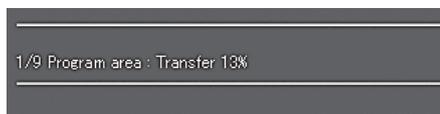
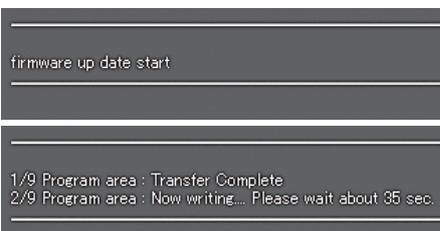


現在のバージョンを表示します。

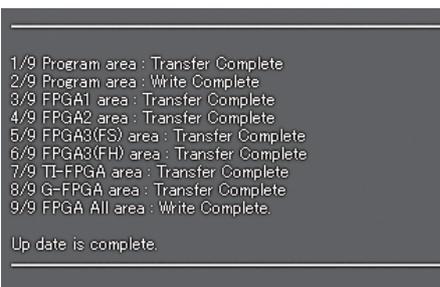
転送した更新するバージョンを表示します。

現在のバージョンと更新するバージョンを確認して間違い無ければ OK ボタンを押してください。書き換えが始まります。書き換え中は電源を切らないでください。

書き換えが始まるとこのメッセージを表示します。



書き換えが終了するとこのメッセージを表示します。



PJLink™ プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink™ クラス 1 に対応しており、PJLink™ プロトコルを使用してパソコンからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

対応コマンド

PJLink™ プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問合せ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11 = RGB1 12 = RGB2 21 = VIDEO 22 = S-VIDEO 31 = DVI-D
INPT ?	入力切り換え問合せ	32 = AUX (ET-MD77DV、ET-MD77SD1、ET-MD77SD3、ET-MD100SD4 のいずれかを装着時のみ有効)
AVMT	シャッター制御	パラメーター 30 = シャッターモード オフ (映像ミュート解除)
AVMT ?	シャッター状態問合せ	31 = シャッターモード オン (映像ミュート)
ERST?	エラー状態問合せ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: カバーオープンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問合せ	パラメーター 1 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 1 積算時間 2 つ目の数字: 0 = ランプ 1 消灯、1 = ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 2 積算時間 4 つ目の数字: 0 = ランプ 2 消灯、1 = ランプ 2 点灯 5 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 3 積算時間 6 つ目の数字: 0 = ランプ 3 消灯、1 = ランプ 1 点灯 7 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 4 積算時間 8 つ目の数字: 0 = ランプ 4 消灯、1 = ランプ 2 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問合せ	パラメーターは下記の値を応答します "11 12 21 22 31" (ET-MD77DV、ET-MD77SD1、ET-MD77SD3、ET-MD100SD4 のいずれかを装着時は "11 12 21 22 31 32" を応答します)
NAME ?	プロジェクター名問合せ	「ネットワーク」の「ホストネーム」で設定した名称を応答します
INF1 ?	メーカー名問合せ	"Panasonic" と応答します
INF2 ?	機種名問合せ	"DW100" と応答します
INFO ?	その他情報問合せ	バージョン番号などを応答します
CLSS ?	クラス情報問合せ	"1" と応答します

■ PJLink™ セキュリティ認証

PJLink™ を認証ありで使用する場合は、Web ブラウザコントロールで設定したアドミニストレータ権限のパスワードとユーザー権限のパスワードのどちらかを PJLink™ のパスワードとして使用できます。

PJLink™ を認証なしで使用する場合は、Web ブラウザコントロールのアドミニストレータ権限のパスワードまたはユーザー権限のパスワードをなしに設定してください。

- PJLink™ は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

PJLink™ に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

シリアル端子を使う

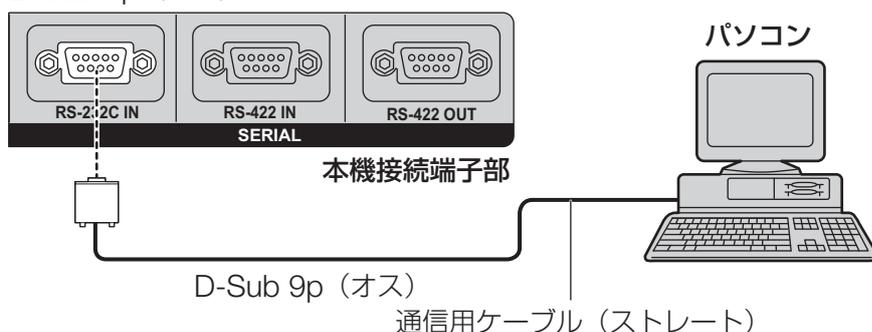
本体接続端子部のシリアル（SERIAL）端子は RS-232C/RS-422 準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。シリアル出力端子を設けていますので本体の複数制御が可能です。

接続例

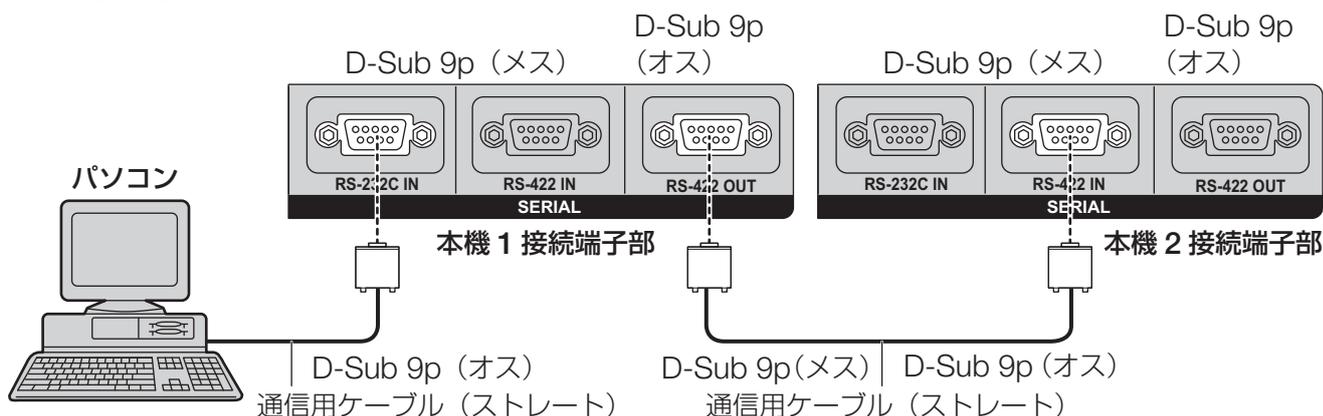
■ RS-232C の場合

● 1 台の場合

D-Sub 9p (メス)

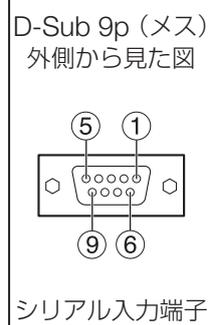


● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名

ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	内部で接続されています
⑨		NC

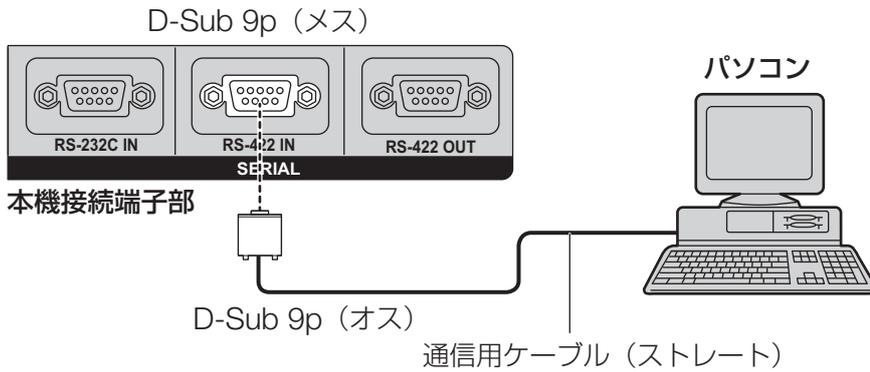


■ 通信条件 (工場出荷設定)

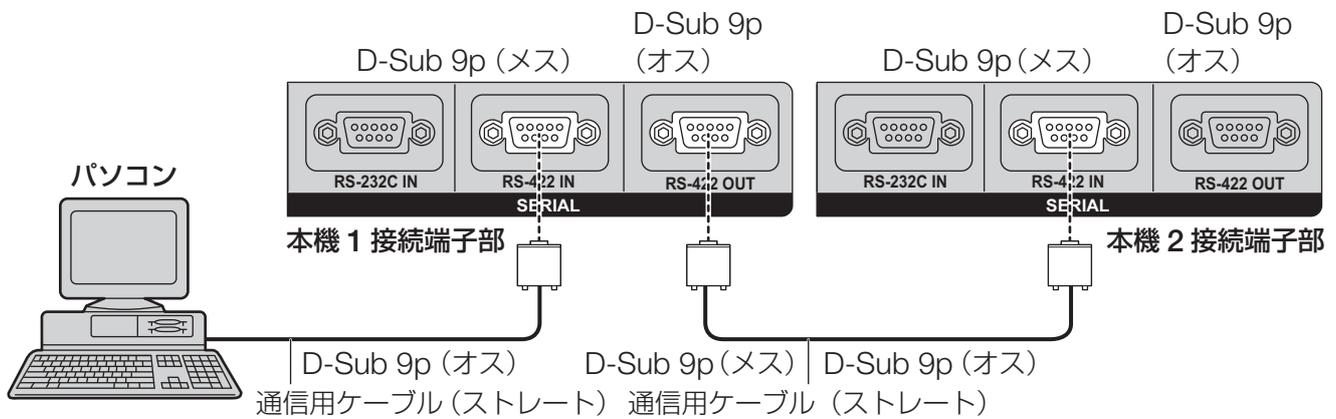
信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

■ RS-422 の場合

● 1 台の場合



● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名

ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	TXD(-)	データ送信端子 (-)
③	RXD(+)	データ受信端子 (+)
④		内部で接続されています
⑤		NC
⑥		内部で接続されています
⑦	TXD(+)	データ送信端子 (+)
⑧	RXD(-)	データ受信端子 (-)
⑨	FG	GND

D-Sub 9p (メス) 外側から見た図

シリアル入力端子

ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	RXD(-)	データ受信端子 (-)
③	TXD(+)	データ送信端子 (+)
④		内部で接続されています
⑤		NC
⑥		内部で接続されています
⑦	RXD(+)	データ受信端子 (+)
⑧	TXD(-)	データ送信端子 (-)
⑨	FG	GND

D-Sub 9p (オス) 外側から見た図

シリアル出力端子

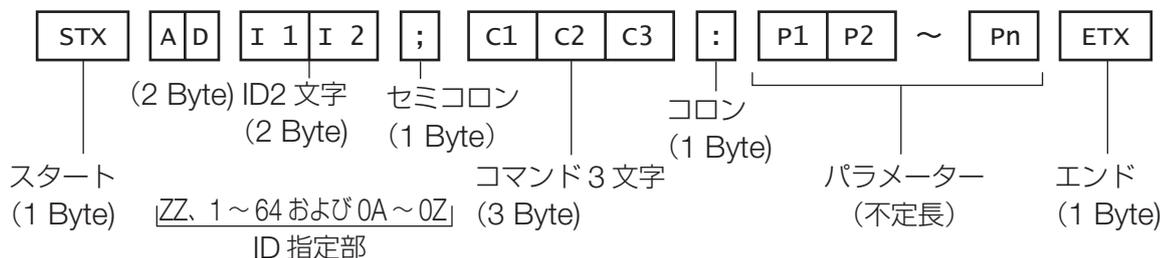
■ 通信条件 (工場出荷設定)

信号レベル	RS-422 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

シリアル端子を使う (つづき)

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い

- ランプ点灯開始時、約 10～60 秒間はコマンドを送受信できませんので、10～60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”または“ER402”というステータスがパソコン側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ (オール) と 1～64 および 0A～0Z のグループの対応になっています。
- STX のキャラクターコードは 02、ETX のキャラクターコードは 03 です。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみパソコンへの応答を返します。
 - 本機 ID と一致した場合
 - ID 指定がオールかつ応答 (ID オール) がオンの場合
 - ID 指定がグループかつ応答 (ID グループ) がオンの場合

制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。
POF	電源「切」	
IIS	入力切り換え	パラメーター VID = VIDEO SVD = S-VIDEO DVI = DVI-D RG1 = RGB1 RG2 = RGB2 AUX = AUX
QSL	使用ランプモード 問い合わせ	パラメーター 0 = クワッド 1 = L1/L4 2 = L2/L3 3 = デュアル 4 = L1/L2/L3 5 = L1/L2/L4 6 = L1/L3/L4 7 = L2/L3/L4 8 = トリプル 9 = L1 10 = L2 11 = L3 12 = L4 13 = シングル
LPM	使用ランプモード	パラメーター 0 = クワッド 1 = L1/L4 2 = L2/L3 3 = デュアル 4 = L1/L2/L3 5 = L1/L2/L4 6 = L1/L3/L4 7 = L2/L3/L4 8 = トリプル 9 = L1 10 = L2 11 = L3 12 = L4 13 = シングル

お知らせ

- 詳しいコマンドリストが必要な場合は、販売店にご相談ください。

ケーブル仕様

■ パソコンと接続する場合

● RS-232C の場合



■ 本機を複数台接続する場合



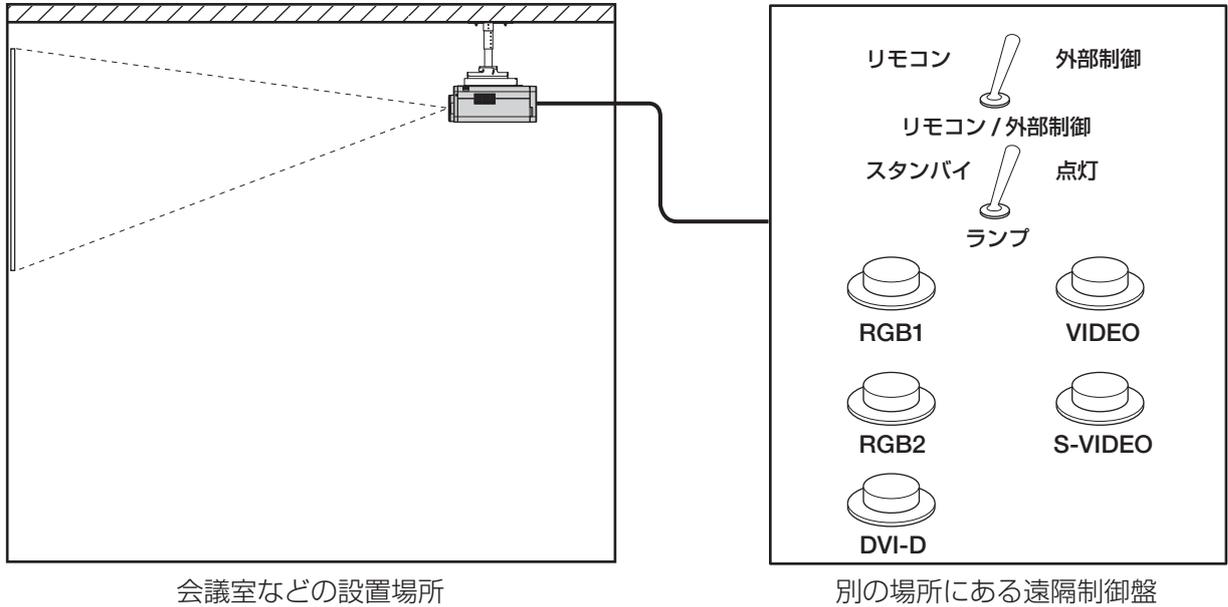
お願い

- シリアル (SERIAL) 端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

リモート 2 端子を使う

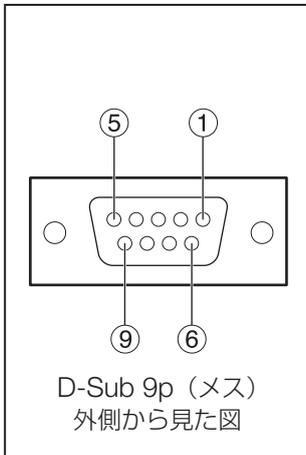
本体接続端子部のリモート 2 (REMOTE 2) 端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例



ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、① 番ピンと ⑨ 番ピンは短絡させてください。



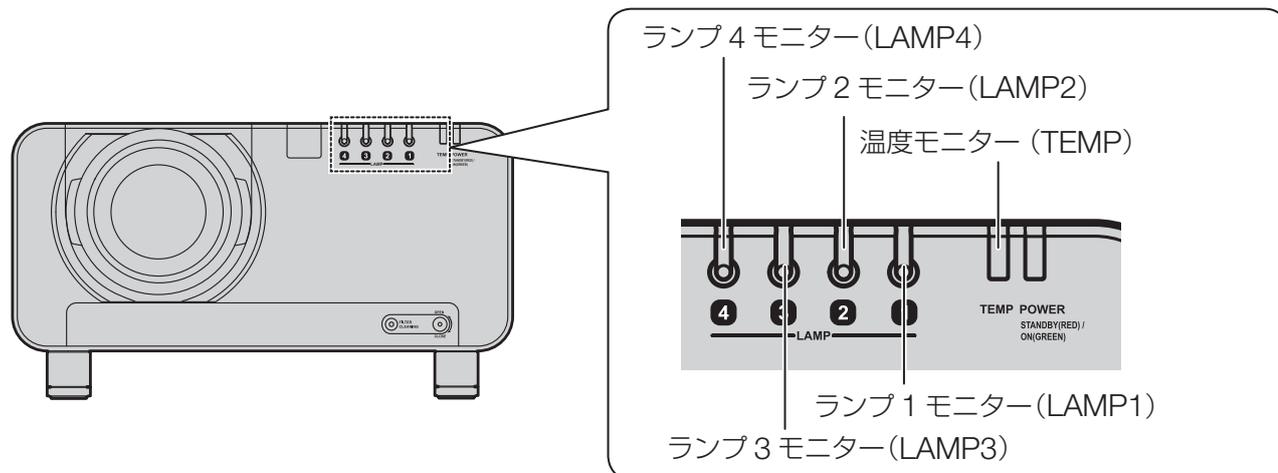
	端子名称	オープン (H)	ショート (L)
①	GND		GND
②	POWER	OFF	ON
③	RGB1	その他	RGB1
④	RGB2	その他	RGB2
⑤	VIDEO	その他	VIDEO
⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
⑦	DVI-D	その他	DVI-D
⑧	SHUTTER	OFF	ON
⑨	RST / SET	リモコン制御	外部接点制御

お知らせ

- 上図は「REMOTE2 端子モード」(78 ページ) が「標準」の場合のピン配列と制御内容となります。「REMOTE2 端子モード」を「ユーザー」で使用されている場合は「ユーザー」で設定されているピン配列と制御内容となります。
- ① 番、⑨ 番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタン、シャッター (SHUTTER) ボタン
またこれらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ① 番、⑨ 番ピンを短絡させて、さらに ③ ~ ⑦ 番ピンのいずれかと ① 番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタン、入力切り換え (RGB1、RGB2、DVI-D、AUX、VIDEO、S-VIDEO) ボタン、シャッター (SHUTTER) ボタン
また、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

モニターランプの表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる5つのモニターランプがついています。これらのランプは異常等を点滅や点灯で表示します。電源を切り下記の処置をしてください。



モニターランプ名	ランプ表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター	赤色点灯	ウォームアップ状態	<ul style="list-style-type: none"> 気温が低い (0℃付近) 状態で電源を「入」にしましたか 	<ul style="list-style-type: none"> このままの状態でも5分ほどお待ちください。 周囲温度 0℃～45℃の場所に設置してください。
		内部が高温になっている	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔がふさがれていませんか 気温の高い所で使用していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 周囲温度 0℃～45℃、周囲湿度 10%～80% (非結露) の場所に設置してください。
	赤色点滅 (2回)	内部が高温になっている (スタンバイ状態)	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターにほこりがたまっていませんか 温度警告の表示が出ませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> 37ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(110～111ページ)
	赤色点滅 (3回)	ファンが止まっている		<ul style="list-style-type: none"> 37ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。
ランプモニター	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れたときに「ランプ交換」という表示が出ませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が1800時間に達すると点灯します。ランプユニットの交換を販売店にご依頼ください。
	赤色点滅 (3回)	ランプ回路の異常を検知している	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか ランプ回路に異常が発生しています 電源電圧が変動 (低下) していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 37ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お願い

- 温度モニター (TEMP) ランプ、ランプモニター (LAMP) ランプの表示により処置を行うときの電源操作は「電源を入れる」(36ページ) と「電源の切りかた」(37ページ) の手順を必ずお守りください。

エアークリーナーの清掃と交換

エアークリーナーにほこりがたまり過ぎると、本体内部温度が高くなり、温度モニター（TEMP）ランプが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますが、静電メッシュフィルターの交換とフィルターユニット内の金属メッシュフィルターやブラシの清掃は約 2 000 時間を目安に行ってください。

清掃手順

1. 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

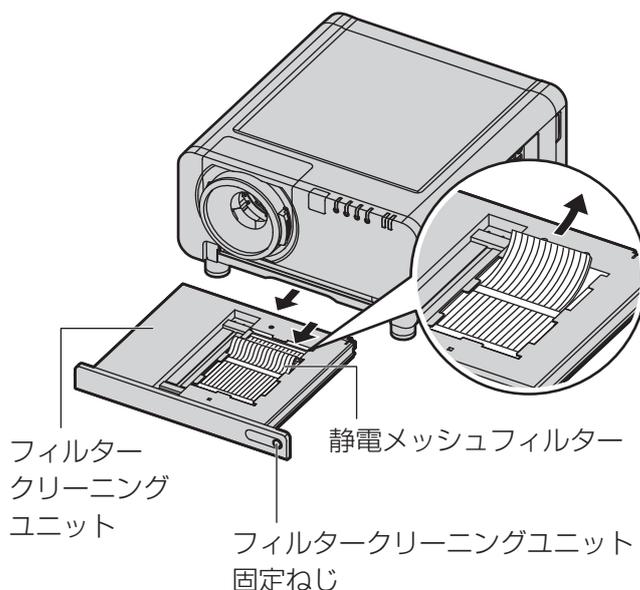
- 37 ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

2. 本体前面のフィルタークリーニングユニット固定ねじ（1 本）をプラスドライバーで緩める

- エアークリーナーの底部に手を入れ、手前へ引っ張りながらフィルタークリーニングユニットを本体から外します。

3. フィルタークリーニングユニットから静電メッシュフィルターを取り出す

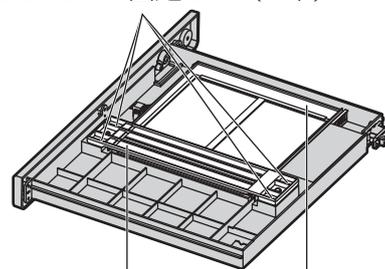
- 静電メッシュフィルターを引っ掛けるようにして引き出してください。



4. フィルタークリーニングユニットを裏返して置く

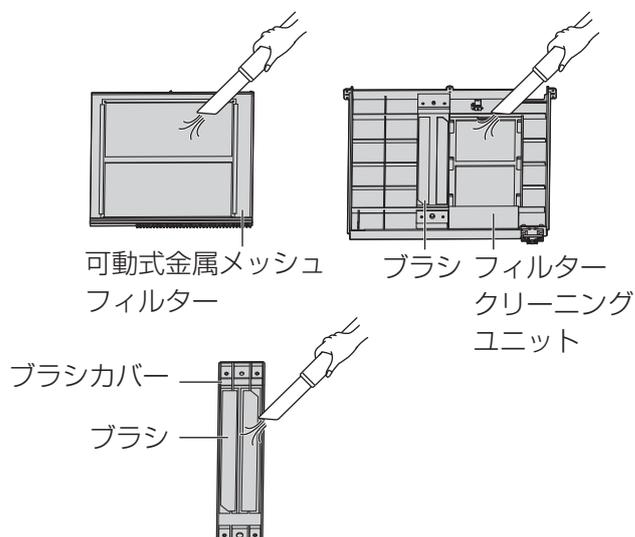
5. ブラシカバー固定ビス（4 本）を取り外して、ブラシカバーと可動式金属メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットから取り外す

ブラシカバー固定ビス（4 本）



6. フィルタークリーニングユニット、ブラシ、可動式金属メッシュフィルターを掃除する

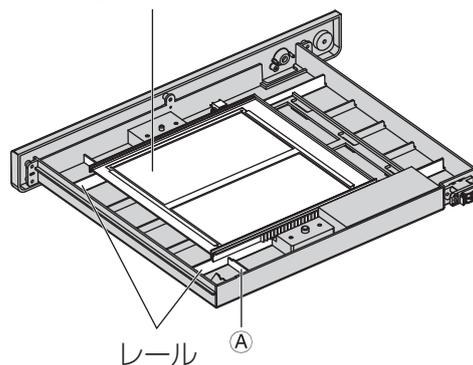
- たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



7. 可動式金属メッシュフィルターを フィルタークリーニングユニットに 取り付ける

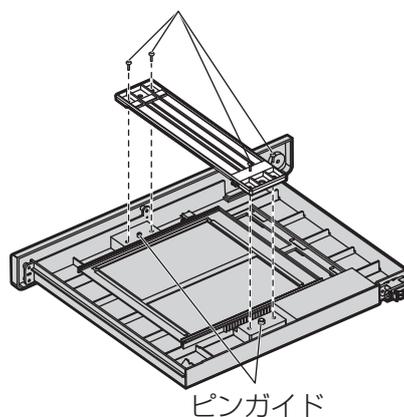
- 組み立てる時に、可動式金属メッシュフィルターの端を ① の位置に合わせてください。
- 可動式金属メッシュフィルターをギアとレールにはめ込みます。
- 可動式金属メッシュフィルターはセット装着後電源オン時に所定の位置にセットされますので、組立時は中間位置にセットしても問題ありません。

可動式金属メッシュフィルター



8. ブラシカバーを位置決めピンガイド に沿って取り付け、ブラシカバー固 定ビス（4本）を固定する

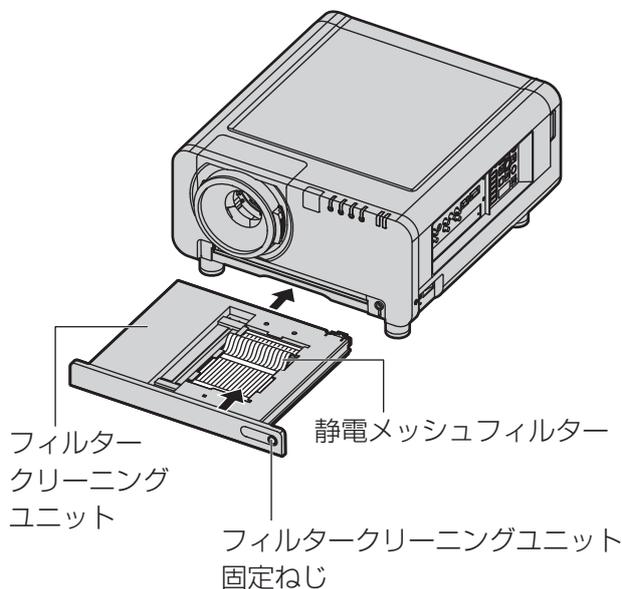
ブラシカバー固定ビス（4本）



9. 新しい静電メッシュフィルターを フィルタークリーニングユニットに 取り付ける

10. フィルタークリーニングユニットを 本体に入れ、フィルタークリーン グユニット固定ねじ（1本）をプ ラドライバーでしっかり締めつける

- エアフィルターをセットして、手順 2 と逆の方法でフィルタークリーニングユニットを取り付けます。



お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ

- 掃除をしてもほこりが取れなくなったら静電メッシュフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせて静電メッシュフィルターも交換してください。
- 静電メッシュフィルターは水洗いしないでください。
- 可動式金属メッシュフィルターの油污れは中性洗剤で洗ってください。中性洗剤はきれいに洗い流してください。

ランプユニットの交換

警告



ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行ってください。
ランプユニットは必ず4ユニット全て装着してください。



ランプ交換の際は、指定のねじ以外（黒いねじなど）は外さないでください。
感電・やけど・ケガの原因となります。

ランプユニット交換上のお願

- 光源ランプは内部気圧が高く、硬い物に当てたり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱くと破裂する場合があります。処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。
- 交換時期を超えたランプを使用し続けると、ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

お願い

- ランプユニットは別売部品です。販売店にご相談ください。（サービス部品扱い）
交換用ランプユニット品番：ET-LAD12K（1灯） ET-LAD12KF（4灯）
定格 300W
- 上記以外のランプを使用することはできません。必ず指定のランプを使用してください。

ランプユニットの交換時期

光源として使用しているランプには、寿命があります。本体に使用している光源ランプの寿命は2000時間（ランプ選択…クワッド設定時）ですが、ランプ個々の特性や使用条件（ランプは点灯回数や再点灯までの間隔等の影響を受け寿命を低下させる恐れがあります）により、2000時間前に点灯しなくなる場合がありますので、交換用ランプの準備をおすすめします。

2000時間を過ぎてもランプユニットが交換されない場合は自動的にランプを消灯します。全てのランプの使用時間が2000時間以上になると、電源を入れても約10分間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

お願い

- ランプ交換の際に、エアフィルター清掃と交換も行ってください。（110～111ページ）

■ 1800時間以降の表示

ランプユニットの使用時間が1800時間に達するとランプモニター(LAMP1、LAMP2、LAMP3、またはLAMP4)が、スタンバイ状態も含めて点灯します。また、右図のようなランプユニットの交換を促すオンスクリーンを約30秒表示します。（右図の表示は約30秒経過または本体操作ボタン、リモコンのボタンのいずれかを操作すると消えます。）

このオンスクリーン表示は2000時間に達すると、以降はメニュー（MENU）ボタンなどを操作しない限り消えません。

ランプ交換

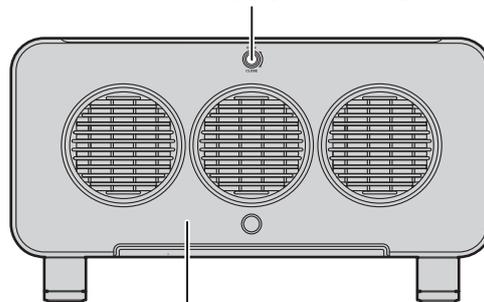
ランプユニットの交換手順

1. 「電源を入れる」(36 ページ)と「電源の切りかた」(37 ページ)の手順を守り、主電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜き、1時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

2. 本体後面のランプユニット収納カバー固定ねじ(1本)をプラスドライバーで緩める

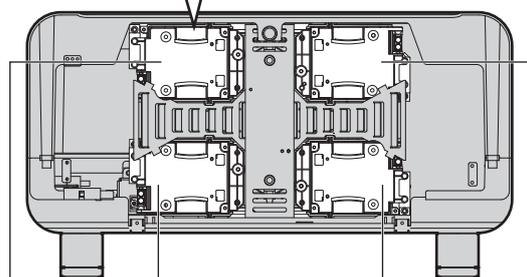
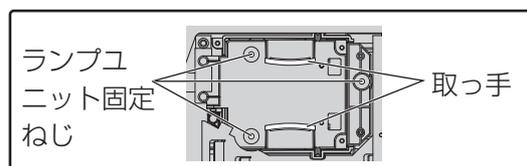
3. ランプユニット収納カバーを本機から開く

ランプユニット収納カバー固定ねじ



ランプユニット収納カバー

4. 取り換えたいランプユニットの固定ねじ(各3本)をプラスドライバーで空回りするまで回す
ランプユニットの取っ手を持って、ゆっくりと本機から引き出す



ランプユニット1 ランプユニット2 ランプユニット3 ランプユニット4

⚠ 注意



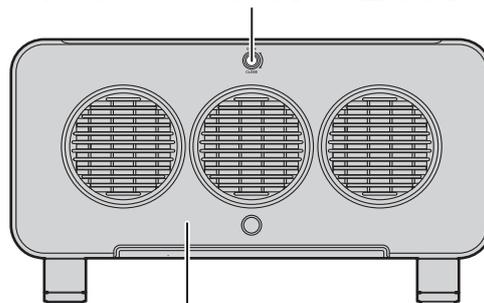
使用直後のランプユニットおよびランプユニット周辺の構造物は高温なので注意する
触るとやけどの原因になります。

5. 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む

6. ランプユニット固定ねじ(各3本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

7. ランプユニット収納カバーを閉め、ランプユニット収納カバー固定ねじ(1本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

ランプユニット収納カバー固定ねじ



ランプユニット収納カバー

お願い

- ランプユニットやランプユニット収納カバーは確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納カバーの取り付けが不完全だと保護回路が動作し電源が入りません。

天つり金具取り付け時の注意事項

本製品に天つり金具を取り付けてご使用になる場合は、付属のアイボルトとワイヤーロープをプロジェクター本体に取り付けてご使用ください。

(安全性には問題ありませんが、ねじが緩んでいた場合に起きる落下などの不慮の事故を防止することができます。)

工事は専門技術者に依頼し、下記の取り付け手順に従ってください。

- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼の上、速やかに撤去してください。

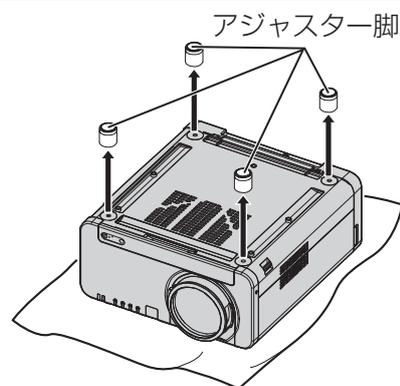
お願い

- 必ず付属のアイボルトとワイヤーロープをご使用ください。

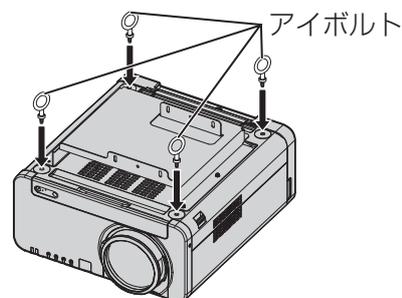
取り付け手順

1. 柔らかい布などの上に、プロジェクター本体の底面を上にして置く
2. アジャスター脚 (4本) を左に回して、本体から取り外す

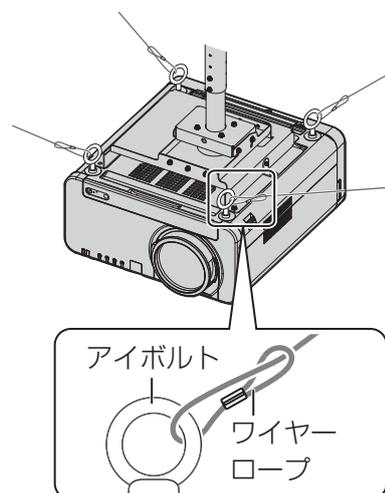
取り外したアジャスター脚は、元に戻すときに使用しますので、大切に保管してください。



3. アイボルト (4本) を右に回して、本体に取り付ける



4. アイボルト (4本) にそれぞれワイヤーロープ (4本) を取り付ける
5. アイボルトと天井間に、付属のワイヤーロープ (4本) を4方向から張る



修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	● 電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	35
	● 主電源 (MAIN POWER) スイッチが「○」側になっていませんか。	36 ~ 37
	● コンセントに電源がきていますか。	35
	● 本機前面の温度モニター (TEMP) ランプが点灯または点滅していませんか。	109
	● 本機前面のランプモニター (LAMP) ランプが点灯または点滅していませんか。	109
	● ランプユニット収納カバーは完全に取り付けられていますか。	113
	● ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、75
	● ランプユニットを4個とも装着していますか。	112 ~ 113
映像が出ない	● 映像入力は正しく接続されていますか。	26
	● 入力切り換えの設定が正しくなっていますか。	46、56 ~ 57
	● 本機に接続している機器は正常に動作していますか。	—
	● シャッター/フリーズ機能を使用していませんか。	46、81
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	38
	● 投写距離は適切ですか。	21 ~ 23
	● レンズが汚れていませんか。	—
	● 本機の設置位置は適切ですか。	20
色が薄い/色あいが悪い	● 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	53
	● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 極性は正しくセットされていますか。	17
	● リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	17
	● リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	17
	● リモート2 (REMOTE2) 端子を使って外部制御を行っていませんか。	108
	● 外光などの影響を受けていませんか。	—
	● ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、75
	● リモコンのロック (LOCK) ボタンがロック側になっていませんか。	13
正常な映像が映らない	● 入力切り換えが正しく行われていますか。	46、56 ~ 57
	● 信号方式の選択は正しく行われていますか。	56 ~ 57
	● ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	120 ~ 121
パソコンからの映像が映らない	● ケーブルが長過ぎませんか。	—
	● ノートパソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。	—
	● [Fn] + [F3] キーで設定します。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)	—
パソコンの DVI-D 出力グラフィックボードの映像が映らない	● DVI-D IN または AUX DVI IN の設定が EDID2(PC) になっていますか。	71 ~ 72
	● グラフィックボードのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。	—

自己診断表示について

本機側面（15 ページ）には、エラーや警告が起きた場合に自動的にその内容を表示する自己診断表示がついています。

自己診断表示	内容	対応
U04	エアークフィルターの目詰まり	● エアークフィルターユニットの清掃をしてください。
U11	吸気温度警告	● 本体周囲の間隔が十分か確認してください。
U12	光学モジュール温度警告	● 周囲温度が高すぎます。40℃（高地モードでは 35℃）未満の周囲温度で使用してください。
U13	ランプ周辺温度警告	
U14	温度低温警告	● 周囲温度が低すぎます。0℃以上の周囲温度で使用してください。
U15	使用周囲温度が 40℃以上になっているため、プロジェクター保護のため光出力を制限している	● 100%の明るさが必要な場合は、40℃（高地モードでは 35℃）未満の周囲温度で使用してください。
U21	吸気温度エラー	● 本体周囲の間隔が十分か確認してください。
U22	光学モジュール温度エラー	● 周囲温度が高すぎます。40℃（高地モードでは 35℃）未満の周囲温度で使用してください。
U23	ランプ周辺温度エラー	
U24	低温エラー	● 周囲温度が低すぎます。0℃以上の周囲温度で使用してください。
U41	ランプ 1 使用時間警告	● ランプの交換時期になりました。ランプを交換してください。
U42	ランプ 2 使用時間警告	
U43	ランプ 3 使用時間警告	
U44	ランプ 4 使用時間警告	
U51	ランプ 1 エラー	● ランプの点灯に失敗しました。ランプが冷えてから再び電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
U52	ランプ 2 エラー	
U53	ランプ 3 エラー	
U54	ランプ 4 エラー	
U61	ランプ 1 使用時間 2 000 時間経過	● ランプの交換時期を越えています。直ちに交換してください。
U62	ランプ 2 使用時間 2 000 時間経過	
U63	ランプ 3 使用時間 2 000 時間経過	
U64	ランプ 4 使用時間 2 000 時間経過	
U70	エアークフィルターユニット未装着	● エアークフィルターユニットを装着してください。
U71	ランプ 1 未装着	● ランプを装着してください。ランプを装着しなおしても表示が消えない場合は、販売店にご相談ください。
U72	ランプ 2 未装着	
U73	ランプ 3 未装着	
U74	ランプ 4 未装着	
U81	AC 電圧低下警告（99 V 未満）	● AC 入力電圧が低下しています。本機の消費電流に対し余裕のある電気配線にしてください。
U91	ランプ収納カバーが閉じていない	● ランプユニット収納カバーを閉じてください。
H01	内部時計用電池交換	● 電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
H11	吸気温度センサーエラー	● 内部回路が正しく動作していません。主電源を入れなおしても表示が消えない場合は、販売店にご相談ください。
H12	光学モジュール温度センサーエラー	
H13	ランプ周辺温度センサーエラー	
H18	目詰まりセンサーエラー	
F11	シャッターエラー	
F12	ダイナミックアイリスエラー	
F13	エアークフィルターユニットエラー	
F21	DC2.5 V エラー	
F22	DC3.3 V エラー	
F23	DC5.0 V エラー	

自己診断表示	内容	対応
F41	ランプ1メモリエラー	● ランプが故障しています。販売店にご相談ください。
F42	ランプ2メモリエラー	
F43	ランプ3メモリエラー	
F44	ランプ4メモリエラー	
F61	バラスト1通信エラー	● 内部回路が正しく動作していません。主電源を入れなおしても表示が消えない場合は、販売店にご相談ください。
F62	バラスト2通信エラー	
F63	バラスト3通信エラー	
F64	バラスト4通信エラー	
F80	リサイズIC設定エラー	
F81	FM-Rテストエラー	
F82	FM-Gテストエラー	
F83	FM-Bテストエラー	
F91	FPGA1コンフィグエラー	
F92	FPGA2コンフィグエラー	
F93	FLASH ROMエラー	
F94	RAMエラー	
F95	FPGA展開エラー	
F96	レンズシフトエラー	
FE1	電源ファンエラー	
FE2	ランプ1ファンエラー	
FE3	ランプ2ファンエラー	
FE4	ランプ3ファンエラー	
FE5	ランプ4ファンエラー	
FE6	バラスト回路1ファンエラー	
FE7	バラスト回路3ファンエラー	
FE8	GB-DMDファンエラー	
FE9	中央排気ファンエラー	
FF0	左排気ファンエラー	
FF1	右排気ファンエラー	
FF2	赤色DMD冷却ファンエラー	
FF3	緑色DMD冷却ファンエラー	
FF4	青色DMD冷却ファンエラー	
FF5	カラープリズムファンエラー	
FF6	ランププリズムファンエラー	
FF7	バラスト回路2ファンエラー	
FF8	バラスト回路4ファンエラー	
FF9	Gプリズムファンエラー	

お知らせ

- 自己診断表示と故障の内容が異なる場合があります。

仕様

品番		PT-DW100	
使用電源		AC 200 V 10 A 50 Hz/60Hz	
消費電力		1 500 W (スタンバイ時約 15 W)	
DLP®	パネルサイズ	0.85 型 (アスペクト比 16:9)	
チップ	表示方式	DLP® チップ 3 枚 DLP® 方式	
	画素数	1 049 088 画素 (1 366 × 768 ドット) × 3 枚	
レンズ (電動ズーム/ 電動フォーカス)		オプション	
光源ランプ		300 W UHM ランプ × 4 灯	
光出力		10 000 lm (ANSI)	
対応 走査 周波数	ビデオ 信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz / 15.63 kHz 垂直 60 Hz / 50 Hz	
	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz 垂直 24 Hz ~ 120 Hz PIAS (Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式 ドットクロック周波数 20 MHz ~ 162 MHz	
	DVI-D 信号時	480p、576p、720/60p、720/59.94p、 720/50p、1 080/60p、1 080/59.94p、 1 080/50p、1 080/60i、1 080/59.94i、 1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF、 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、 1 080/24p、1 080/23.98p	表示可能解像度：VGA ~ WUXGA (ノンインターレース) ドットクロック周波数： 25 MHz ~ 162 MHz ● WUXGA 信号は VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応しています。
	YPbPr 信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz [576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [720/50p] 水平 37.5 kHz 垂直 50 Hz [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1 035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz	[1 080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1 080/25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz [1 080/30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz [1 080/24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz [1 080/50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz [1 080/60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz ● HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応 していません。
カラー方式		7 方式 (NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-N / PAL-M / SECAM / PAL60)	
投写画面サイズ		70 ~ 600 型*1	
画面アスペクト比		16:9	
投写方式		フロント / リア / 天つり / 床置き (メニュー設定方式)	
コントラスト比 (全白:全黒)		5 000:1 (「ダイナミックアイリス」の設定が「3」のとき)	
接続 端子	入力モジュール 接続スロット	1 系統	
	RGB1 入力端子	1 系統 BNC × 5 [YPbPr 入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω [RGB 入力時] 0.7 V [p-p] 75 Ω G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC 1.4 ~ 5 Vp-p 正 / 負極性自動対応 75 Ω VD 1.4 ~ 5 Vp-p 正 / 負極性自動対応 75 Ω	

※ 1: ET-D75LE5 装着時は 70 ~ 300 型です。

品番		PT-DW100
接続端子	RGB2 入力端子	1 系統 高密度 D-sub 15p (メス) [YP _B PR 入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P _B PR : 0.7 V [p-p] 75 Ω [RGB 入力時] 0.7 V [p-p] 75 Ω G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 • ただし、HD/SYNC および VD 端子は 3 値 SYNC には対応していません。
	ビデオ入出力端子	1 系統 BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω (ビデオ出力時はアクティブスルー)
	S ビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応
	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI1.0 準拠 HDCP 対応 シングルリンクのみ対応
	LAN 端子	1 系統 ネットワーク接続用 10Base-T/100 Base-TX PLink™対応
	シリアル入力端子	2 系統 D-sub 9p (メス) RS-232C/RS-422 準拠 コンピューター制御用
	シリアル出力端子	1 系統 D-sub 9p (オス) RS-422 準拠 コンピューター制御用
	リモート 1 入出力端子	M3 ピンジャック 各 1 系統 ワイヤードリモコン、連結制御用
	リモート 2 端子	D-sub 9p (メス) 外部制御用
電源コードの長さ	3 m	
外装ケース	樹脂成形品	
外形寸法	横幅 : 578 mm 高さ : 320 mm 奥行 : 643 mm	
質量	約 35 kg (別売品の投写レンズを含まず)*2	
使用環境条件	使用周囲温度*3 : 0 °C ~ 45 °C 使用周囲湿度 : 10 % ~ 80 % (結露のないこと)	
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 コ)
	操作距離	約 30 m (受光部正面)
	質量	134 g (乾電池含む)
	外形寸法	横幅 : 51 mm 厚さ : 23 mm 奥行 : 176 mm
別売品	天つり金具 (高天井用)	: ET-PKD100H
	天つり金具 (低天井用)	: ET-PKD100S
	投写レンズ	: ET-D75LE6、ET-D75LE1、ET-D75LE2、ET-D75LE3、ET-D75LE4、 ET-D75LE5、ET-D75LE8
	DVI-D 入力モジュール	: ET-MD77DV
	SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD77SD1
	HD/SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD77SD3
デュアルリンク HD/SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD100SD4	

*2 平均値です。各製品で異なる場合があります。

*3 高地モード (1 400 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用周囲温度は 0 °C ~ 40 °C になります。またランプ 4 灯使用時に使用周囲温度が 40 °C (高地モードでは 35 °C) 以上になると、プロジェクター保護の為に光出力が約 30 % 低下することがあります。
スモークカットフィルター使用時は、使用周囲温度は 0 °C ~ 35 °C になります。ただし、高地で使用することはできません。

• 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS × 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

• 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This DLP® based Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

付録

対応信号リスト

本機に入力できる映像信号は下表の通りです。他にも RGB 信号は $f_H = 15 \text{ kHz} \sim 100 \text{ kHz}$ 、 $f_V = 24 \text{ Hz} \sim 120 \text{ Hz}$ 、ドットクロック = $20 \text{ MHz} \sim 162 \text{ MHz}$ 、DVI-D 信号はドットクロック = $25 \text{ MHz} \sim 162 \text{ MHz}$ の範囲で入力可能です。

表示モード	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ 対応		
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9		VIDEO/S-VIDEO			
PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50		VIDEO/S-VIDEO			
480i	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	YPbPr/RGB			
576i	720 × 576i	15.6	50	13.5	YPbPr/RGB			
480p	720 × 483	31.5	59.9	27	YPbPr/RGB/DVI		○	
576p	720 × 576	31.3	50	27	YPbPr/RGB/DVI		○	
1 080/60i	1 920 × 1 080i	33.8	60	74.3	YPbPr/RGB/DVI		○	
1 080/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50	74.3	YPbPr/RGB/DVI		○	
1 080/24p	1 920 × 1 080	27	24	74.3	YPbPr/RGB/DVI		○	
1 080/24sF	1 920 × 1 080i	27	24	74.3	YPbPr/RGB/DVI			
1 080/25p	1 920 × 1 080	28.1	25	74.3	YPbPr/RGB/DVI		○	
1 080/30p	1 920 × 1 080	33.8	30	74.3	YPbPr/RGB/DVI			
1 080/60p	1 920 × 1 080	67.5	60	148.5	YPbPr/RGB/DVI		○	
1 080/50p	1 920 × 1 080	56.3	50	148.5	YPbPr/RGB/DVI		○	
720/60p	1 280 × 720	45	60	74.3	YPbPr/RGB/DVI		○	
720/50p	1 280 × 720	37.5	50	74.3	YPbPr/RGB/DVI		○	
VGA400	640 × 400	31.5	70.1	25.2	RGB/DVI			
	640 × 400	37.9	85.1	31.5	RGB/DVI			
VGA480	640 × 480	31.5	59.9	25.2	RGB/DVI	○	○	○
	640 × 480	35	66.7	30.2	RGB/DVI			
	640 × 480	37.9	72.8	31.5	RGB/DVI	○		○
	640 × 480	37.5	75	31.5	RGB/DVI	○		○
	640 × 480	43.3	85	36	RGB/DVI			
SVGA	800 × 600	35.2	56.3	36	RGB/DVI	○		○
	800 × 600	37.9	60.3	40	RGB/DVI	○		○
	800 × 600	48.1	72.2	50	RGB/DVI	○		○
	800 × 600	46.9	75.0	56.3	RGB/DVI	○		○
	800 × 600	53.7	85.1	56.3	RGB/DVI			
MAC16	832 × 624	49.7	74.6	57.3	RGB/DVI	○		○
XGA	1 024 × 768	39.6	50	51.9	RGB/DVI			
	1 024 × 768	48.4	60	65	RGB/DVI	○		○
	1 024 × 768	56.5	70.1	75	RGB/DVI	○		○
	1 024 × 768	60	75	78.8	RGB/DVI	○		○
	1 024 × 768	65.5	81.6	86	RGB/DVI			
	1 024 × 768	68.7	85	94.5	RGB/DVI			
	1 024 × 768i	35.5	87	44.9	RGB	○		
	1 024 × 768	80	100	105	RGB/DVI			
	1 024 × 768	96.7	120	130	RGB/DVI			

表示モード	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ 対応		
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2
MXGA	1 152 × 864	64	71.2	94.2	RGB/DVI			
	1 152 × 864	67.5	74.9	108	RGB/DVI			
	1 152 × 864	76.7	85	121.5	RGB/DVI			
MAC21	1 152 × 870	68.7	75.1	100	RGB/DVI	○		○
1 280 × 768	1 280 × 768	39.6	49.9	65.3	RGB/DVI			
	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	RGB/DVI			
1 280 × 800	1 280 × 800	41.3	50	68	RGB/DVI			
	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	RGB/DVI			
MSXGA	1 280 × 960	60	60	108	RGB/DVI			
SXGA	1 280 × 1 024	52.4	50	88	RGB/DVI			
	1 280 × 1 024	64	60	108	RGB/DVI	○		○
	1 280 × 1 024	72.3	66.3	125	RGB/DVI			
	1 280 × 1 024	78.2	72	135.1	RGB/DVI			
	1 280 × 1 024	80	75	135	RGB/DVI	○		○
SXGA+	1 280 × 1 024	91.1	85	157.5	RGB/DVI			
	1 400 × 1 050	65.2	60	122.6	RGB/DVI	○		○
	1 400 × 1 050	78.8	72	149.3	RGB/DVI			
SXGA+	1 400 × 1 050	82.2	75	155.9	RGB/DVI			
	1 440 × 900	55.9	59.9	106.5	RGB/DVI			
UXGA	1 600 × 1 200	75	60	162	RGB/DVI	○		○
WSXGA+	1 680 × 1 050	65.3	60	146.3	RGB/DVI			
1 920 × 1 080 ^{*1}	1 920 × 1 080	66.6	59.9	138.5	RGB/DVI			
WUXGA ^{*1}	1 920 × 1 200	74	60	154	RGB/DVI	○		○

※ 1 VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

お知らせ

- 表示ドット数は1 366 × 768です。上記データで解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろの「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

P I N P 一 覧 表

サブウィンドウ メインウィンドウ		RGB1		RGB2		VIDEO 入力	S-VIDEO 入力	DVI		AUX			
		RGB 入力	YPbPr 入力	RGB 入力	YPbPr 入力			動画系 ^{※3}	RGB 系 ^{※4}	ET- MD77SD1	ET- MD77SD3/ ET- MD100SD4 ^{※1}	ET-MD77DV	
											動画系 ^{※2}	RGB 系 ^{※4}	
RGB1	RGB 入力	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
	YPbPr 入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	
RGB2	RGB 入力	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
	YPbPr 入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	
VIDEO 入力		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	
S-VIDEO 入力		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	
DVI	動画系 ^{※3}	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	
	RGB 系 ^{※4}	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
AUX	ET-MD77SD1	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	
	ET-MD77SD3/ ET-MD100SD4 ^{※1}	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	
	ET- MD77DV	動画系 ^{※2}	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×
RGB 系 ^{※4}		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	

○ : P I N P (ピクチャ イン ピクチャ) 組合わせが可能。

× : P I N P (ピクチャ イン ピクチャ) 組合わせが不可能。

※ 1 480i、576i、720/60p、720/50p、1 035/60i、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24p のみ対応

※ 2 480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/60p、1 080/50p のみ対応

※ 3 480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/24p、1 080/25p、1 080/30p、1 080/50p、1 080/60p のみ対応

※ 4 VGA (640 × 480) ~ WUXGA (1 920 × 1 200)

ノンインターレース信号、ドットクロック周波数 : 25 MHz ~ 162 MHz

● WUXGA 信号は VESA CVT RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応しています

お知らせ

- ノイズリダクションは使用できません。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし、光源ランプは 6 カ月または 600 時間の早い方。

3. 修理を依頼されるとき

115 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

4. ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客さまの個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

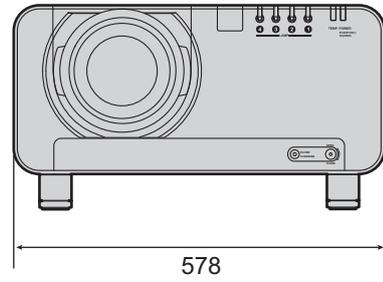
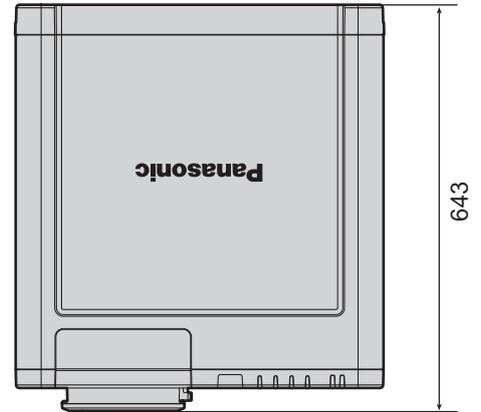
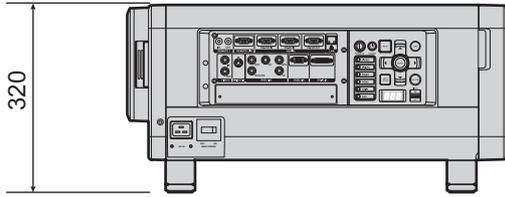
修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容

ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
お 電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名・品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。 なお、製品品番については、PT-DW100 でご連絡ください。
故 障 ま た は 異 常 の 内 容	自己診断機能表示ランプの内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	ご都合の悪い日もあわせて。

寸法図

外形寸法図

〈単位：mm〉



A		く		と	
AUX DVI IN	72	クランプ位置調整	63	投写方式	20
AUX SDI IN	72	クロックフェーズ調整	60	投写レンズの	
		黒レベル	53	取り付け/取り外しかた	34
D				登録信号	43
DVI-D IN	71	こ		に	
DVI-D 入力モジュール	33	高地モード	76	入力解像度調整	63
F		さ		入力モジュールの取り付け	28
FUNC1 の設定	81	サービスパスワード入力	82	入力を切り換える	46
H		サブメニュー	49		
HD/SD-SDI 入力モジュール	31	サブメモリー	44	ね	
P		し		ネットワーク機能	89
P IN P 一覧表	122	自己診断表示	116	ネットワーク接続	91
PJLink™ プロトコル	103	システムセクター	56	の	
R		自動電源オフ	80	ノイズリダクション	55
REMOTE2 端子モード	78	シフト調整	58	は	
RS-232C	78	シャープネス	55	パソコンとの接続	27
S		シャッター (SHUTTER) 機能	46	バックカラー	74
SD-SDI 入力モジュール	31	修理を依頼される前に	115		
sRGB	57	仕様	118	ひ	
あ		シリアル端子	104	ピクチャー	52
アジャスター脚の調整	20	す		日付と時刻設定	81
アスペクト調整	59	ズーム調整	60	ふ	
い		スタートアップロゴ	74	付属品	10
色あい	53	ステータス	79	ブランキング調整	63
色温度設定	53	ステータス機能	46	フレーム遅延	65
色の濃さ	53	せ		プロジェクター ID の設定	75
え		セキュリティパスワード	86	ほ	
エアフィルター清掃	80	セキュリティパスワードの変更	87	保証とアフターサービス	123
エアフィルターの清掃と交換	110	設置角度	76	め	
映像機器との接続	26	設置寸法図	24	メインメニュー	49
映像モード設定の既定値登録	56	設置設定	76	メニュー画面の操作方法	51
映像モードの切り換え	52	た		も	
エッジブレンディング調整	64	対応信号リスト	120	モニターランプの表示	109
お		大画面色補正	70	ら	
オートセットアップ		台形補正	60	ラスターポジション	66
(AUTO SETUP) 機能	47	ダイナミックアイリス	55	ランプ選択	77
お手入れ	11	て		ランプユニットの交換手順	113
オンスクリーン表示	73	テキスト設定	87	ランプリレー	77
オンスクリーン表示機能	46	テキスト変更	87	り	
か		デジタルシネマリアリティ	62	リモート 2 端子	108
外形寸法図	124	テストパターン	85	リモコンの ID ナンバー指定	18
カラーマッチングの調整	68	電源コードの接続	35	リモコンの有効操作範囲	17
ガンマ選択	54	電源の切りかた	37	れ	
		電源表示ランプ	35	レンズ調整	38
		電源を入れる	36	わ	
		天つり金具取り付け時の		ワイヤードリモコン	18
		注意事項	114		

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。

本製品を廃棄したい場合は日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。



EU



JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

お客様は、本ソフトウェア（プロジェクターに内蔵されているマイコン、ROMなどに記録された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証を致しません。

商標について

- VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
 - S VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
 - Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
 - Netscape 及び Netscape Navigator は Netscape Communications の米国及びその他の国における登録商標です。
 - HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
 - Digital Light Processing, DLP、DLP® CHIP は Texas Instruments の登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年	月	日	品番	PT-DW100
販売店名	☎ ()	—			

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601

© Panasonic Corporation 2008